

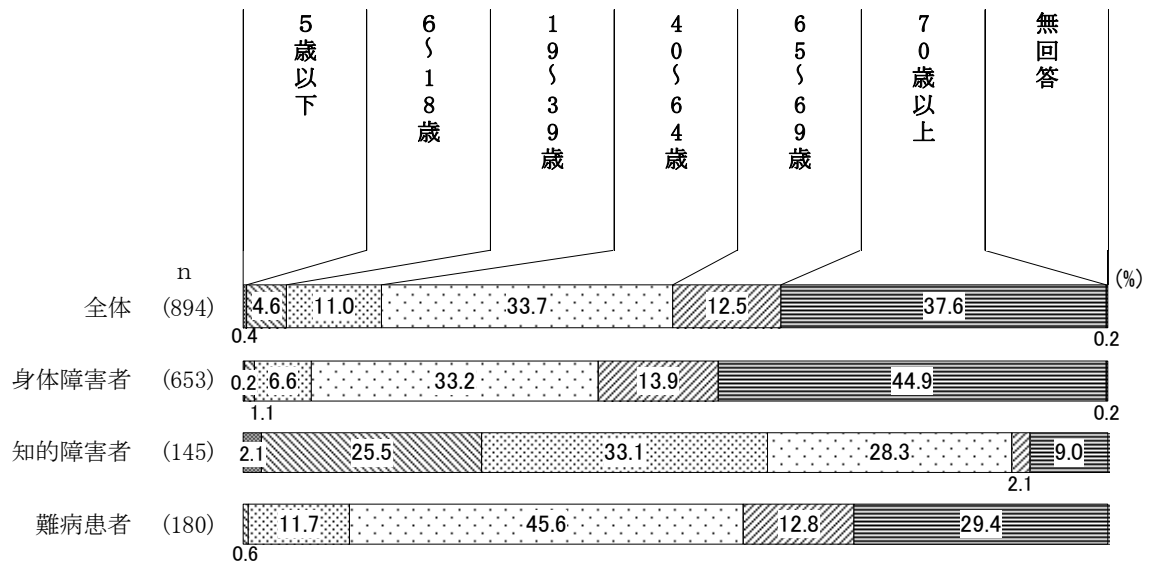
## 第3章 障害者生活実態調査結果の詳細



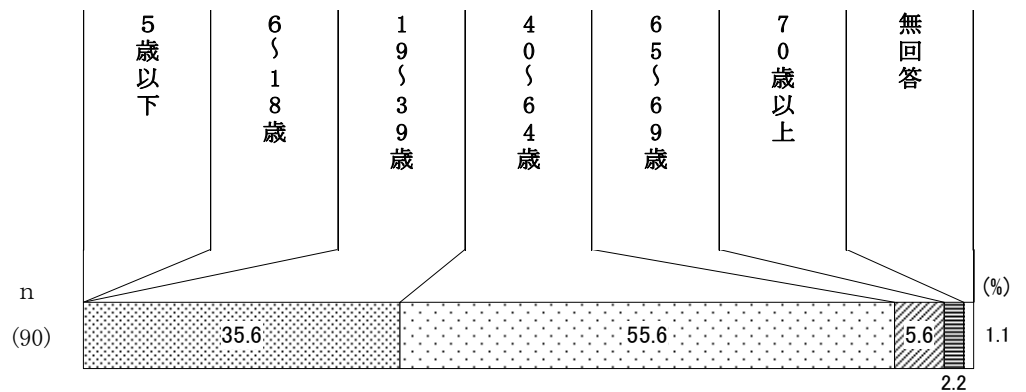
# 1. 基本属性

## (1) 年齢

身体・知的・難病

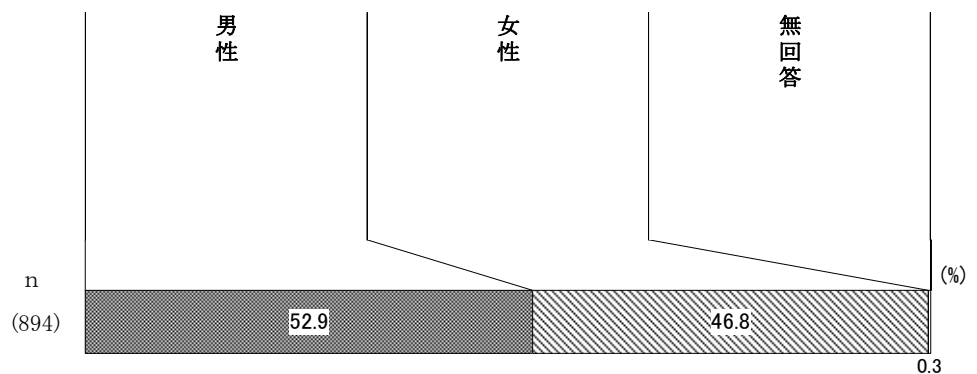


精神

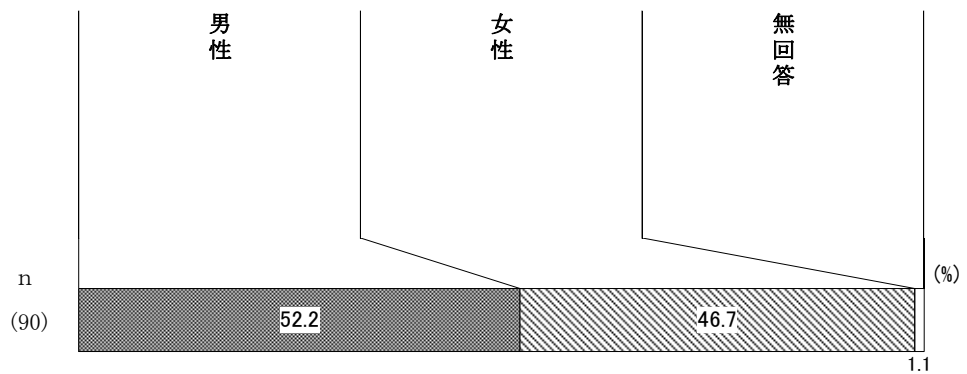


## (2) 性別

身体・知的・難病

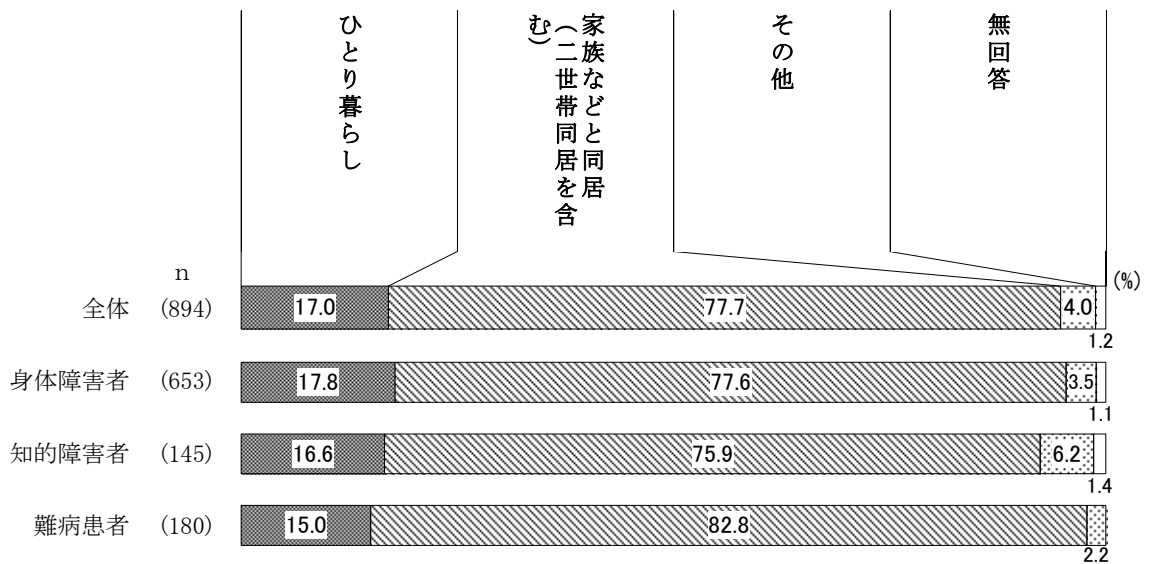


精神

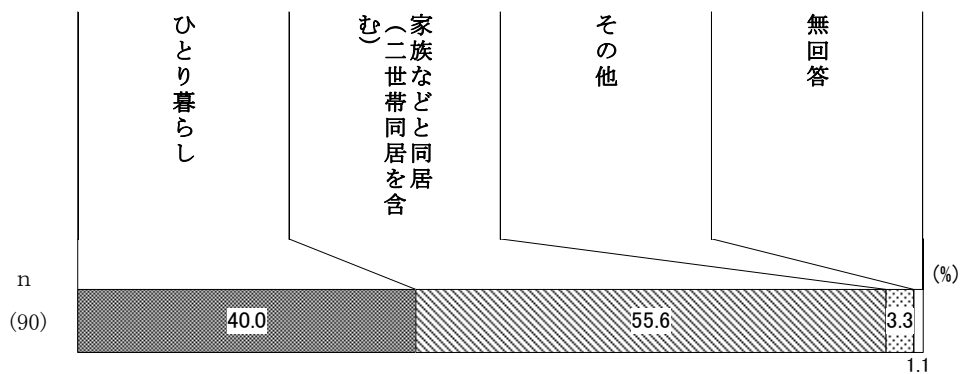


(3) 家族構成

身体・知的・難病



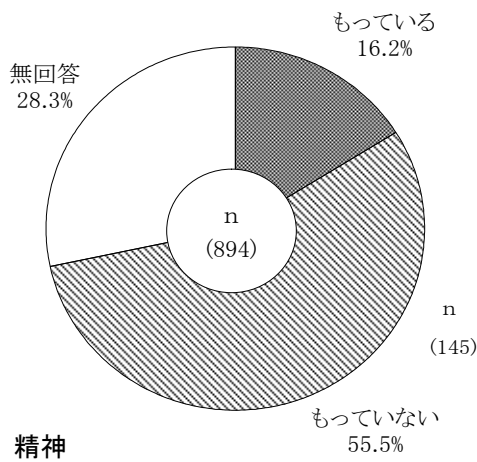
精神



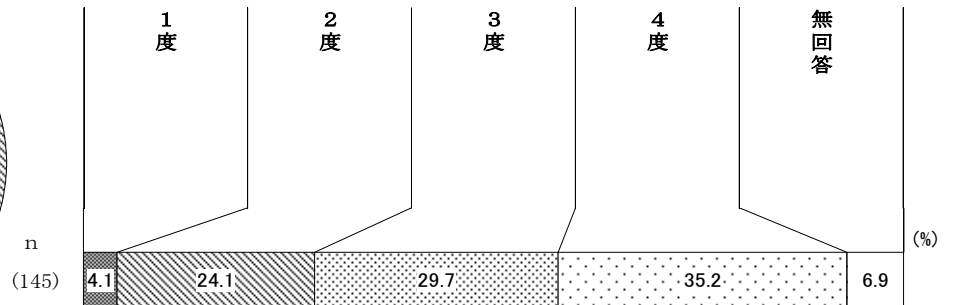
(4) 愛の手帳の有無、度数

身体・知的・難病

【愛の手帳の有無】

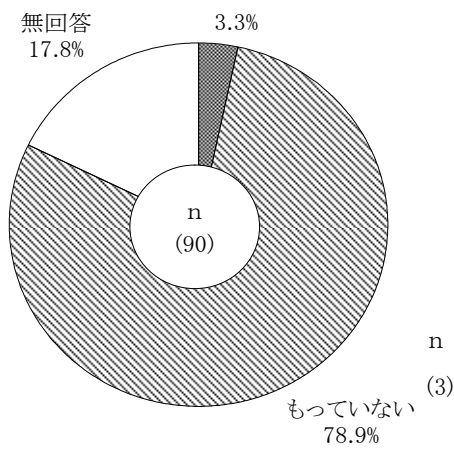


【度数】

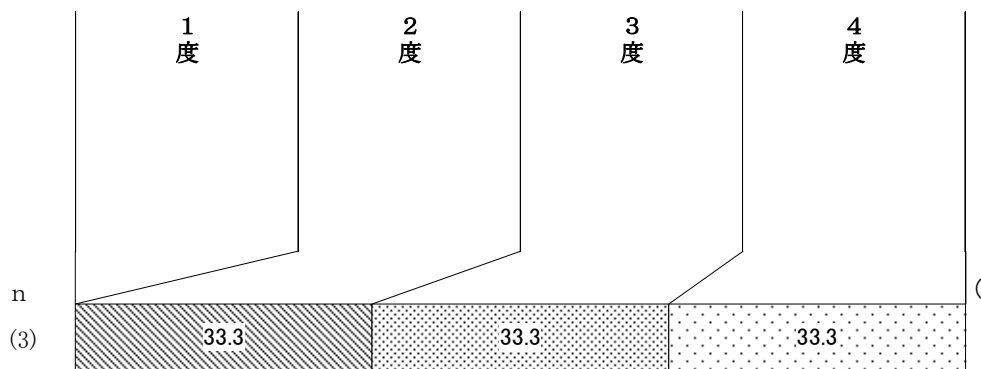


精神

【愛の手帳の有無】



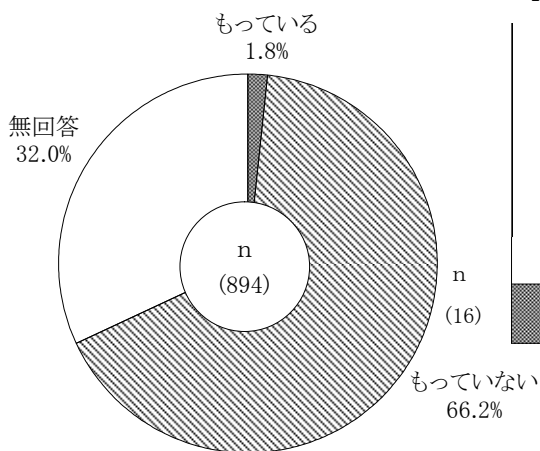
【度数】



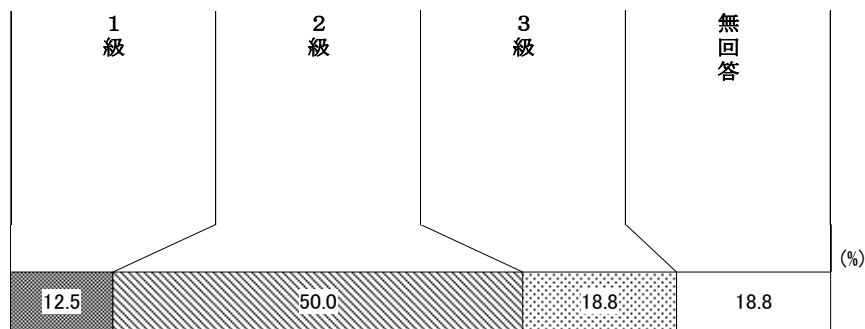
(5) 精神保健福祉手帳の有無、等級

身体・知的・難病

【精神保健福祉手帳の有無】

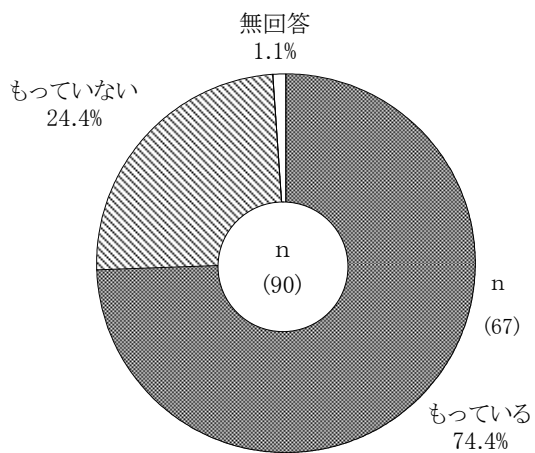


【級数】

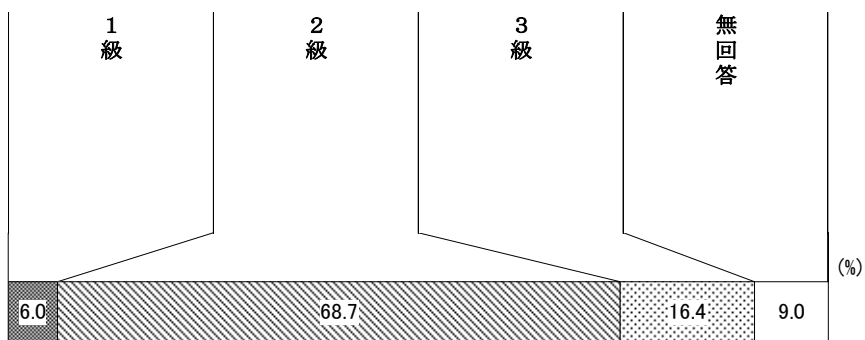


精神

【精神保健福祉手帳の有無】



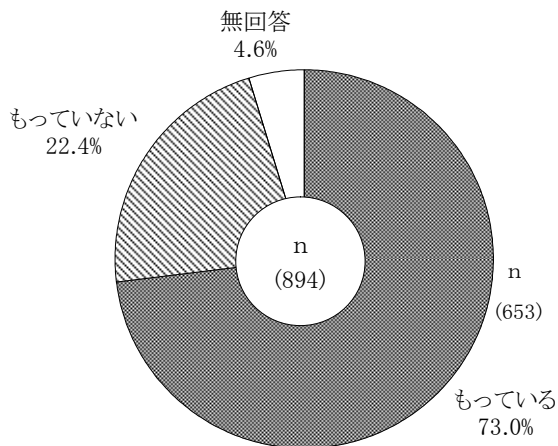
【級数】



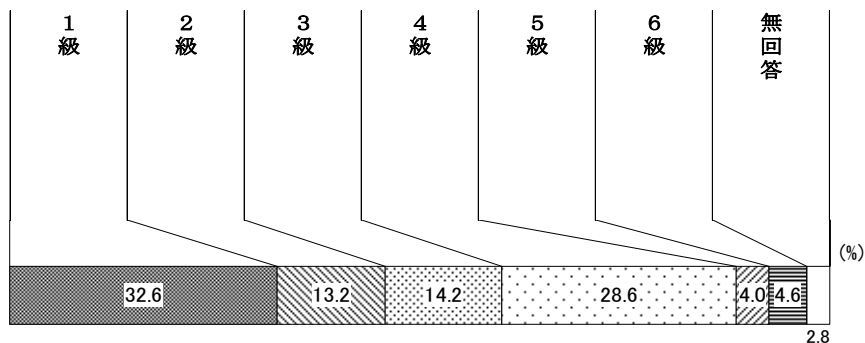
(6) 身体障害者手帳の有無、等級

身体・知的・難病

【身体障害者手帳の有無】

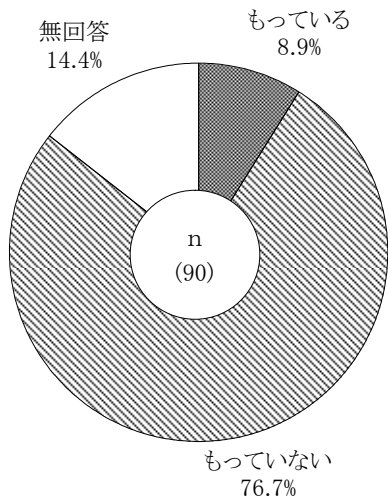


【級数】

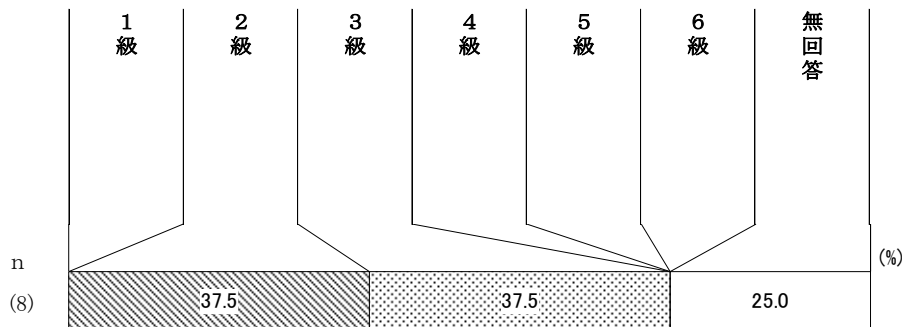


精神

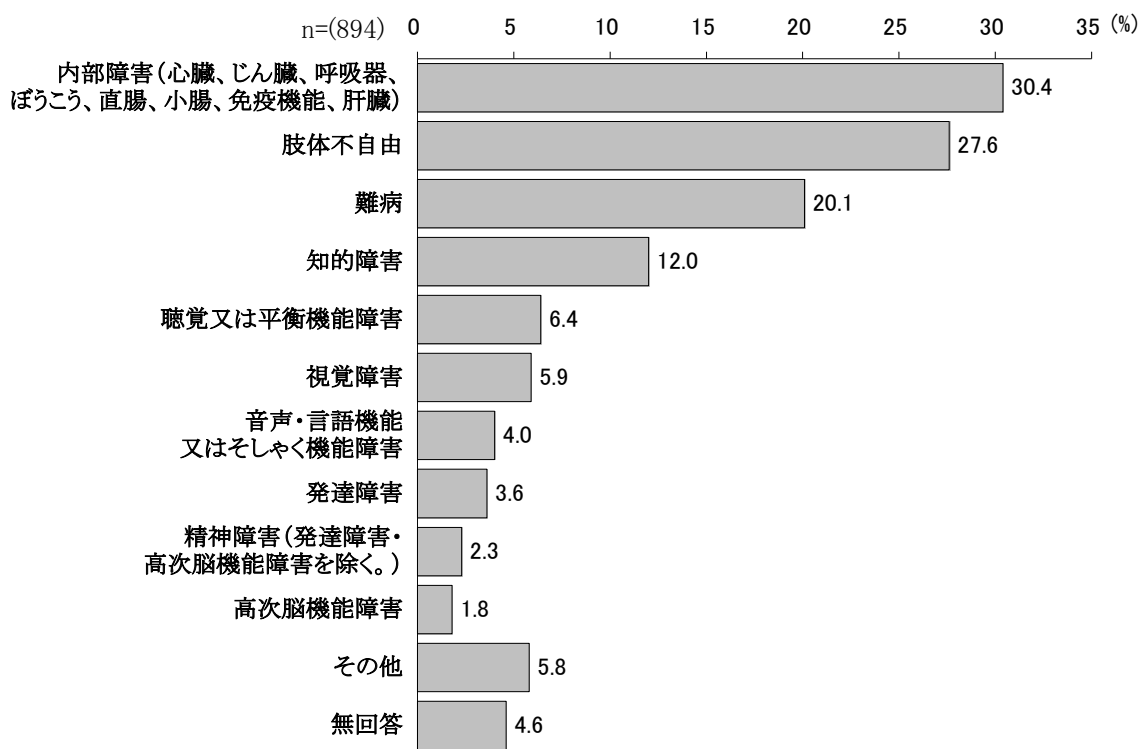
【身体障害者手帳の有無】



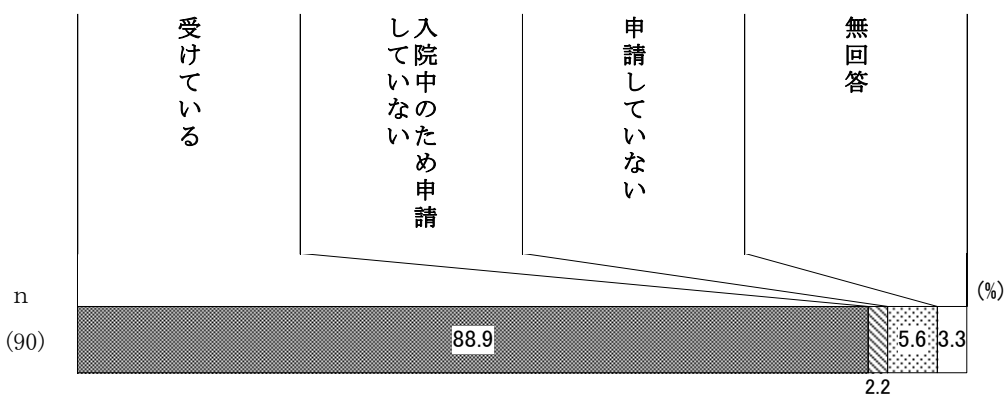
【級数】



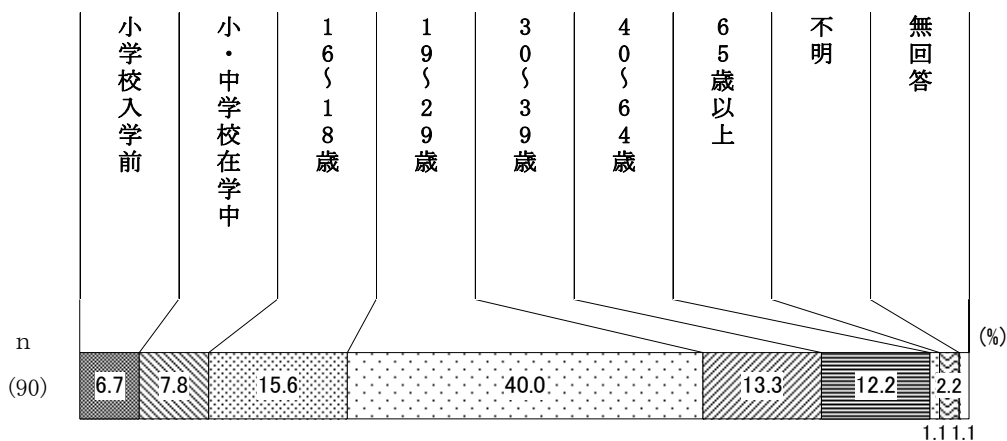
(7) 障害の種類【身体・知的・難病調査のみ】



(8) 自立支援医療費助成を受けているか【精神疾患等調査のみ】



(9) 具合が悪くなった年齢【精神疾患等調査のみ】



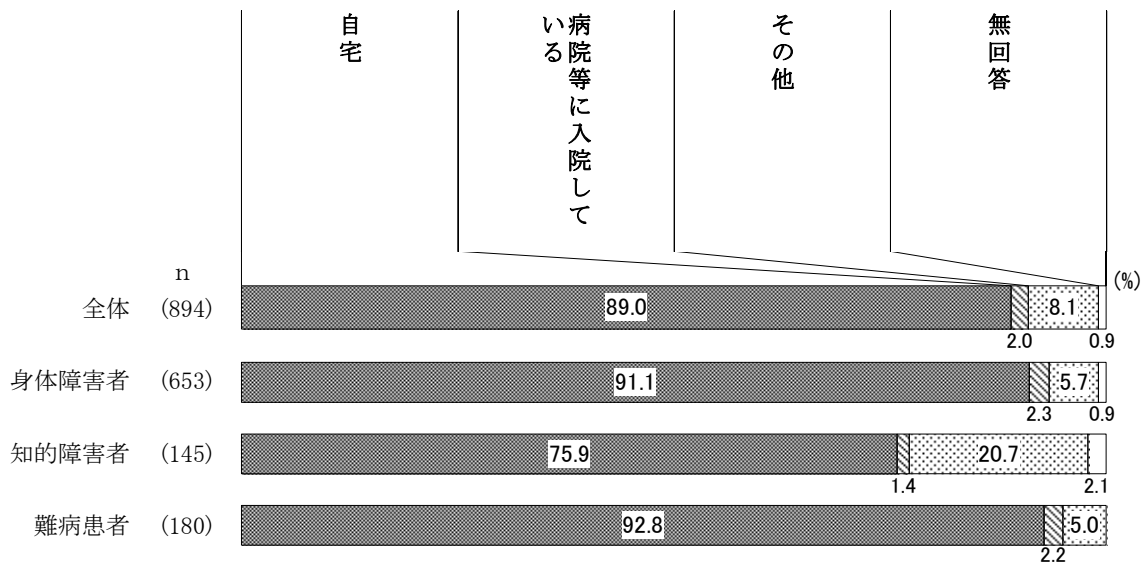


## 2. 生活の状況

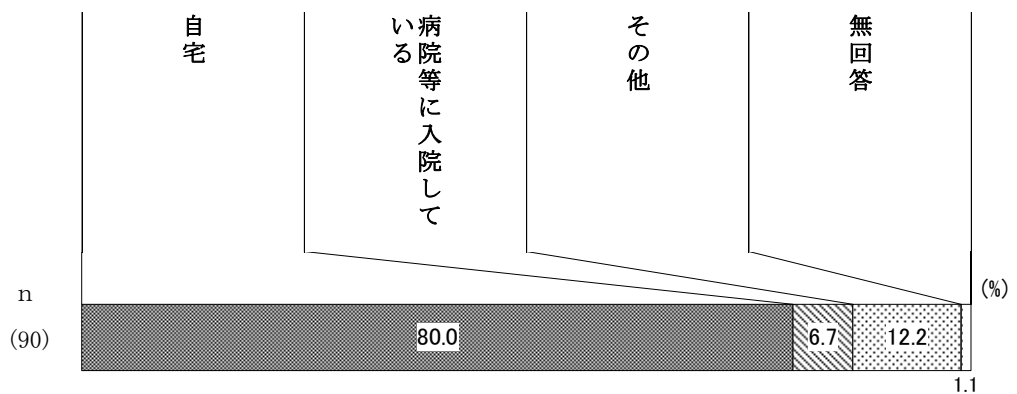
### (1) 現在の居場所

問1 あなた（あて名ご本人）は、現在どちらで生活していますか。[1つに〇]

#### 身体・知的・難病



#### 精神

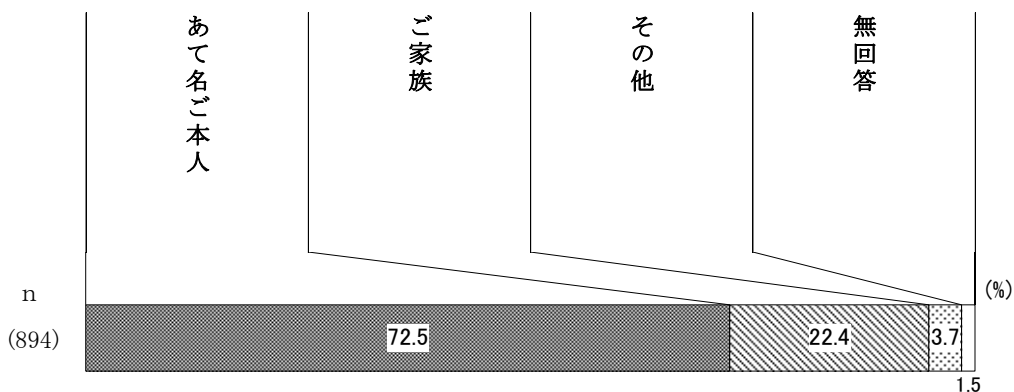


現在の居場所は、身体・難病では「自宅」が9割以上、知的障害者で「その他」が2割となっています。精神障害者では「自宅」が最も多く8割、「病院等に入院している」は6.7%となっています。

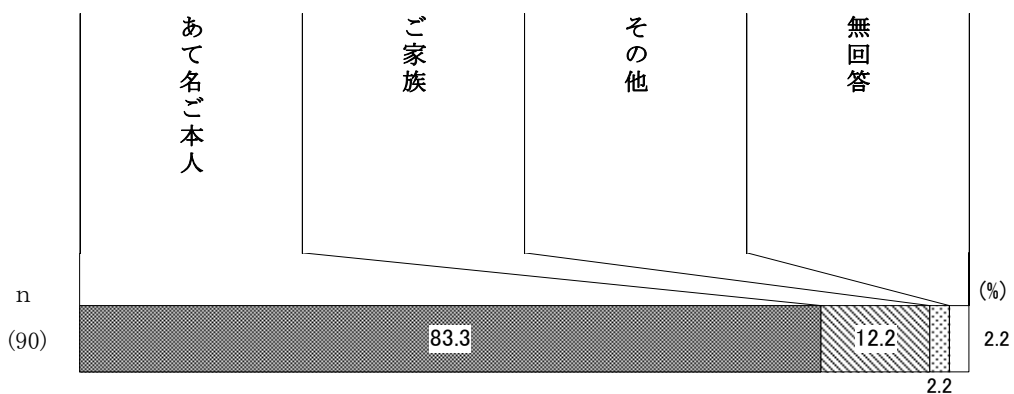
(2) 記入者

問2 この調査票はどなたがご記入されますか。[1つに○]

身体・知的・難病



精神



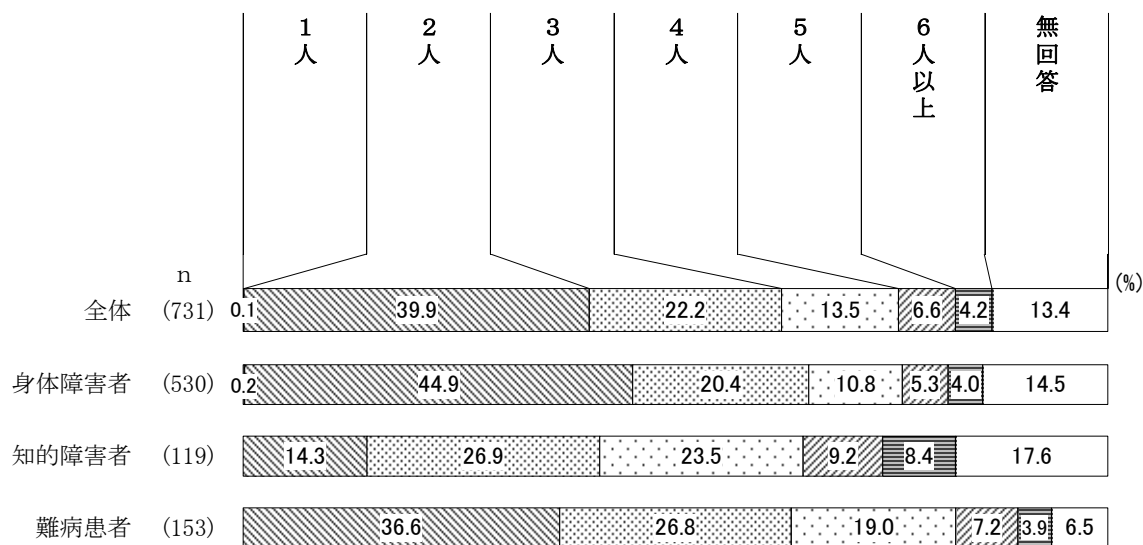
調査票の記入者は、身体・知的障害者・難病患者は「あて名ご本人」が7割台前半、「ご家族」が2割台前半となっています。精神障害者は「あて名ご本人」が8割台前半、「ご家族」が1割台前半となっています。

(3) 同居人数

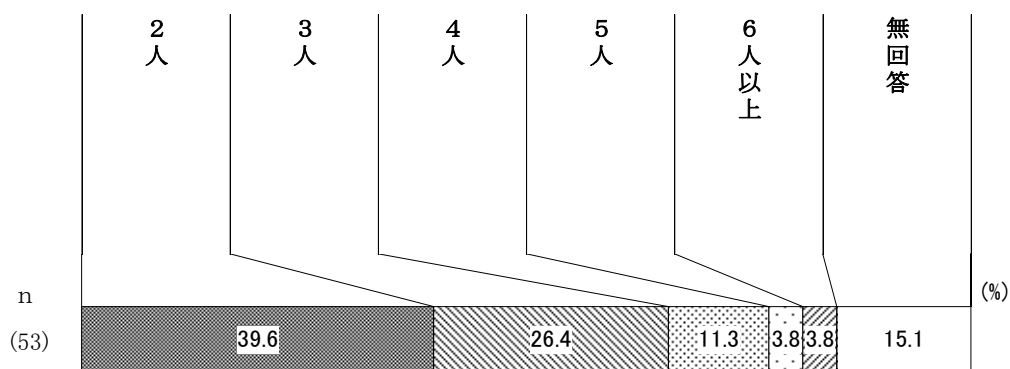
問5で「1. ひとり暮らし」以外に答えた方におたずねします。

問5-1 ご自分を含めて、何人で暮らしていますか。[人数を記入]

身体・知的・難病



精神

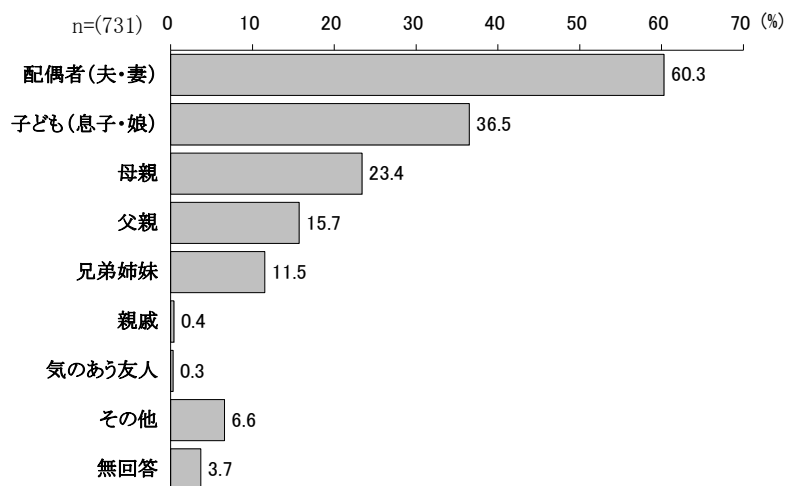


同居人数は、身体・難病は「2人」が4割前後と最も多く、次いで「3人」「4人」と続いています。知的障害者では「3人」「4人」が2割台で比較的高くなっています。精神障害者は「2人」が約4割と最も多く、次いで「3人」が2割台後半、「4人」が1割が続いています。

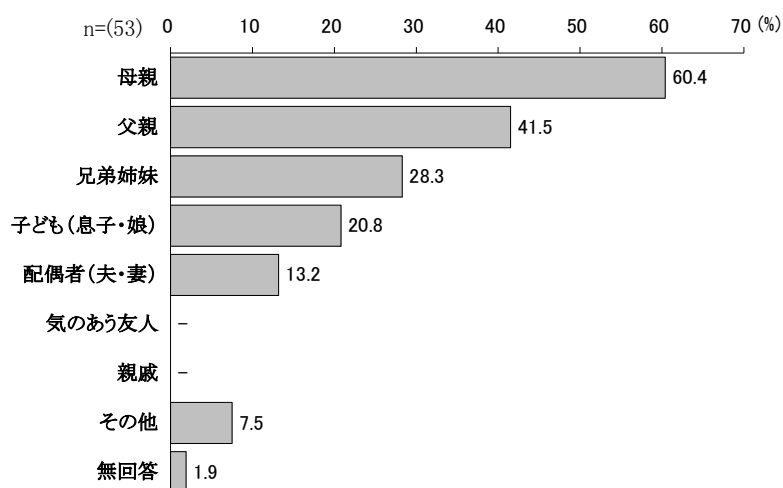
(4) 同居者の続柄

問5-2 同居されている方はどなたですか。[いくつでも○]

身体・知的・難病



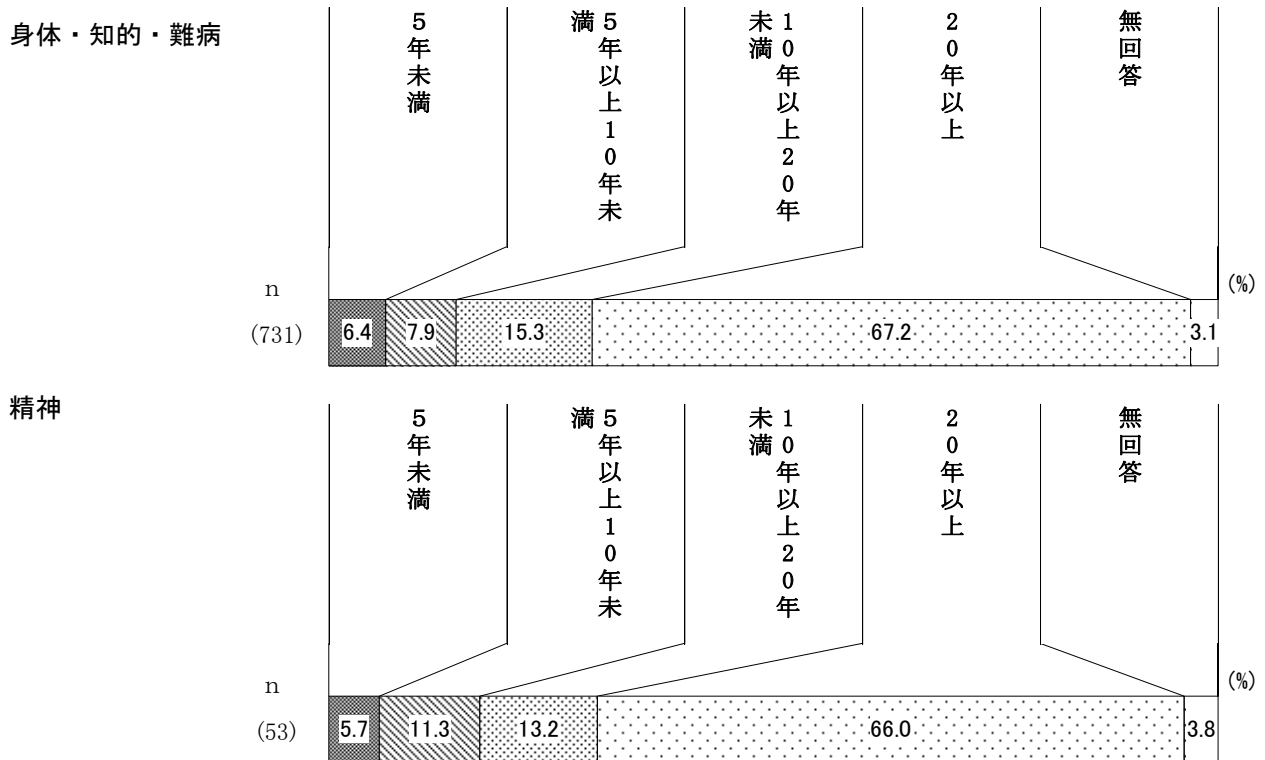
精神



同居者は、身体・知的・難病は「配偶者(夫・妻)」が約6割で最も多く、「子ども(息子・娘)」が3割台後半、「母親」が2割台前半と続いています。精神障害者は「母親」が約6割で最も多く、次いで「父親」が4割台前半、「兄弟姉妹」が2割台後半となっています。

(5) 居住年数

問5-3 福生市での居住年数は次のどれですか。[1つに○]

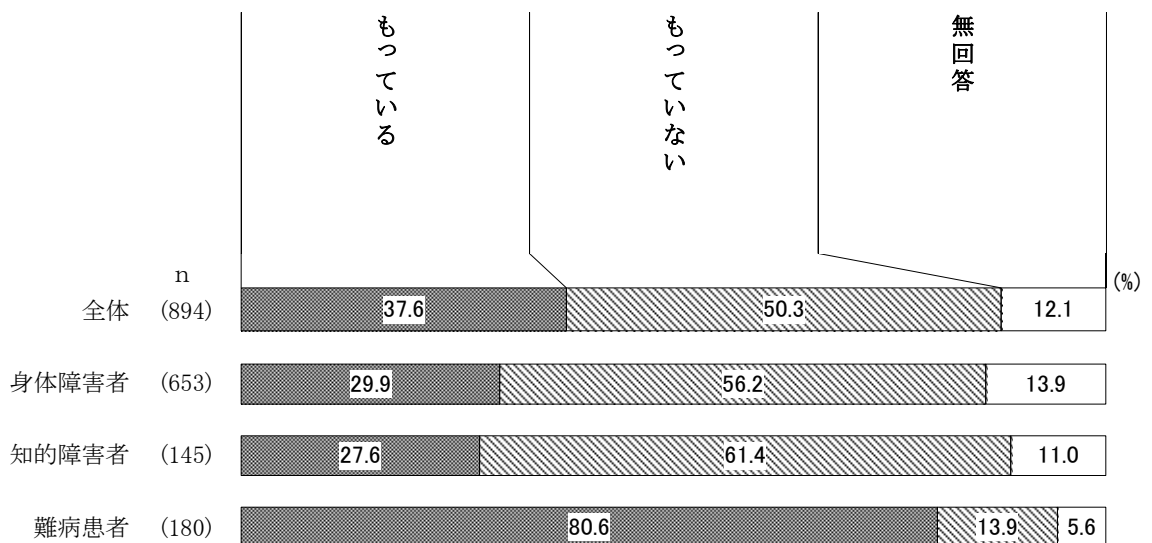


福生市での居住年数は、身体・知的・難病は「20年以上」が6割台後半と最も多く、「10年以上20年未満」が1割台半ば、「5年以上10年未満」と続いています。精神障害者も同様に、「20年以上」が6割台後半と最も多く、「10年以上20年未満」が1割台前半、「5年以上10年未満」と続いています。

(6) ④医療券の有無

【身体・知的・難病調査のみ】

問6-(4) ④医療券をお持ちですか。[1つに○]



④医療券の有無は、「もっている」は難病患者で8割、身体・知的で2割台後半となっています。

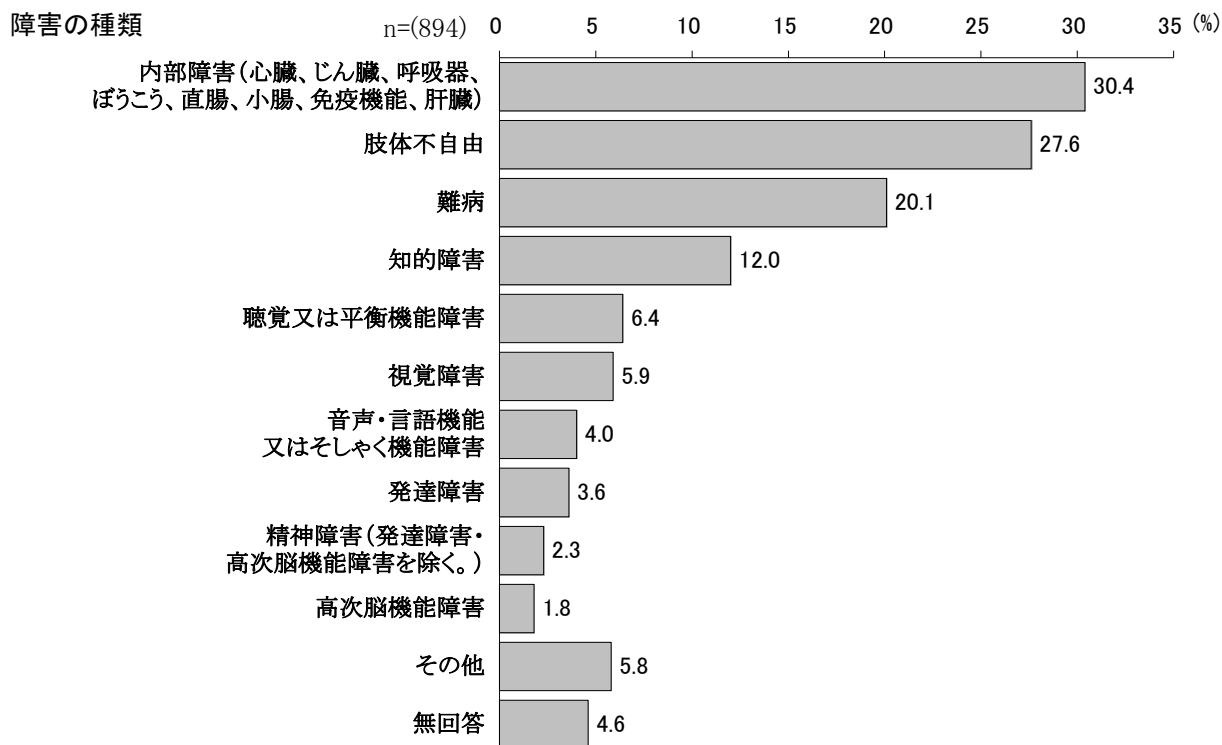
(7) 障害の種類と難病の内容

【身体・知的・難病調査のみ】

問7 障害の種類についておたずねします。[いくつでも○]

問7で「10. 難病」と答えた方におたずねします。

問7-1 り患されている疾病はどれですか。別紙「難病一覧」より1～130までの番号をご記入ください。



障害の種類は、「内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓）」が約3割で最も多く、次いで「肢体不自由」が2割台後半、「難病」「知的障害」と続いています。

難病の内容

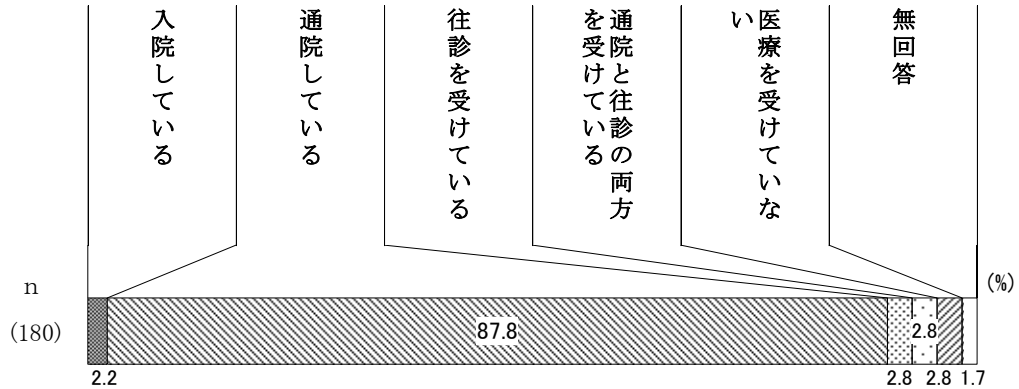
難病と回答のあった180件の主な病名は下記のとおりです。

潰瘍性大腸炎	27
全身性エリテマトーデス	12
関節リウマチ	9
網膜色素変性症	9
強皮症	8
原発性胆汁性肝硬変	8
自己免疫性肝炎	7
脊髄小脳変性症	7
パーキンソン病	7
IgA 腎症	6
クローン病	5
大動脈炎症候群	5

(8) 疾病のために医療を受けている状況

【身体・知的・難病調査のみ】

問7-2 疾病のために、現在、継続的に医療を受けていますか。[1つに○]

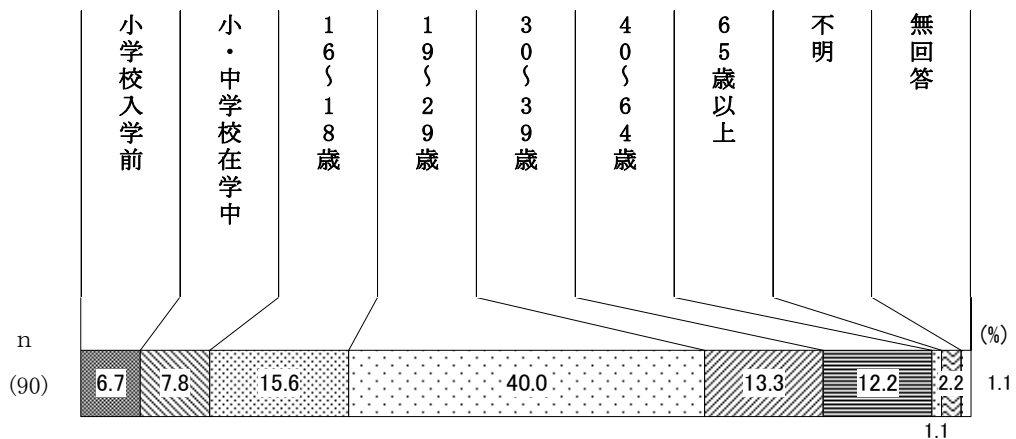


疾病のために現在、継続的に医療を受けているかについては、8割後半が「通院している」と回答しています。

(9) 初めて具合が悪くなった年齢

【精神疾患等調査のみ】

問9 初めて具合が悪くなったのは、何歳ごろでしたか。[1つに○]

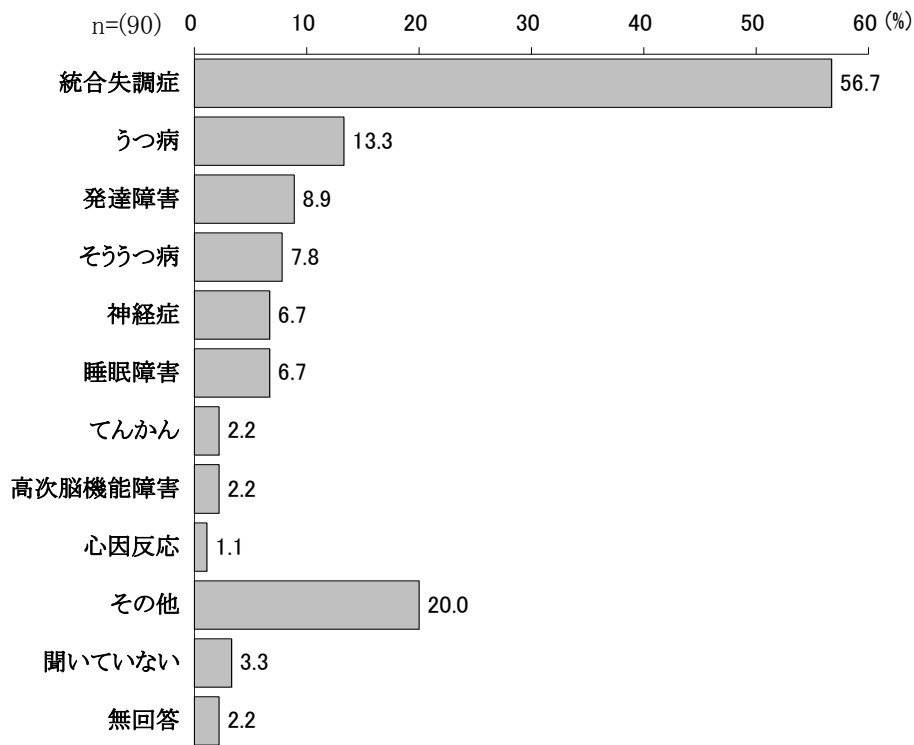


初めて具合が悪くなった年齢は、「19～29歳」が4割で最も多く、「16～18歳」が1割台半ば、「30～39歳」「40～64歳」が1割台前半、「小・中学校在学中」「小学校入学前」が1割未満で続いています。

(10) 病名

【精神疾患等調査のみ】

問10 あなたは病名について、主治医からどのように聞いていますか。[いくつでも○]

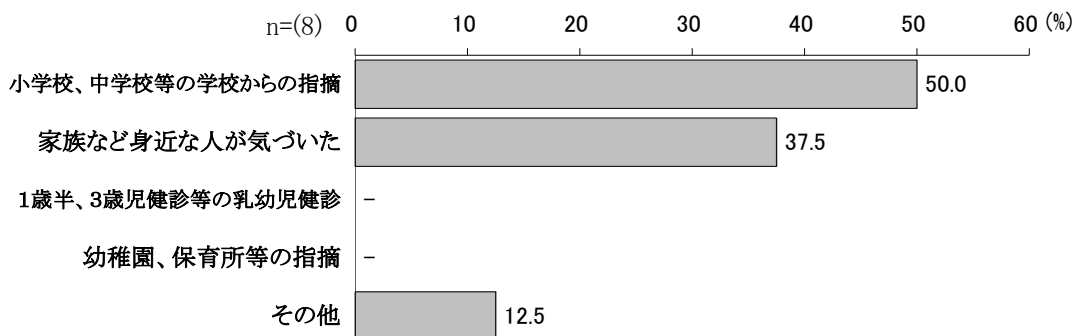


主治医から聞いている病名は、「統合失調症」が5割台後半で最も多く、次いで「うつ病」「発達障害」「そううつ病」「神経症」「睡眠障害」と続いています。

(11) 発達障害がわかったきっかけ

【精神疾患等調査のみ】

問10で「8. 発達障害」と答えた方におたずねします。問10-1 発達障害がわかったきっかけはどれですか。[いくつでも○]



※基数が少ないため参考にとどめる。



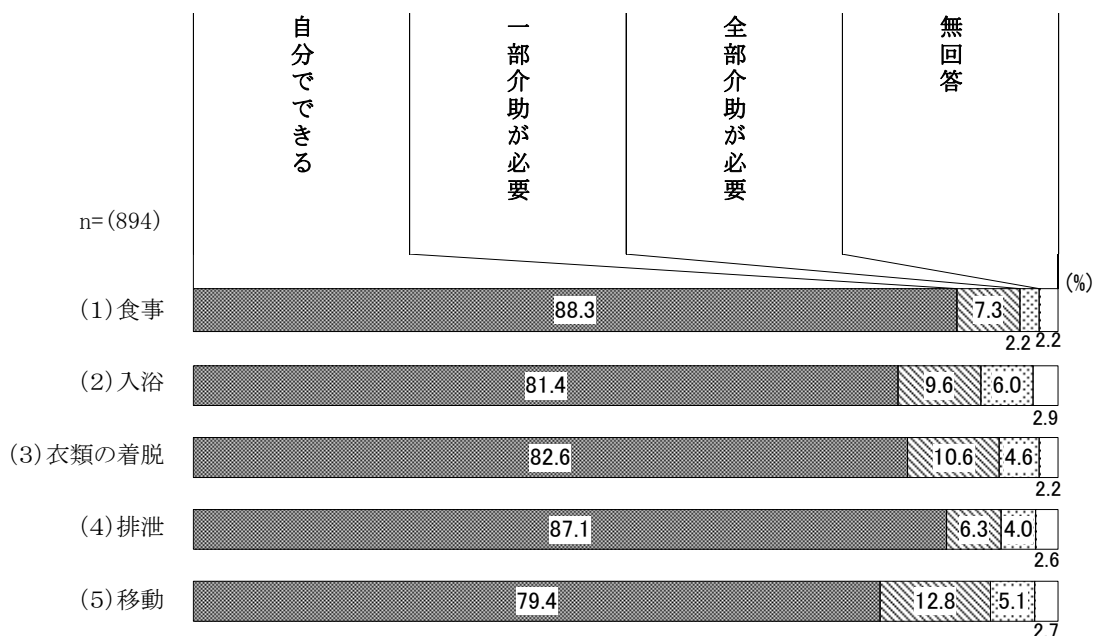
### 3. 日常生活について

#### (1) 家の中の動作

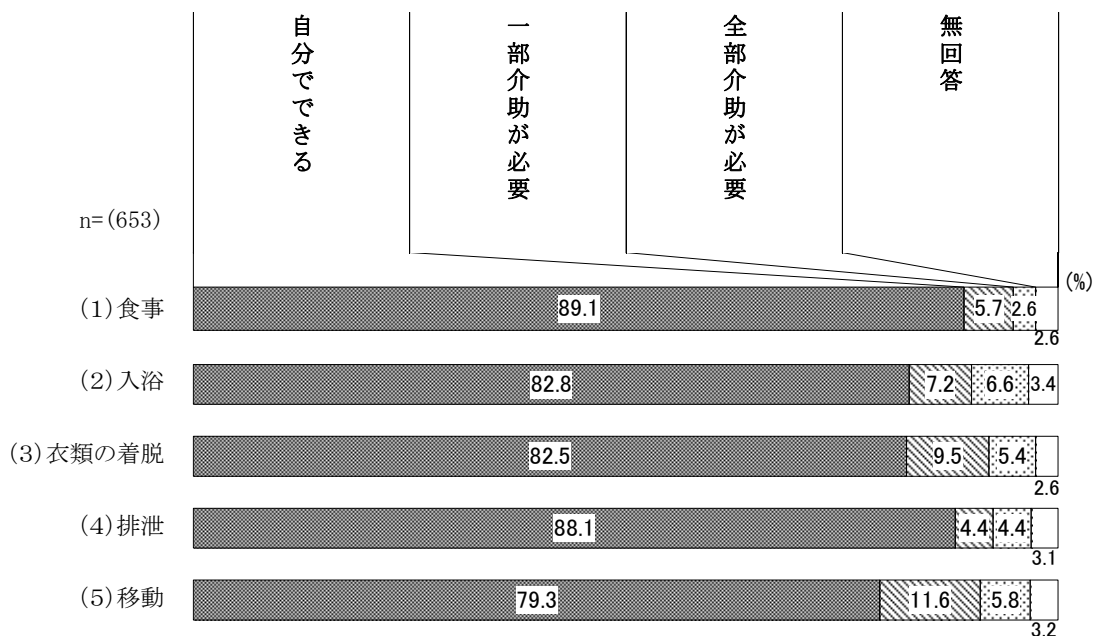
【身体・知的・難病調査のみ】

問8 家の中の次の動作についておたずねします。[それぞれ1つに○]

全体

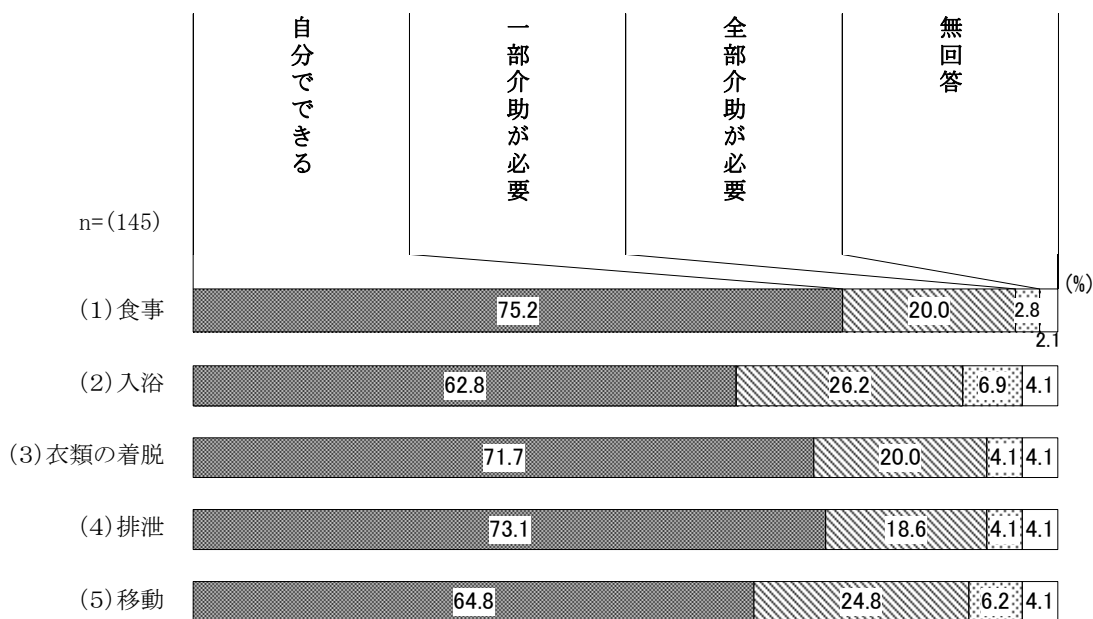


身体障害者



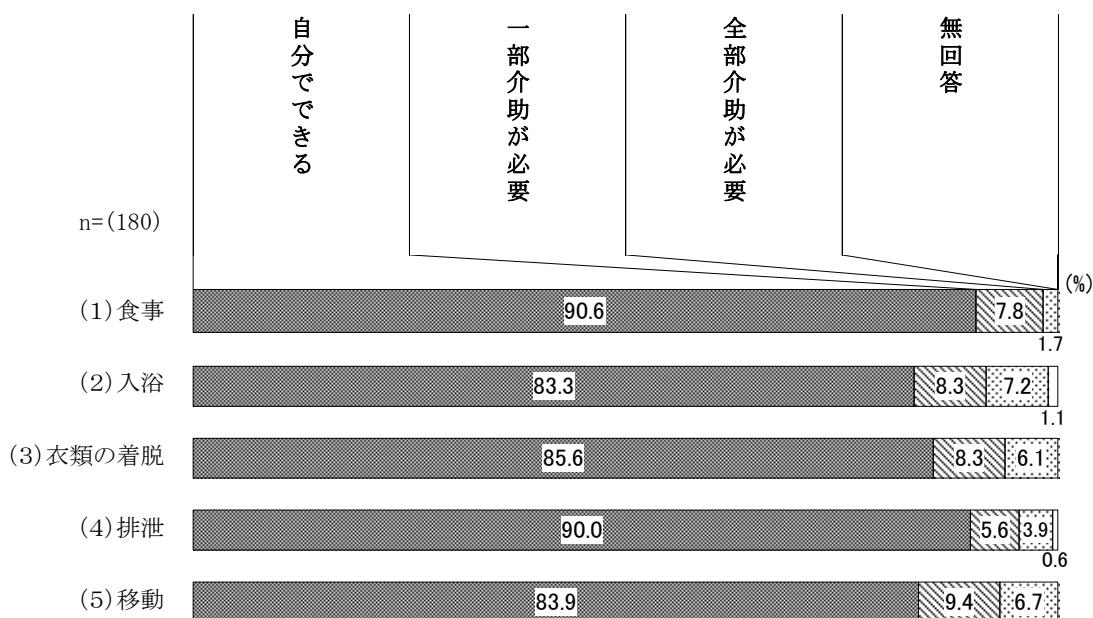
家の中の動作は、身体障害者では、すべての動作について、8割前後が「自分でできる」と回答しており、「一部介助が必要」は＜移動＞が1割前半、＜衣類の着脱＞が約1割となっています。

知的障害者



家の中の動作は、知的障害者では、＜食事＞＜衣類の着脱＞＜排泄＞について、7割以上が「自分でできる」と回答しています。「一部介助が必要」は＜入浴＞＜移動＞＜衣類の着脱＞が2割台となっています。

難病患者



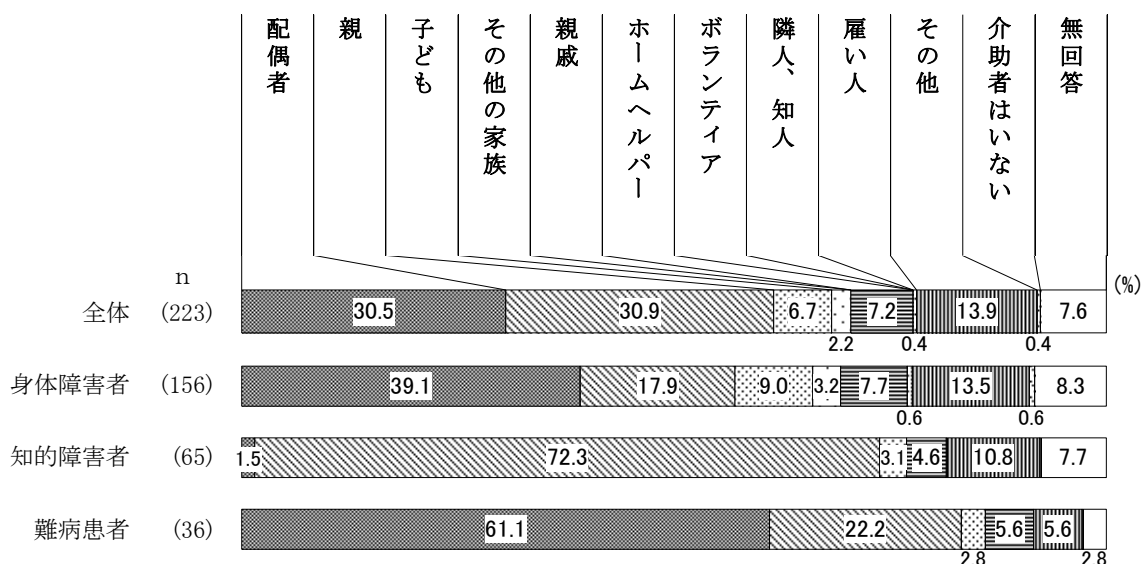
家の中の動作は、難病患者では、すべての動作で8割以上が「自分でできる」と回答しています。「一部介助が必要」は＜移動＞が1割近くとなっています。

(2) 主な介助者

【身体・知的・難病調査のみ】

問8のいずれかで一部介助または全部介助が必要と答えた方におたずねします。

問8-1 主な介助者は誰ですか。[1つに○]

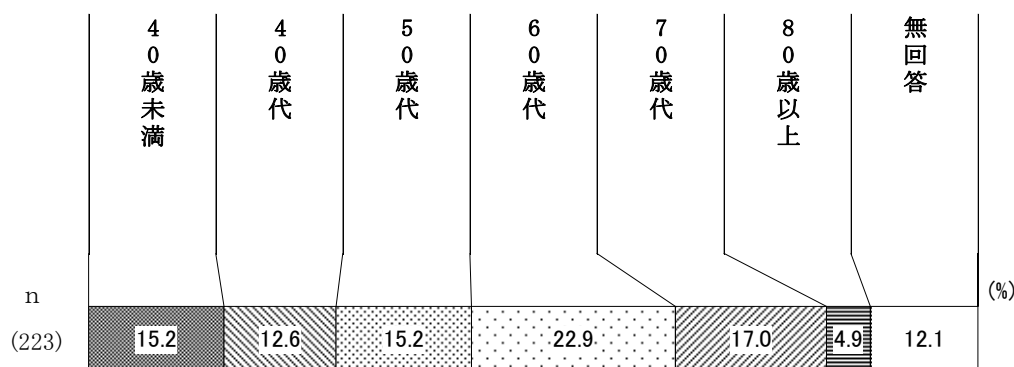


一部介助または全部介助が必要と答えた方の主な介助者は、「配偶者」が難病患者では6割、身体障害者では3割台後半となっています。知的障害者では、「親」が7割台前半を占めています。

(3) 主な介助者の年齢

【身体・知的・難病調査のみ】

問8-2 主な介助者の年齢は、どれですか。[1つに○]

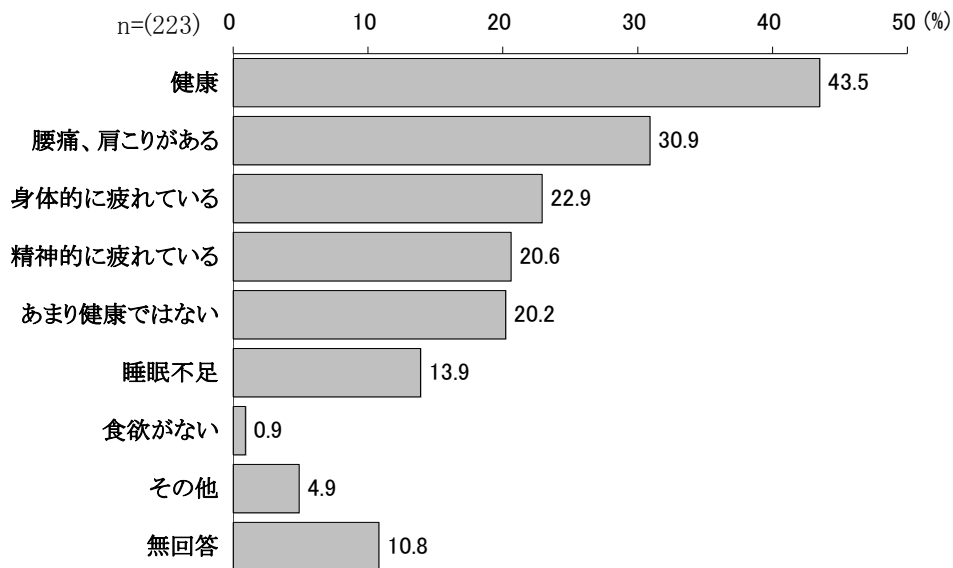


主な介助者の年齢は、「60歳台」が2割台前、「70歳台」が1割台後半、「40歳未満」「50歳台」「40歳台」と続いています。

(4) 主な介助者の健康状態

【身体・知的・難病調査のみ】

問8-3 主な介助者の健康状態は、どれですか。[いくつでも○]

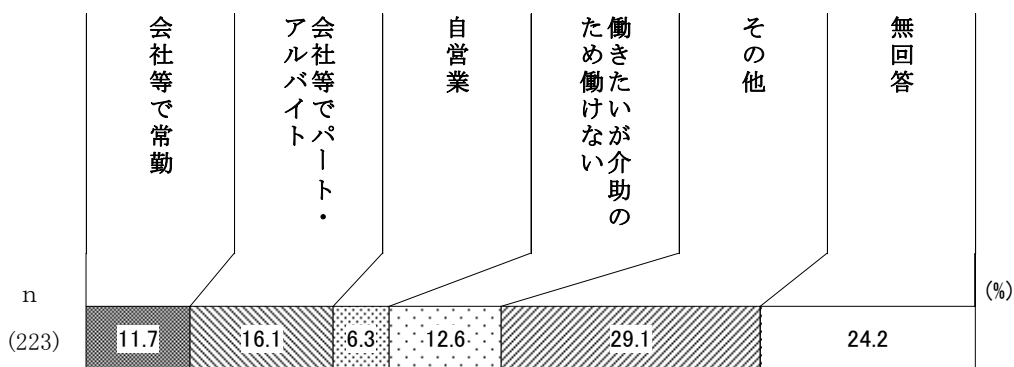


主な介護者の健康状態は、「健康」が4割台前半と最も多く、次いで「腰痛、肩こりがある」が約3割、「身体的に疲れている」「精神的に疲れている」「あまり健康ではない」が2割台前半が続いています。

(5) 主な介助者の就労状況

【身体・知的・難病調査のみ】

問8-4 主な介助者の就労状況は、どれですか。[1つに○]

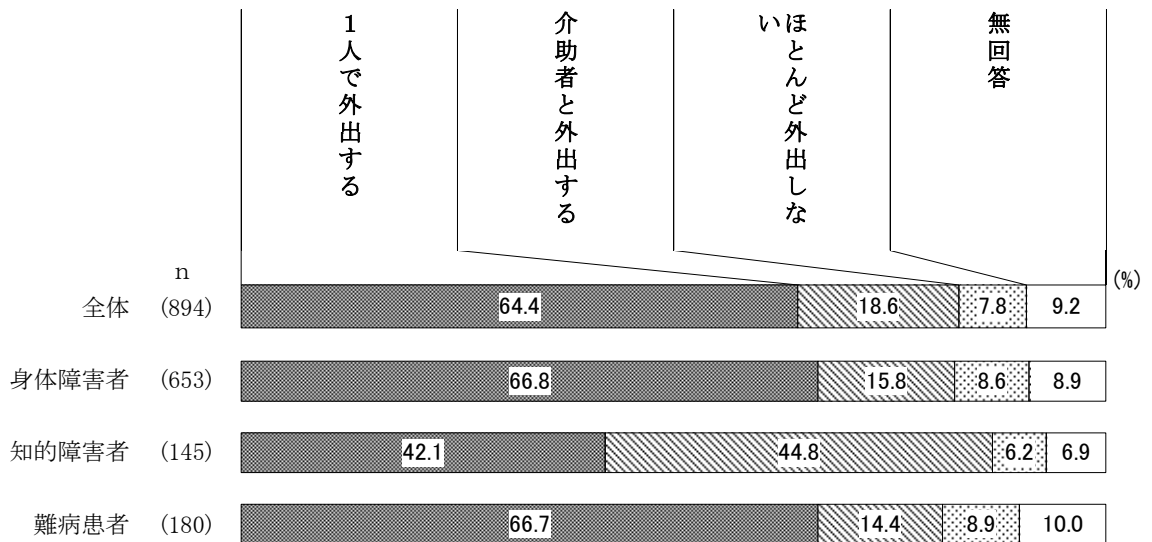


主な介助者の就労状況は、「会社等で常勤」が1割台前半、「会社等でパート・アルバイト」が1割台後半でこれらを合わせた＜会社等で働いている＞は2割台後半となっています。また、「自営業」は6.3%で1割未満となっています。一方、1割台前半が「働きたいが介助のため働けない」と回答しています。

(6) 買い物や趣味、遊び、散歩などのための外出状況

【身体・知的・難病調査のみ】

問9 買い物や趣味、遊び、散歩などで家から外出されますか。(通学、通院、通勤、施設に通うことは除きます。)[1つに○]

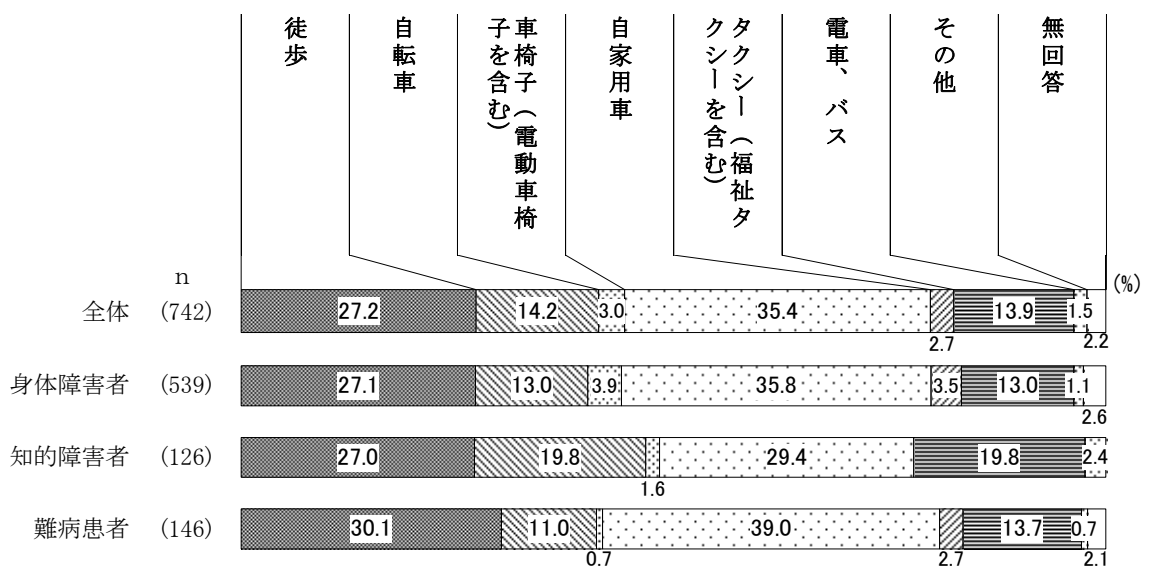


買い物や趣味、遊び、散歩などで家からの外出は、「1人で外出する」が身体・難病で6割台半ばとなっています。「介助者と外出する」は知的障害者で4割台半ばです。

(7) 外出時に最も多い移動方法

【身体・知的・難病調査のみ】

問9で「1. 1人で外出する」または「2. 介助者と外出する」と答えた方におたずねします  
問9-1 外出する最も多い方法は何ですか。[1つに○]

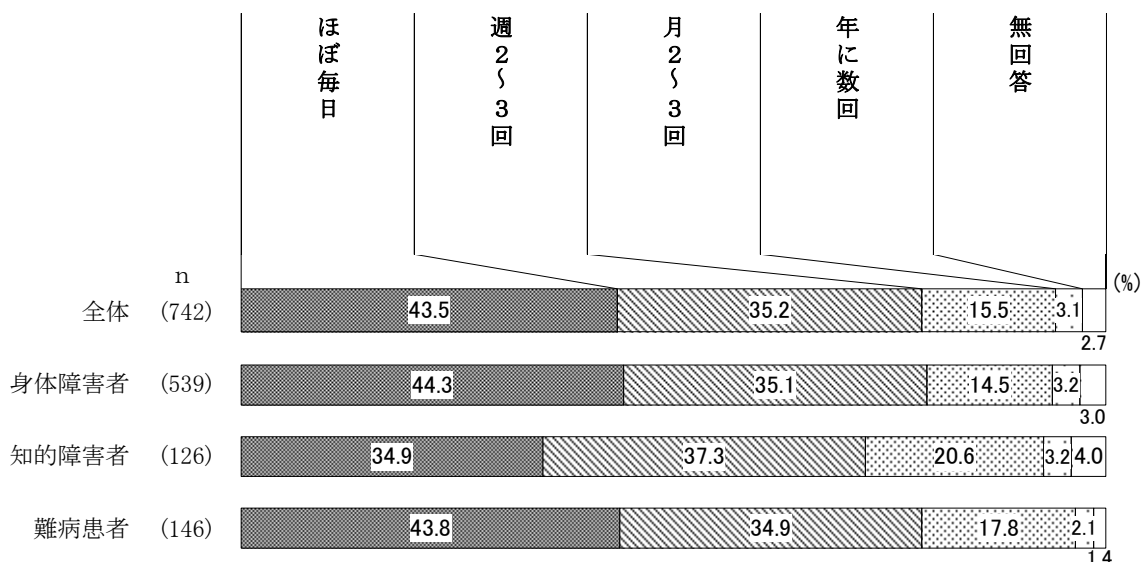


外出時の最も多い移動方法は、「自家用車」が難病患者で3割台後半と比較的高く、「徒歩」は2割台後半から3割台となっています。

(8) 外出の回数

【身体・知的・難病調査のみ】

問9-2 外出の回数はどのくらいですか。[1つに○]

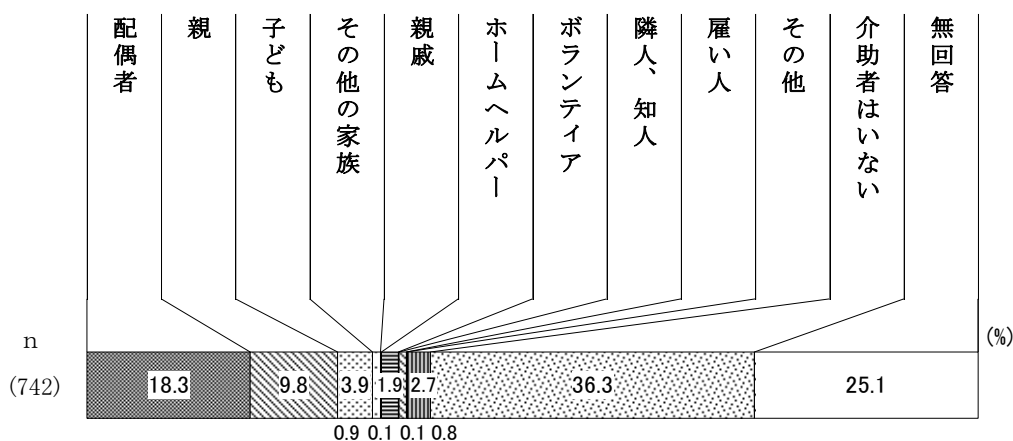


外出の回数は、「ほぼ毎日」が身体・難病で4割台前半、次いで「週2〜3日」が3割台半ばで続いています。知的障害者では、「月2〜3回」が2割と比較的高くなっています。

(9) 外出する時の主な介助者

【身体・知的・難病調査のみ】

問9-3 外出するときの主な介助者は誰ですか。[1つに○]



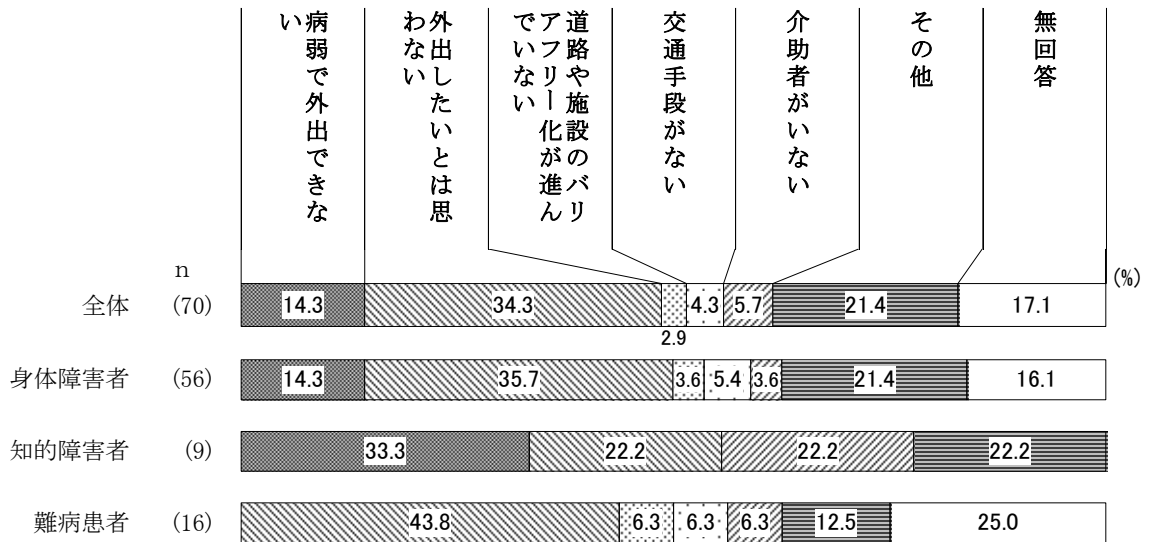
外出するときの主な介助者は、「配偶者」が1割台後半、「親」が約1割となっています。一方、3割台後半が「介助者はいない」と回答しています。

(10) 外出しない理由

【身体・知的・難病調査のみ】

問9で「3. ほとんど外出しない」と答えた方におたずねします。

問9-4 外出しない理由は何ですか。[1つに○]



問9で「ほとんど外出しない」と回答した方の理由は、身体障害者で「外出したいとは思わない」が3割台半ばで最も多く、「病弱で外出できない」が1割台前半と続いています。

(11) 外出について

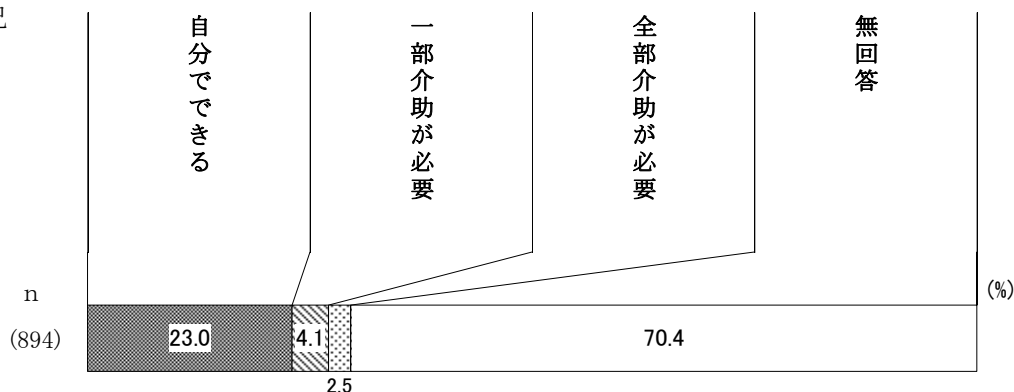
【身体・知的・難病調査のみ】

問10 次の(1)～(4)までの外出についてお答えください。

(1) 通学 (2) 通院 (3) 通勤 (4) 施設通所 [それぞれ1つに○]

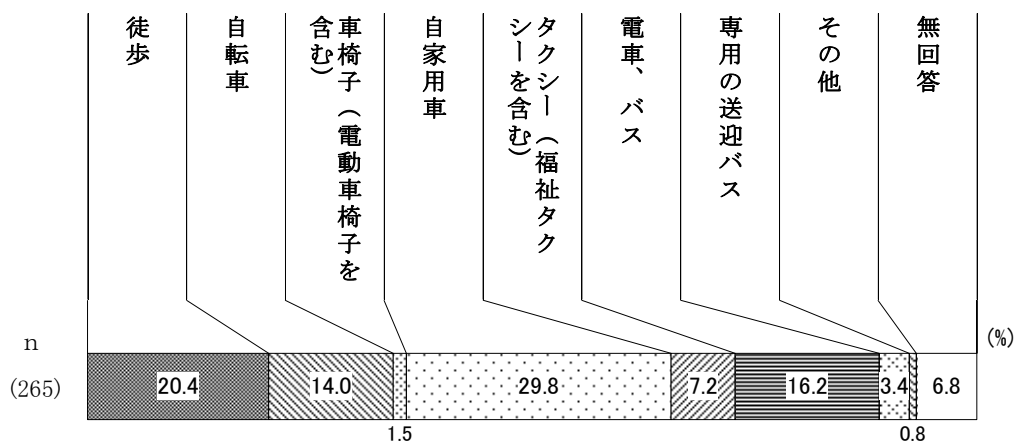
(1) 通学

ア 外出の状況



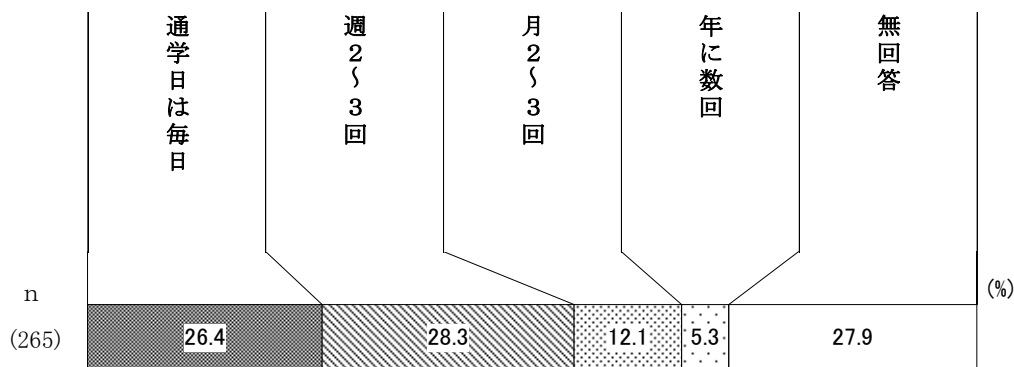
通学は「自分で行ける」が2割台前半となっています。

イ 交通手段



交通手段は、「自家用車」が約3割、「徒歩」が約2割、「電車・バス」が1割台後半、「自転車」と続いています。

ウ 外出回数

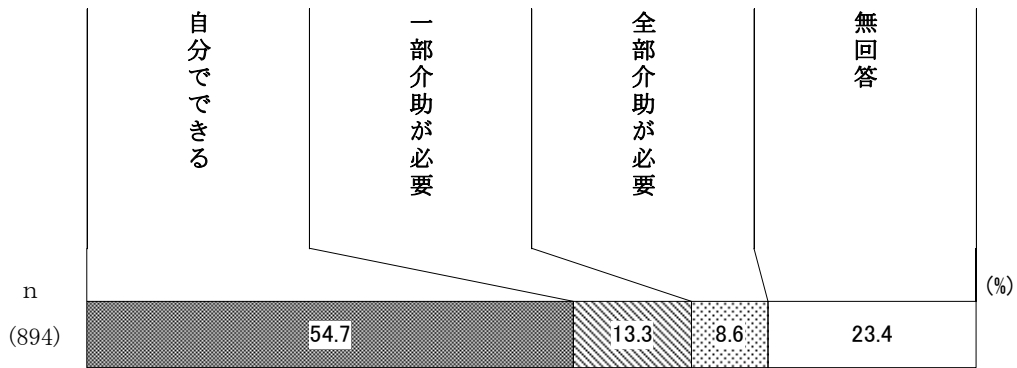


外出の回数は、「週2～3回」「通学日は毎日」が2割台後半、「月2～3回」が1割台前半と続いています。



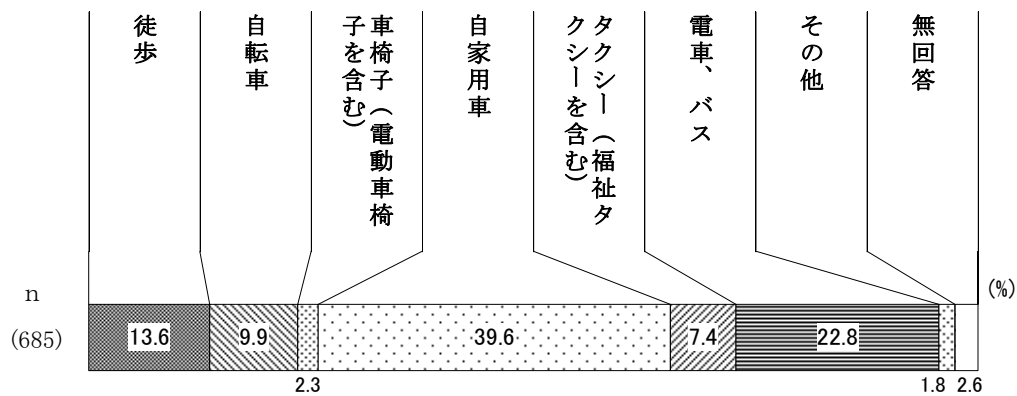
(2) 通院

ア 外出の状況



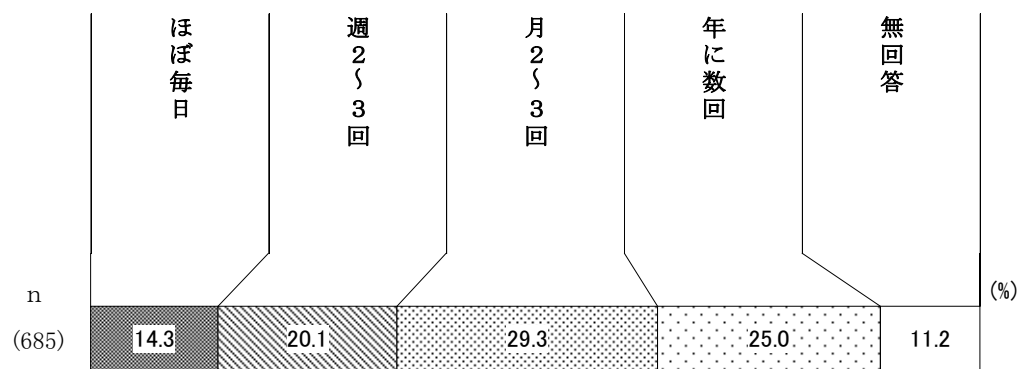
通院は、「自分で行ける」5割台前半、「一部介助が必要」が1割台前半、「介助が必要」が8.6%となっています。

イ 交通手段



交通手段は、「自家用車」が約4割で最も多く、次いで「電車・バス」が2割台前半、「徒歩」「自転車」と続いています。

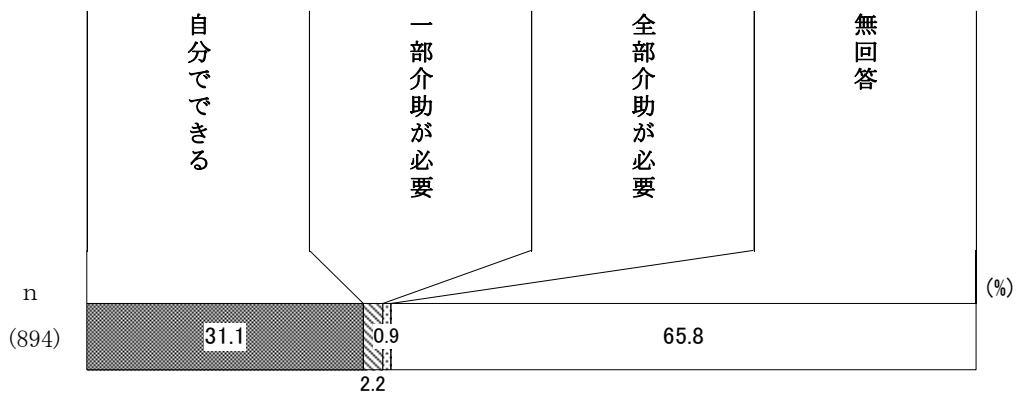
ウ 外出回数



外出の回数は、「月2〜3回」が約3割、「年に数回」が2割台半ば、「週に2〜3回」が約2割、「ほぼ毎日」が1割台前半となっています。

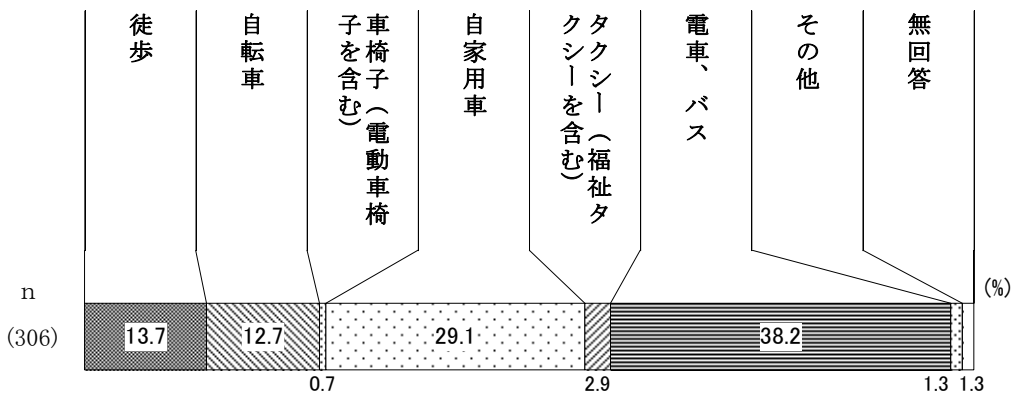
(3) 通勤

ア 外出の状況



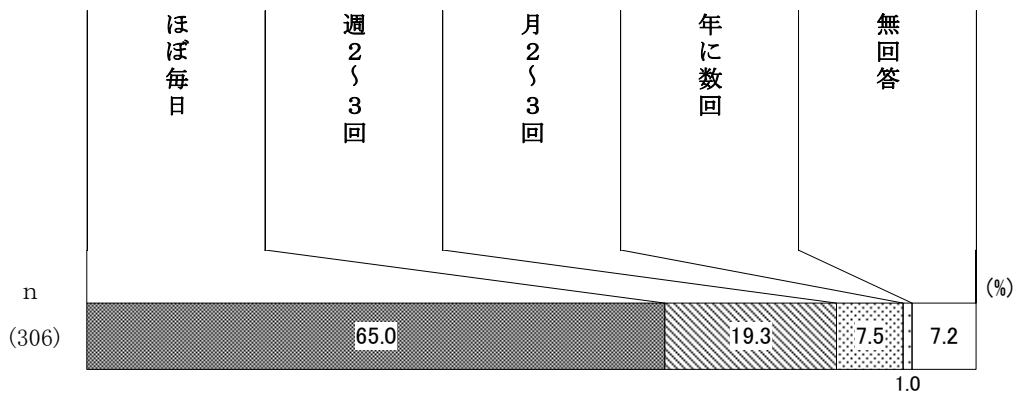
通勤は、3割台前半が「自分でできる」と回答しています。

イ 交通手段



交通手段は、「電車、バス」が3割台後半、「自家用車」が約3割、「徒歩」「自転車」が1割台前半で続いています。

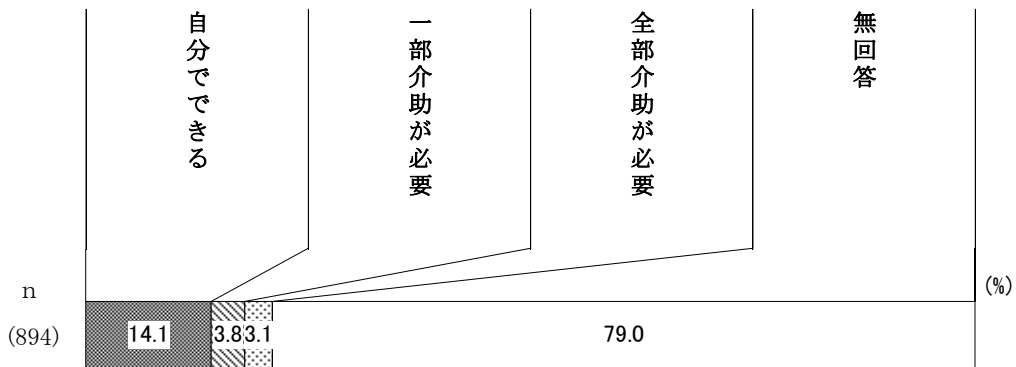
ウ 外出回数



外出の回数は、6割台半ばが「ほぼ毎日」と回答し、「週2〜3回」は約2割となっています。

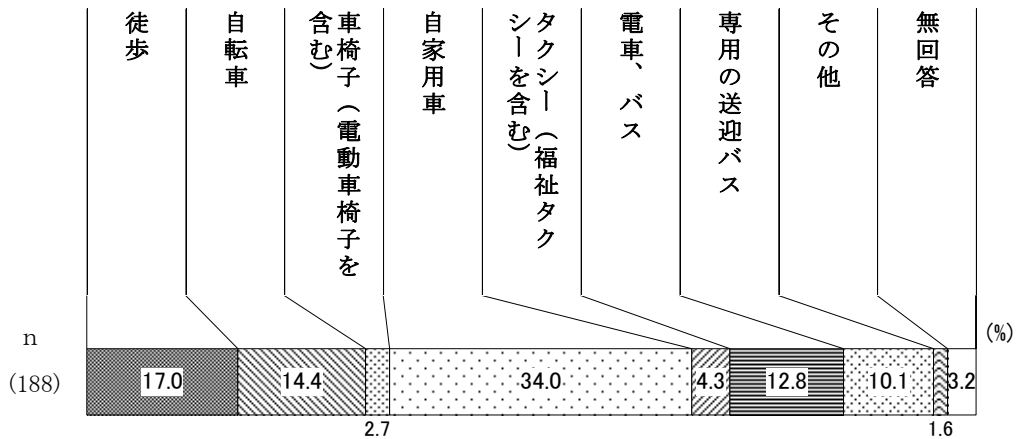
(4) 施設通所

ア 外出の状況



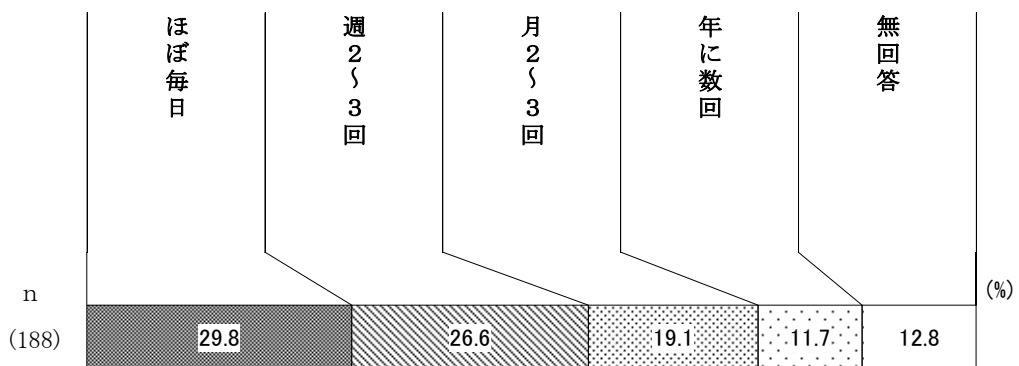
施設通所は、「自分で行ける」は1割台前半となっています。

イ 交通手段



交通手段は、「自家用車」が3割台前半、「徒歩」が1割台後半、「自転車」「電車、バス」が1割台前半が続いています。

ウ 外出回数

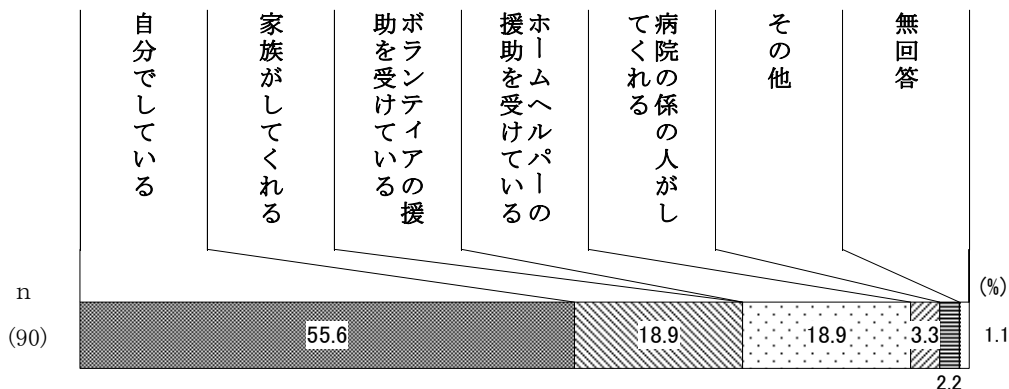


外出回数は、「ほぼ毎日」が約3割、「週2〜3日」が2割台後半、「月2〜3回」が約2割が続いています。

(12) 部屋の掃除や整理整頓の状況

【精神疾患等調査のみ】

問11 あなたは部屋の掃除や整理整頓をどうしていますか。[1つに○]

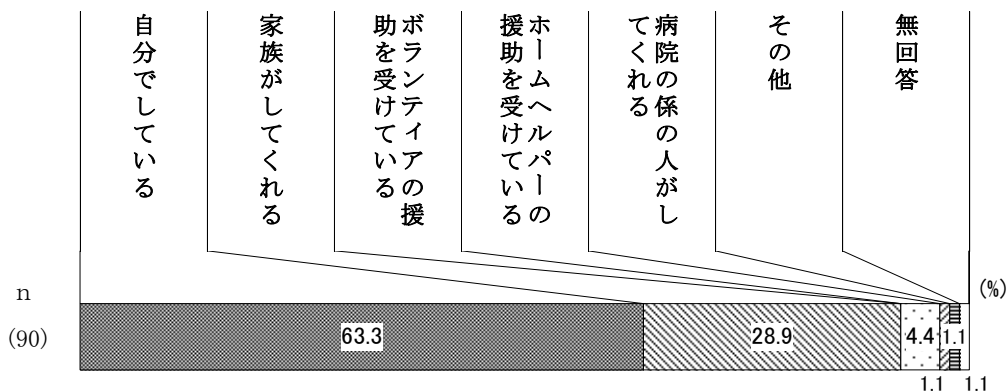


部屋の掃除や整理整頓は、「自分でしている」が5割台半ば、「家族がしてくれる」「ホームヘルパーの援助を受けている」がそれぞれ1割台後半となっています。

(13) 衣類の洗濯の状況

【精神疾患等調査のみ】

問12 あなたは衣類の洗濯をどうしていますか。[1つに○]

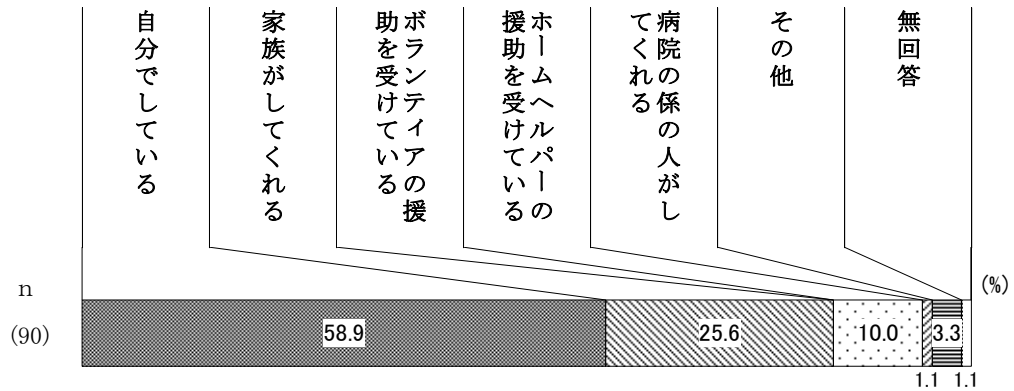


衣類の洗濯は、6割台前半が「自分でしている」と回答し、「家族がしてくれる」が2割台後半となっています。

(14) 日常の買い物の状況

【精神疾患等調査のみ】

問13 あなたは日常の買い物をどうしていますか。[1つに○]

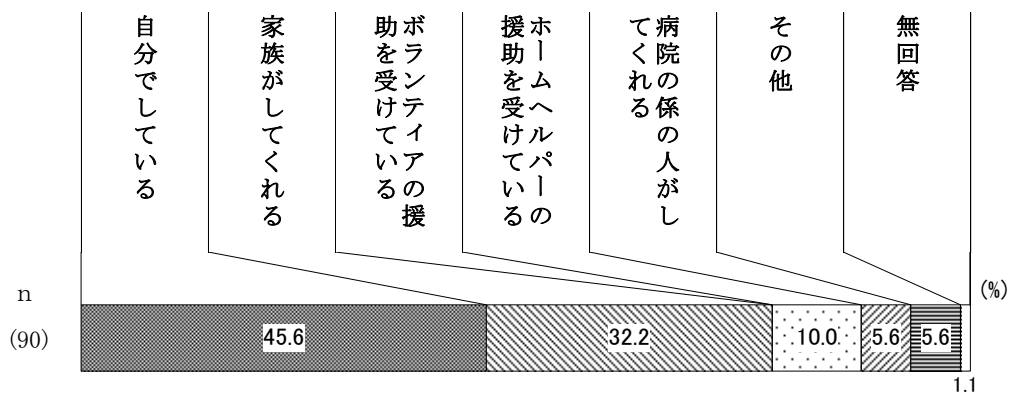


日常の買い物については、「自分でしている」が5割台後半で最も多く、次いで「家族がしてくれる」が2割台半ば、「ホームヘルパーの援助を受けている」が1割となっています。

(15) 食事の支度等の状況

【精神疾患等調査のみ】

問14 あなたは食事の支度等をどうしていますか。[1つに○]

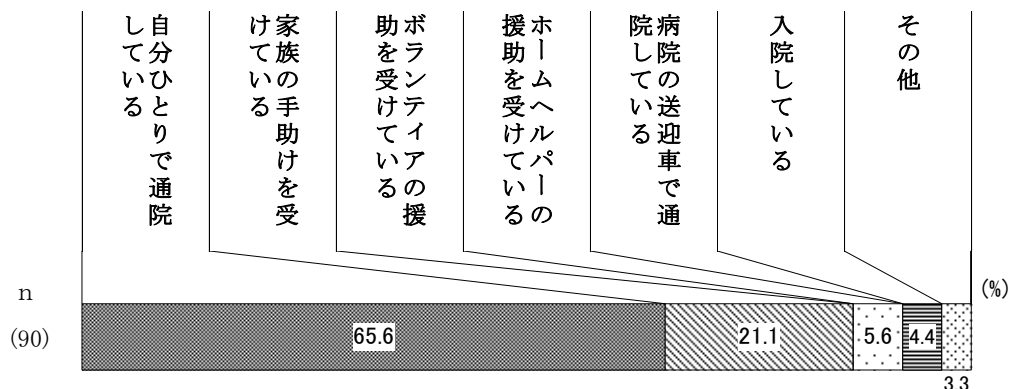


食事の支度等については、「自分でしている」が4割台半ば、「家族がしてくれる」が3割台前半、「ホームヘルパーの援助を受けている」が1割となっています。

(16) 通院の状況

【精神疾患等調査のみ】

問15 あなたは通院をどうしていますか。[1つに○]

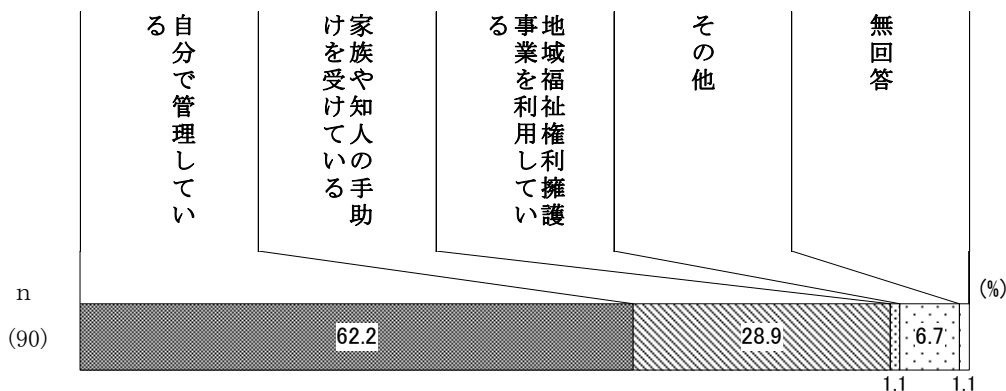


通院については、6割台半ばが「自分ひとりで通院している」と回答し、「家族の手助けを受けている」が2割台前半、「ホームヘルパーの援助を受けている」「入院している」がそれぞれ1割未満となっています。

(17) お金の管理の状況

【精神疾患等調査のみ】

問16 あなたはお金の管理をどうしていますか。[1つに○]

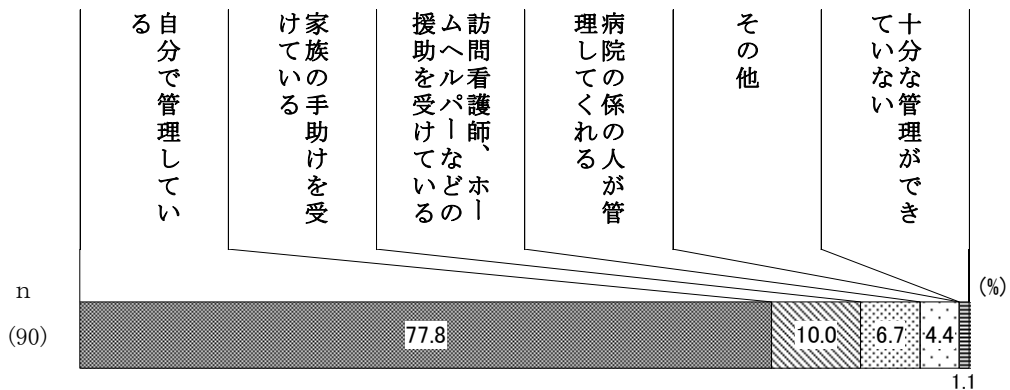


お金の管理については、「自分で管理している」が6割台前半で最も多く、次いで「家族や知人の手助けを受けている」が2割台後半となっています。

(18) 服薬の管理の状況

【精神疾患等調査のみ】

問17 あなたは服薬の管理をどうしていますか。[1つに○]

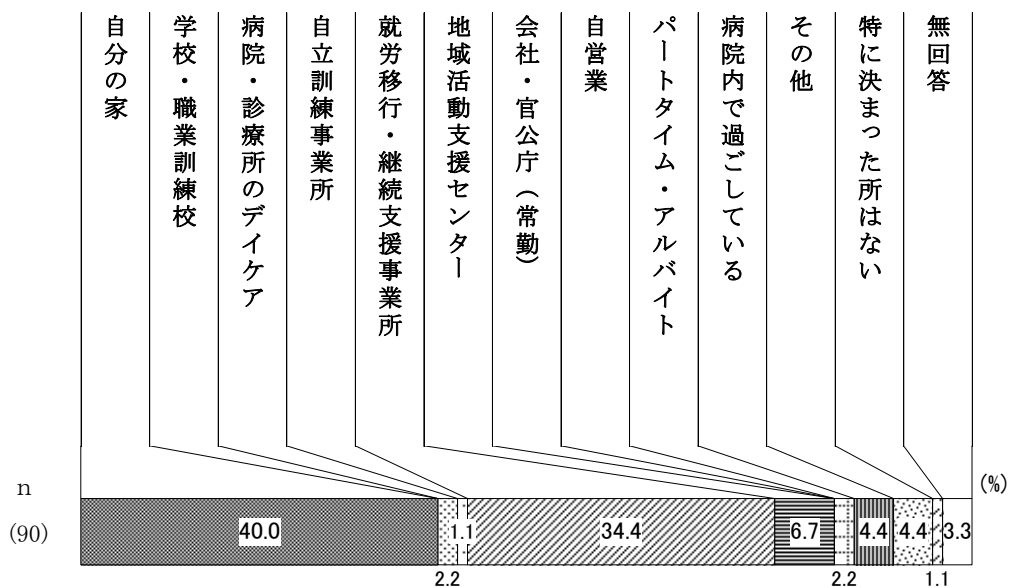


服薬の管理については、7割台後半が「自分で管理している」と回答し、「家族の手助けを受けている」が1割、「訪問看護師、ホームヘルパーなどの援助を受けている」が1割未満となっています。

(19) 平日（月～金）の昼間の過ごし方

【精神疾患等調査のみ】

問18 あなたは平日（月～金）の昼間、主にどこで過ごしていますか。[1つに○]

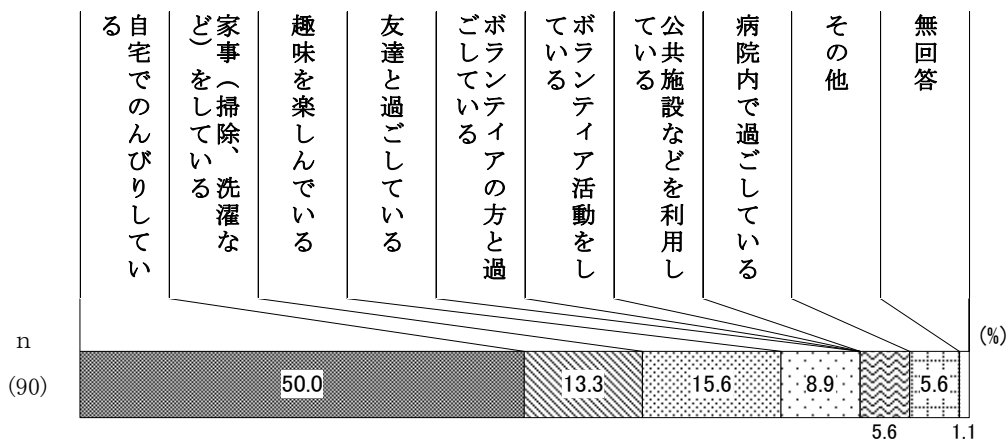


平日（月～金）の昼間、主に過ごしているのは、「自分の家」が4割で最も多く、次いで「就労移行・継続支援事業所」が3割台前半となっています。

(20) 日曜日や休日の過ごし方

【精神疾患等調査のみ】

問19 あなたは、日曜日や休日は、どのように過ごしていることが多いですか。[1つに○]

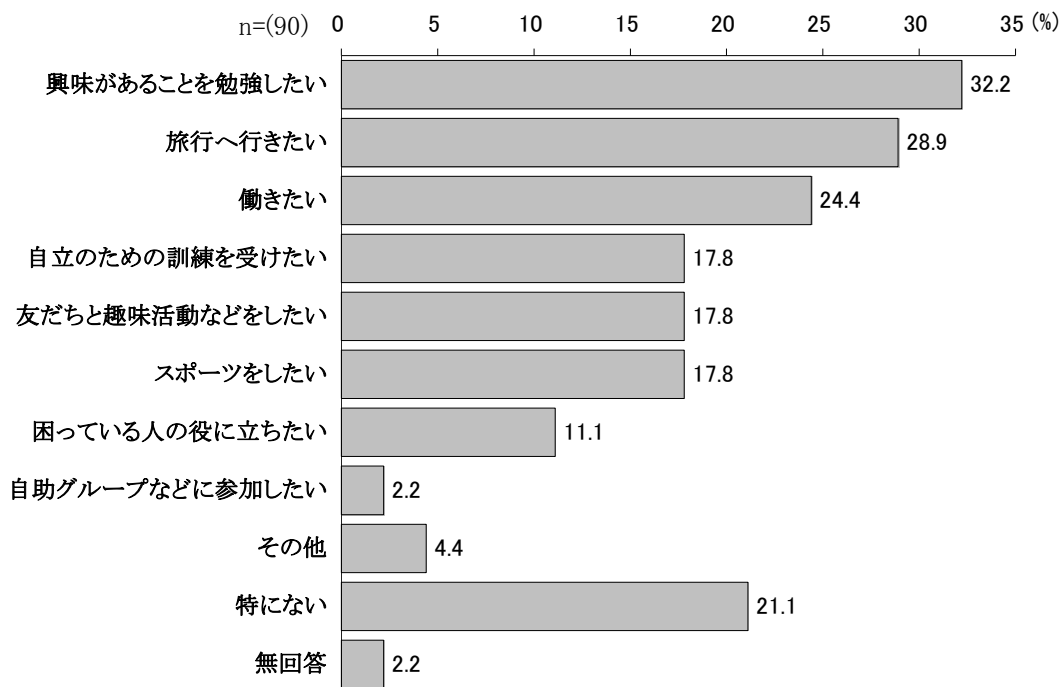


日曜日や休日の過ごし方は、「自宅でのんびりしている」が5割、「趣味を楽しんでいる」が1割台半ば、「家事（掃除、洗濯など）をしている」が1割台前半ば、「友達と過ごしている」と続いています。

(21) 今、特にしたいと思っていること

【精神疾患等調査のみ】

問20 あなたが今、特にしたいと思っていることは何ですか。[いくつでも○]



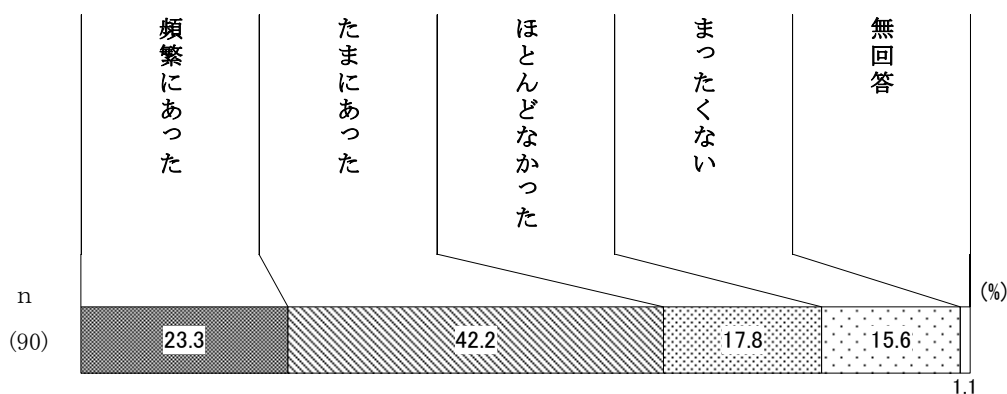
今、特にしたいと思っていることは、「興味があることを勉強したい」が3割台前半で最も多く、次いで「旅行へ行きたい」が2割台後半、「働きたい」が2割台前半で続いています。一方、「特にない」が2割台前半となっています。



(22) 病気などが原因でイヤな思いをしたり、不利益をこうむったと感じたこと

【精神疾患等調査のみ】

問21 あなたはこれまでの生活の中で、自分の病気のことなどが原因でイヤな思いをさせられたり、不利益をこうむったと感じたことはありますか。[1つに○]



これまでの生活の中で、病気のことなどが原因でイヤな思いをしたり、不利益をこうむったと感じたことについては、「たまにあった」が4割前半、「頻繁にあった」が2割前半で、これらを合わせた<あった>は、6割半ばで半数を超えています。一方、「ほとんどなかった」「まったくない」を合わせた<なかった>は、3割前半となっています。

(23) 病気などが原因でイヤな思いをしたり、不利益をこうむったと感じた内容

【精神疾患等調査のみ】

問21で「1. 頻繁にあった」または「2. たまにあった」と答えた方におたずねします。

問21-1 さしつかえなければ、その内容についてご記入ください。[自由記入]

記入された主な内容は次のとおりである。

- ・言語障害があり、なかなか言葉が伝わらないので、困ります。
- ・通常の日常生活がむずかしい。お金がかかる（病気の為）。旅行に行けない。
- ・自分の特性を理解してもらえず、適切な指導を受けられなかった。
- ・変な目でみられているような気がした。
- ・一般の人とは違うようなあつかいを受けたと少し感じた。
- ・何か事件がおきた時、犯人扱いされたり病気のせいでつらい目にあった。
- ・仲間に入れない、仲間外れにされる。いじめにあった。
- ・家族とケンカ
- ・原因不明のため病院で他を紹介され見放された感があった。
- ・就労の時に差別をうけました。

## 4. 健康・医療について

### (1) 現在お医者さんにかかっているか

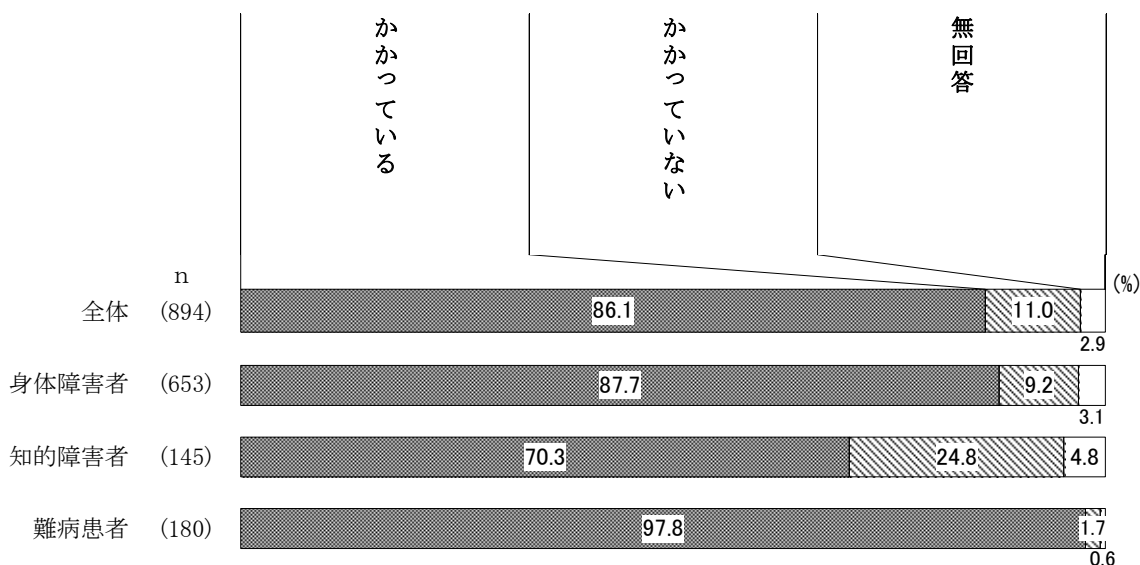
【身体・知的・難病調査】

問11 あなたは、現在お医者さんにかかっていますか。[1つに○]

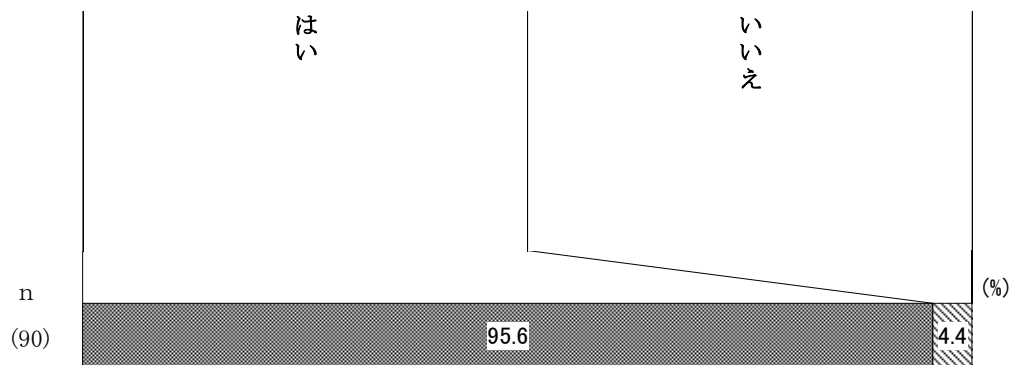
【精神疾患等調査】

問22 あなたは現在、精神神経科・心療内科のお医者さんにかかっていますか。[1つに○]

#### 身体・知的・難病



#### 精神



現在お医者さんにかかっているかについては、「かかっている」は難病患者で9割台後半、身体障害者で8割台後半となっています。知的障害者では、「かかっていない」が2割台前半となっています。精神障害者では、「はい」が9割台半ばで精神神経科・心療内科のお医者さんにかかっていると回答しています。

(2) ひと月の通院または往診の回数

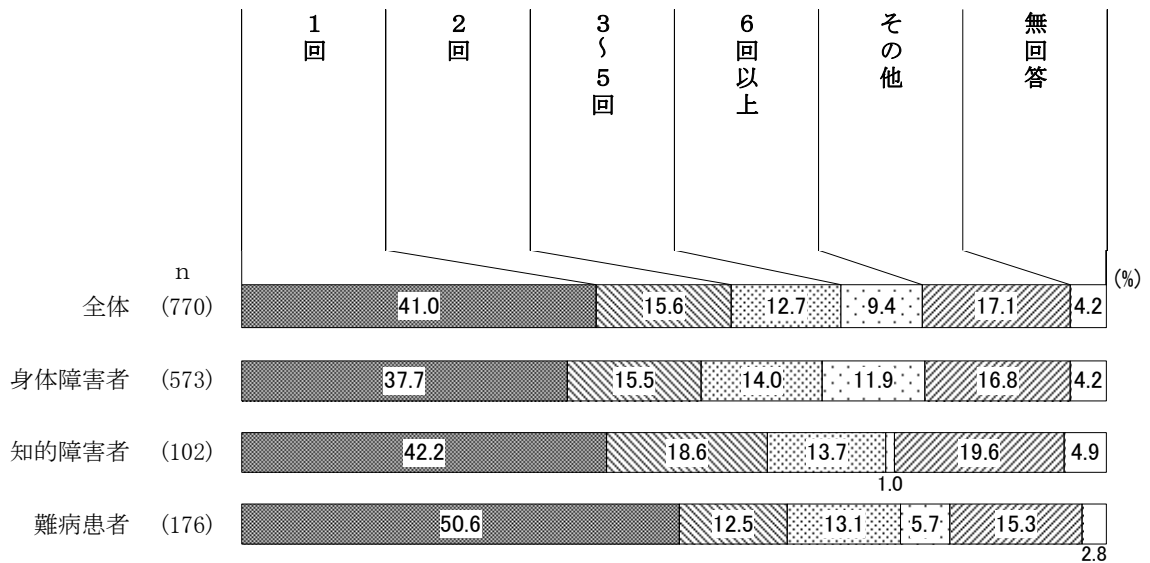
【身体・知的・難病調査】

問11で「1. かかっている」と答えた方におたずねします。

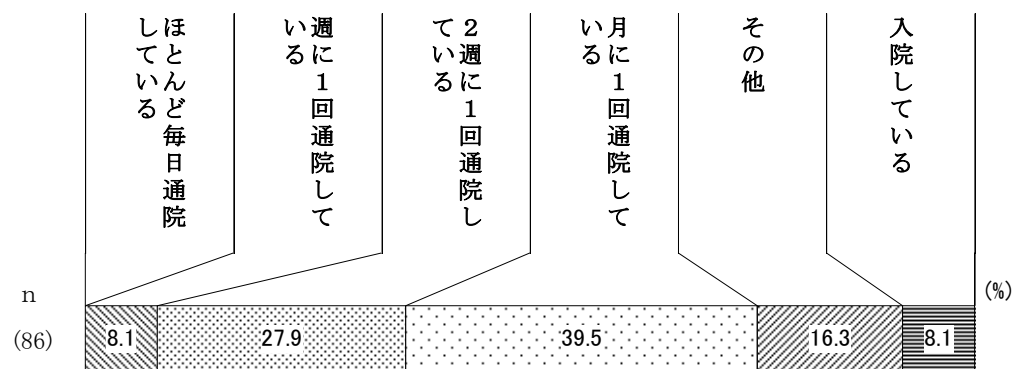
問11-1 ひと月の通院または往診の回数はどのくらいですか。[1つに〇]

【精神／問22、22-1】

身体・知的・難病



精神

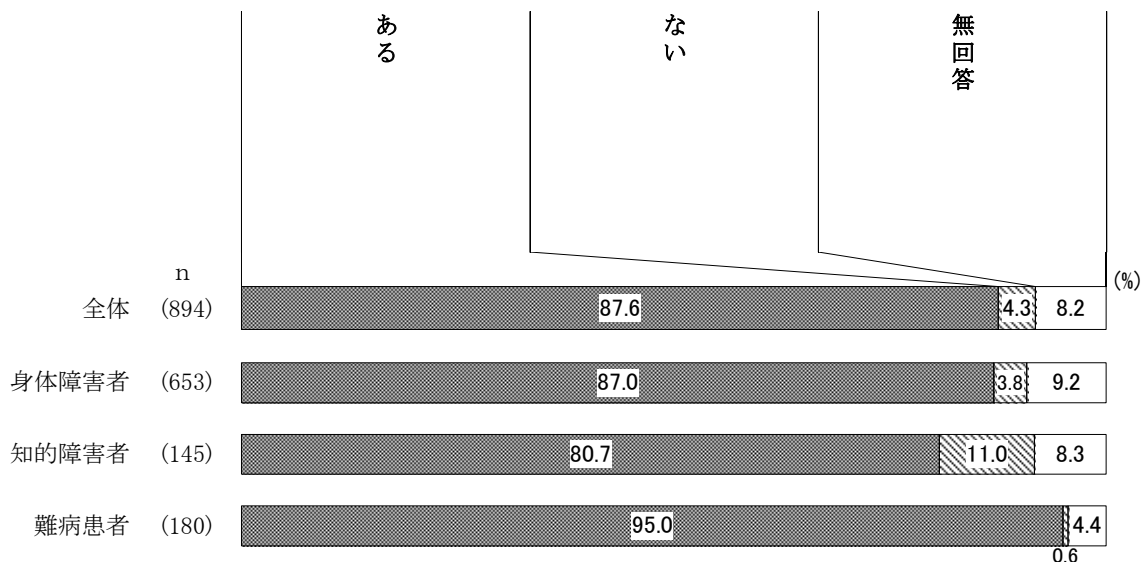


ひと月の通院または往診の回数は、難病患者で「1回」が5割、知的障害者で4割台前半、身体障害者で3割台後半となっています。「2回」、「3～5回」はいずれも1割台です。精神障害者では、「月に1回通院している」が約4割で最も多く、次いで「2週に1回通院している」が2割台後半で続いています。

(3) かかりつけの医療機関（診療所・医院・病院）の有無

【身体・知的・難病調査のみ】

問12 あなたは、かかりつけの医療機関（診療所・医院・病院）がありますか。[1つに○]



かかりつけの医療機関（診療所・医院・病院）の有無については、8割以上が「ある」と回答しています。

(4) 医療について困っていること、要望

【身体・知的・難病調査】

問13 医療について（歯科も含め）困ったことや要望がありましたらお聞かせください。

【精神疾患等調査】

問23 薬や病院などで困っていることがありましたら、ご記入ください。

記入された内容は次のとおりである。

【身体・知的・難病調査】

- ・病院の対応に不満がある
- ・障害に対する専門的知識のある医師・病院が少ない・ない
- ・障害児・発達障害児への配慮が足りない・専門的知識が足りない
- ・医療費、薬代、交通費等経済的な不安がある
- ・混んでいる・待ち時間が長い
- ・通院に支障がある
- ・病院内の設備の不備・バリアフリー化されていない
- ・呼ばれても聞こえない
- ・症状を伝えられない
- ・医療・医療機関に関する情報が少ない・ない

【精神疾患等調査】

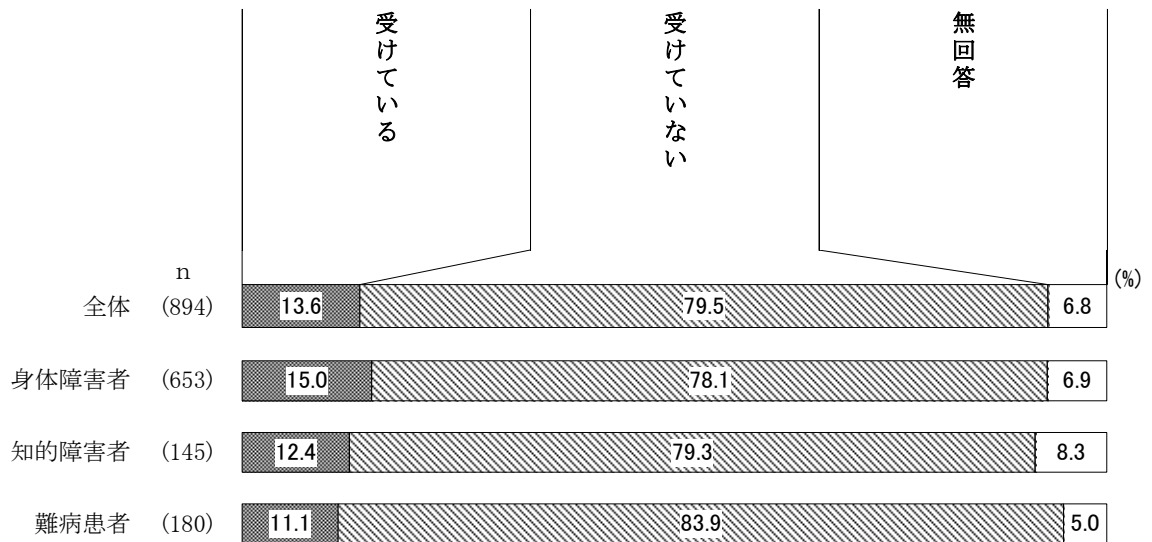
- ・病院が遠い
- ・病院が混んでいる・待ち時間が長い
- ・病院でいやな思いをする
- ・医師とのコミュニケーションが難しい
- ・薬の量が多い・量を減らしたい
- ・薬局の待ち時間が長い
- ・薬があわない、副作用が出る・体調が悪くなる
- ・体調・症状が変わりやすい
- ・睡眠に影響が出る

(5) 身体機能低下の防止や機能向上のための機能訓練の状況

【身体・知的・難病調査のみ】

問14 あなたは、身体機能低下の防止や維持向上のため機能訓練を受けていますか。

[1つに〇]



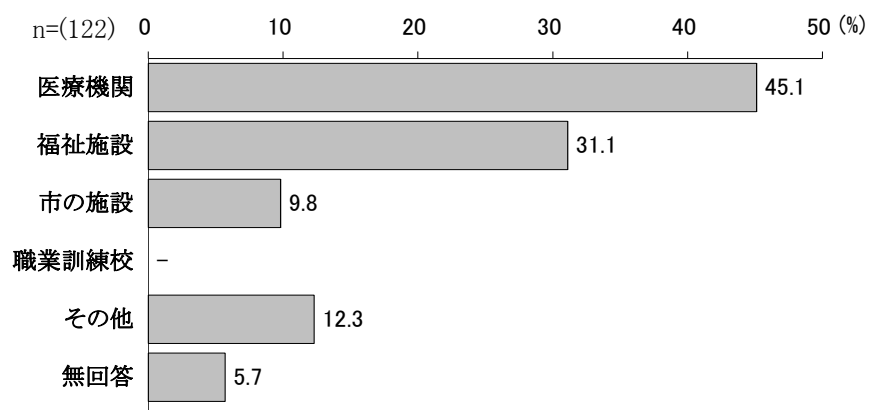
身体機能低下の防止や維持向上のため機能訓練について、「受けている」が1割台、「受けていない」が8割前後となっています。

(6) 機能訓練を受けている機関

【身体・知的・難病調査のみ】

問14で「1. 受けている」と答えた方におたずねします。

問14-1 受けている機関はどこですか。[いくつでも〇]

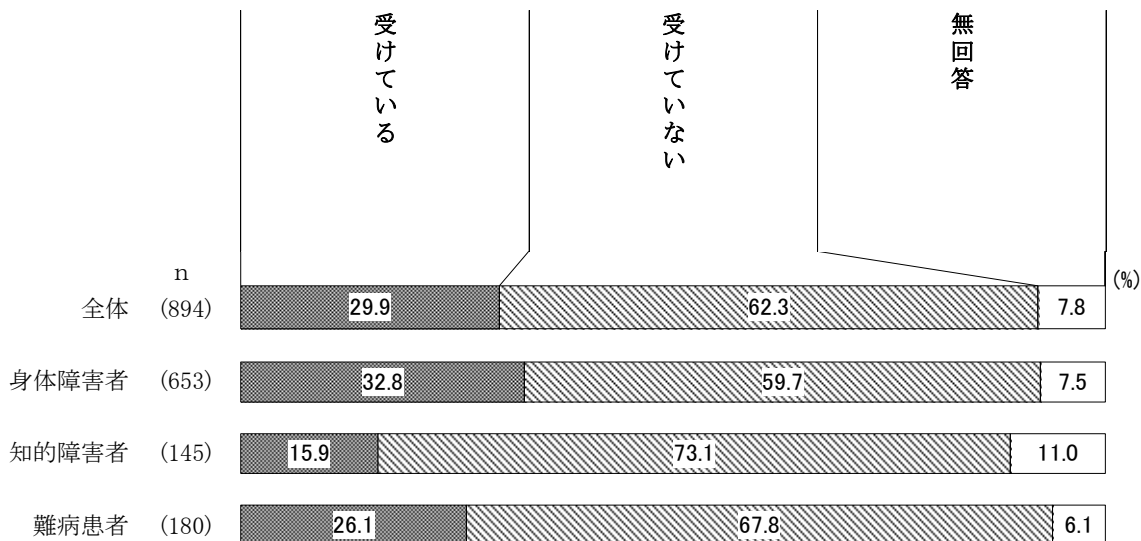


身体機能低下の防止や維持向上のため機能訓練を受けていると回答した方が受けている機関は、「医療機関」が4割台半ば、「福祉施設」が3割台前半、「市の施設」が約1割となっています。

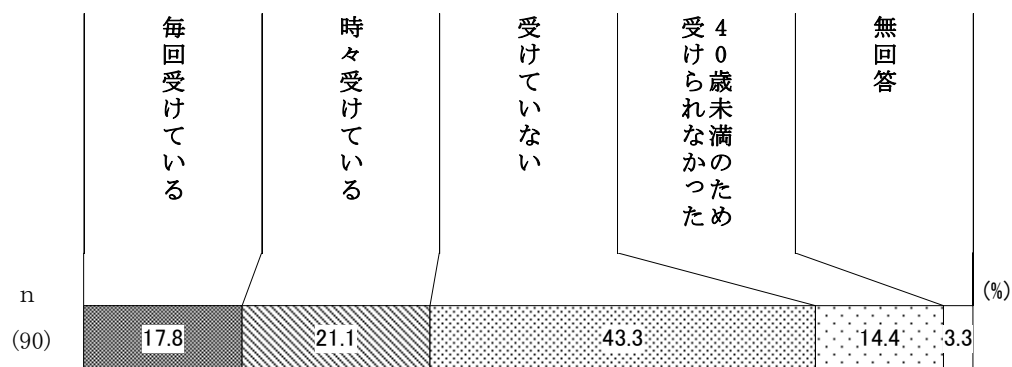
(7) 市で実施している健康診断の受診の有無

問15 市で実施している健康診査を受けていますか。[1つに○]【精神／問27】

身体・知的・難病



精神



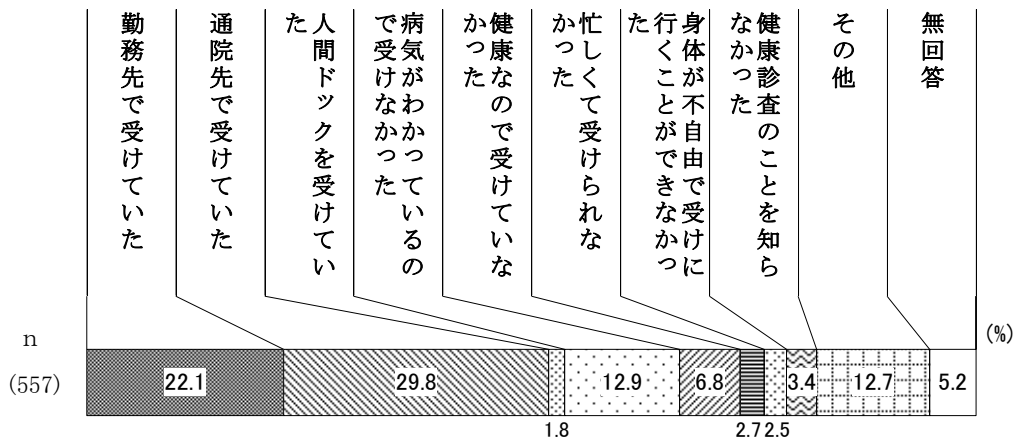
市で実施している健康診査の受診の有無は、「受けている」が身体障害者で3割台前半、難病患者で2割台後半となっています。知的障害者では、「受けていない」が7割台前半となっています。精神障害者では、「毎回受けている」と「時々受けている」を合わせた<受けている>は3割台後半、「受けていない」は4割台前半となっています。

(8) 受けていない主な理由

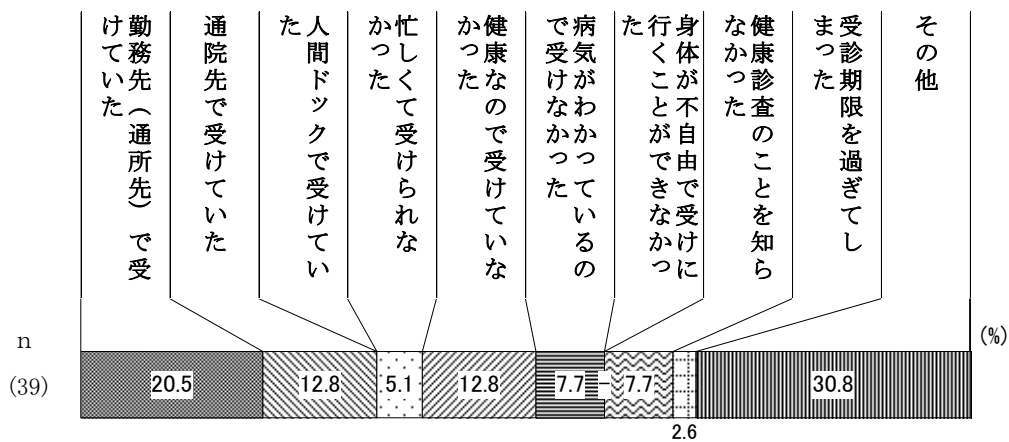
問15で「2. 受けていない」と答えた方におたずねします。

問15-1 主な理由は何ですか。[1つに○] 【精神/問27-1】

身体・知的・難病



精神

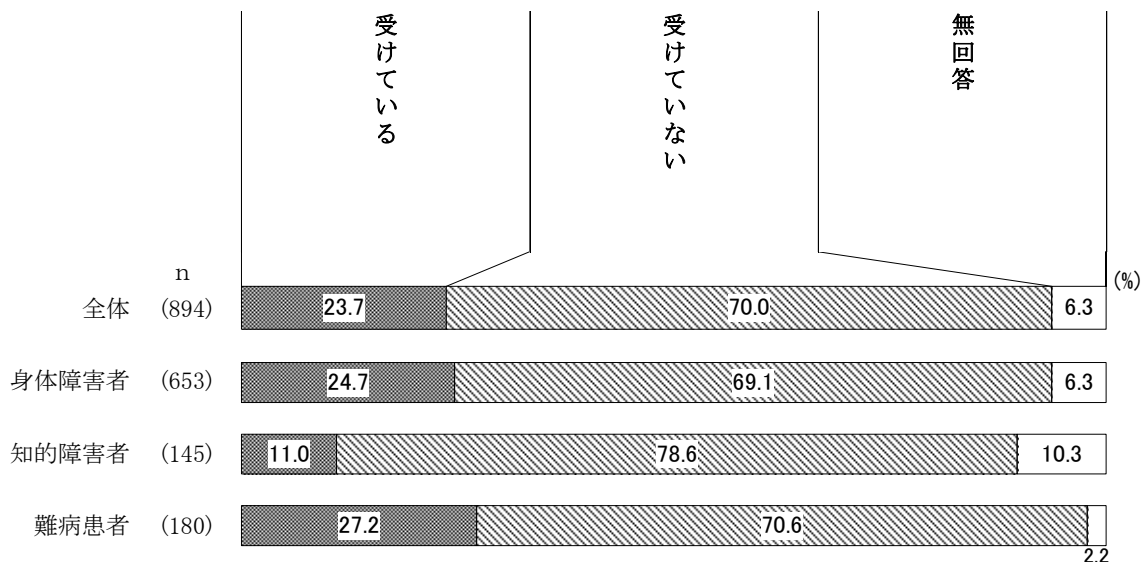


市で実施している健康診査を受けていない理由は、身体・知的・難病患者では、「通院先で受けていた」が最も多く約3割、「勤務先で受けていた」が2割台前半、「病気がわかっているのに受けなかった」が1割台前半となっています。精神障害者では、「勤務先(通所先)で受けていた」が約2割、「通院先で受けていた」「健康なので受けていなかった」が1割台前半と続いています。

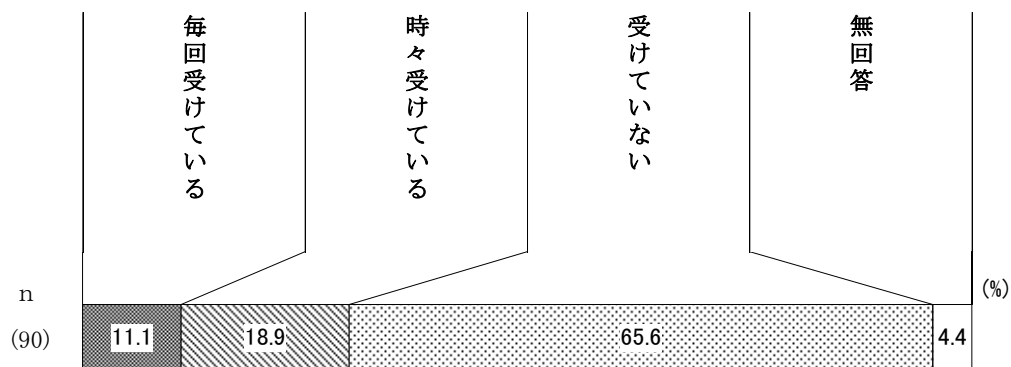
(9) 市で実施しているがん検診の受診状況

問16 市で実施しているがん検診（大腸・胃・肺・乳・子宮・口腔・前立腺）を受けていますか。[1つに○] 【精神／問28】

身体・知的・難病



精神



市で実施しているがん検診（大腸・胃・肺・乳・子宮・口腔・前立腺）については、「受けている」が身体・難病で2割台、「受けていない」が約7割となっています。知的障害者では「受けていない」が7割台後半です。精神障害者では、「毎回受けている」「時々受けている」を合わせたく受けている>が3割、「受けていない」は6割台半ばとなっています。

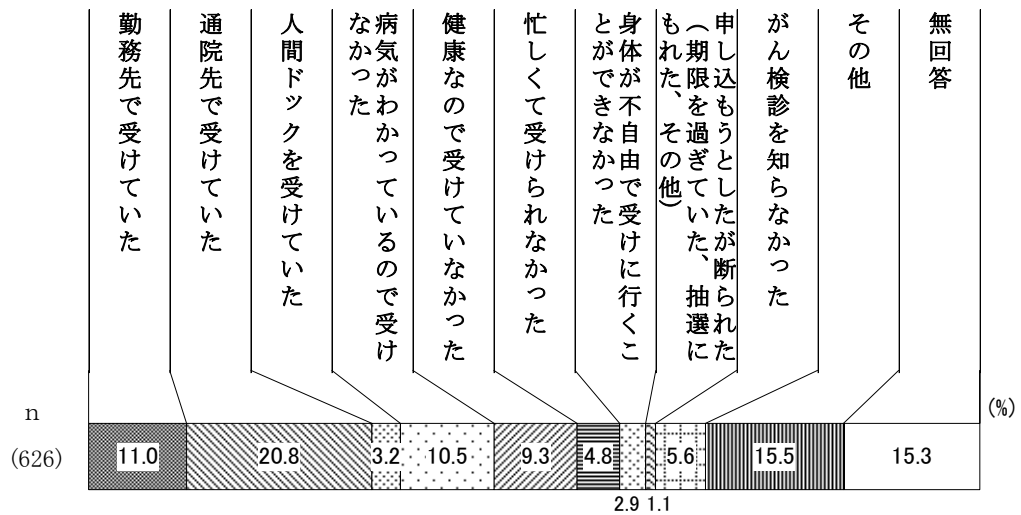


(10) 受けていない主な理由

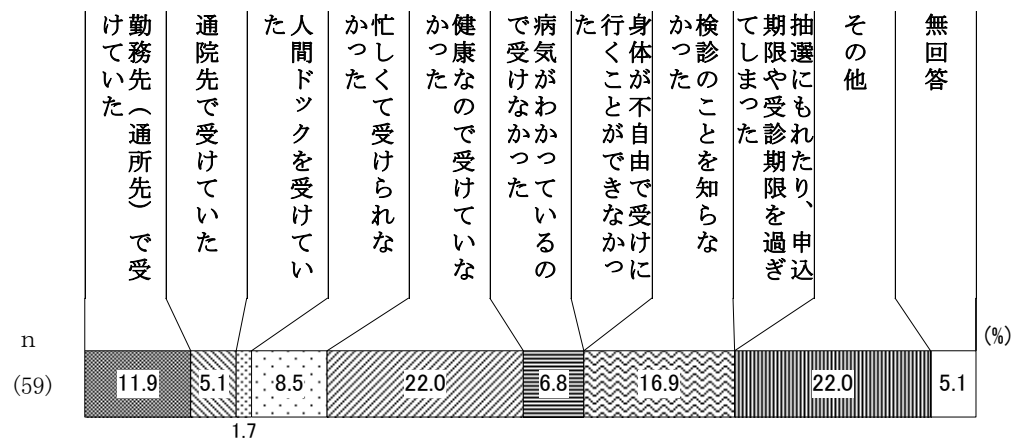
問16で「2. 受けていない」と答えた方におたずねします。

問16-1 主な理由は何ですか。[1つに○] 【精神/問28-1】

身体・知的・難病



精神

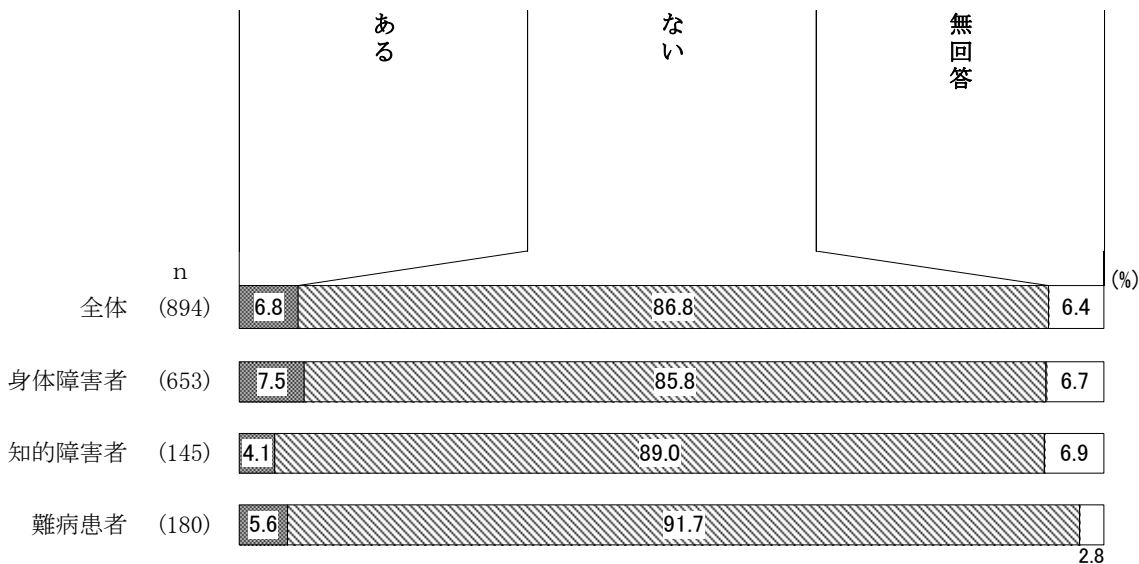


市で実施しているがん検診（大腸・胃・肺・乳・子宮・口腔・前立腺）を受診していない理由は、身体・知的・難病患者では、「通院先で受けていた」が約2割、「勤務先で受けていた」「病気がわかっていなかったので受けなかった」「健康なので受けていなかった」と続いています。精神障害者では、「健康なので受けていなかった」が2割台前半と最も多く、「検診のことを知らなかった」が1割台後半、「勤務先（通所先）で受けていた」と続いています。

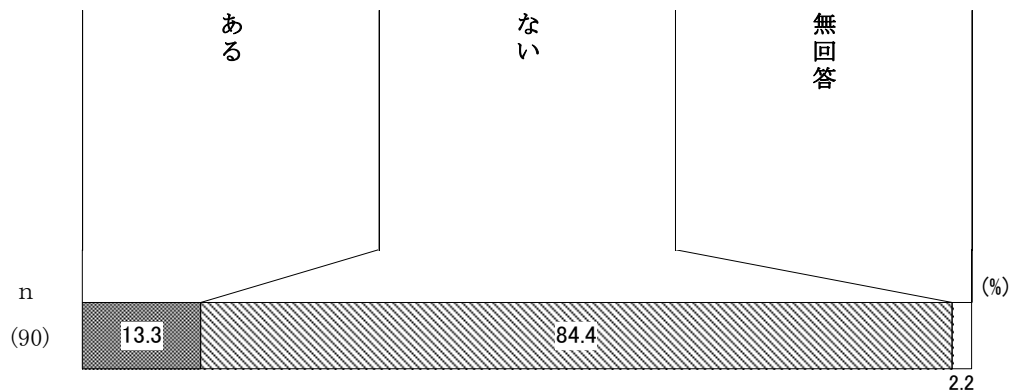
(11) 市の健康相談、電話相談利用の有無

問17 市で行っている健康相談、電話相談を利用したことがありますか。[1つに○]  
【精神／問29】

身体・知的・難病



精神



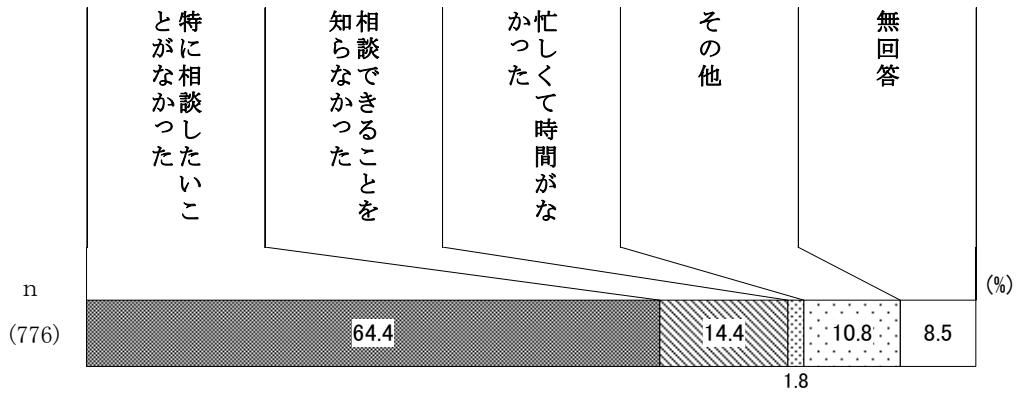
市で行っている健康相談、電話相談利用の有無は、身体・知的・難病患者者では、8割台以上が「ない」と回答し、「ある」は1割未満となっています。精神障害者も同様に、「ない」が8割台前半、「ある」が13.3%となっています。

(12) 利用したことがない理由

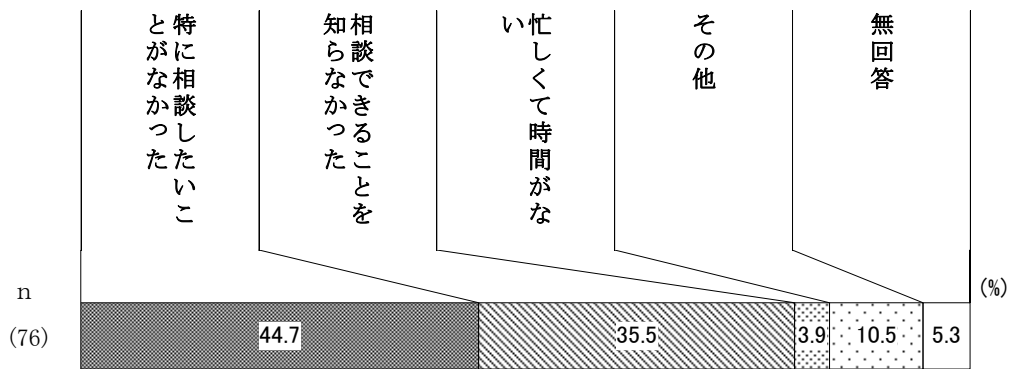
問17で「2. ない」と答えた方におたずねします。

問17-1 利用したことがないのはなぜですか。[1つに○] 【精神／問29】

身体・知的・難病



精神

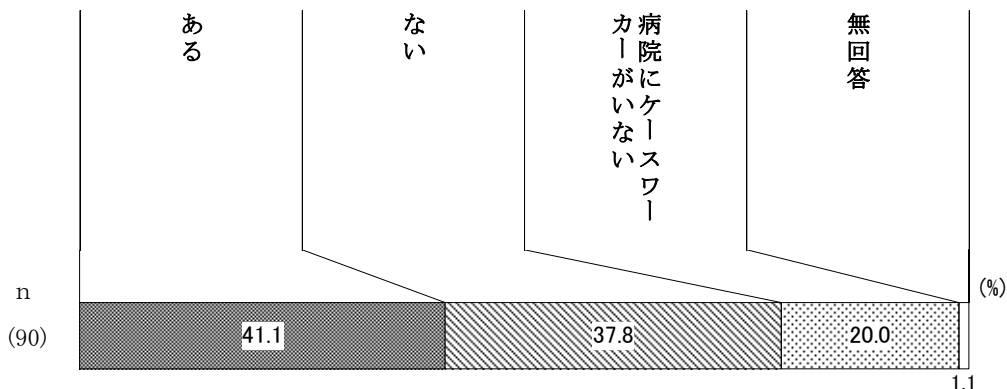


市で行っている健康相談、電話相談を利用したことがない理由は、身体・知的・難病患者では、6割台前半が「特に相談したいことがなかった」と回答し、「相談できることを知らなかった」が1割台前半となっています。精神障害者では、「特に相談したいことがなかった」が4割台前半、次いで「相談できることを知らなかった」が3割台半ばとなっています。

(13) 病院のケースワーカーへの相談

【精神疾患等調査のみ】

問24 病院のケースワーカーに相談したことがありますか。[1つに○]



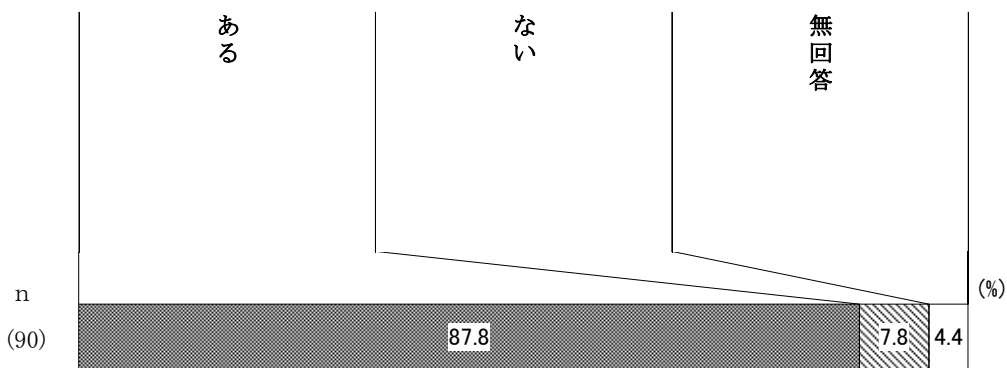
病院のケースワーカーへの相談は、「ある」が4割前半、「ない」が3割後半となっています。「病院にケースワーカーがない」が2割となっています。

(14) 市役所利用の有無

【精神疾患等調査のみ】

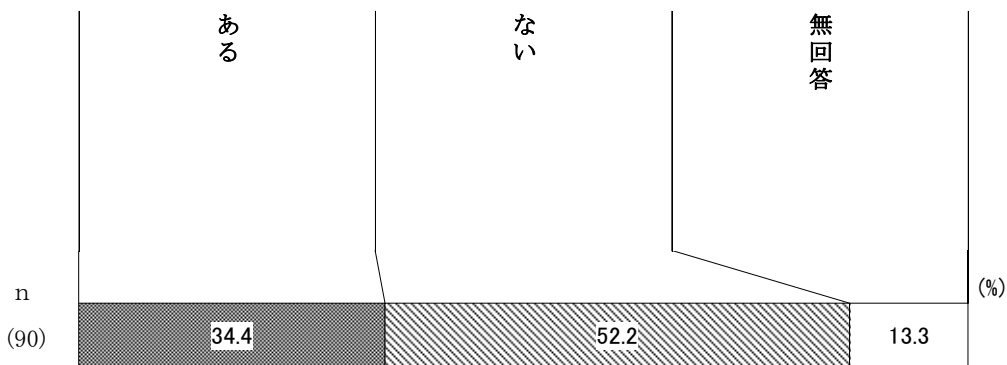
問25 あなたは、市役所または保健所を利用したことがありますか。[それぞれ1つに○]

市役所



市役所利用の有無は、8割後半が「ある」と回答しています。

保健所

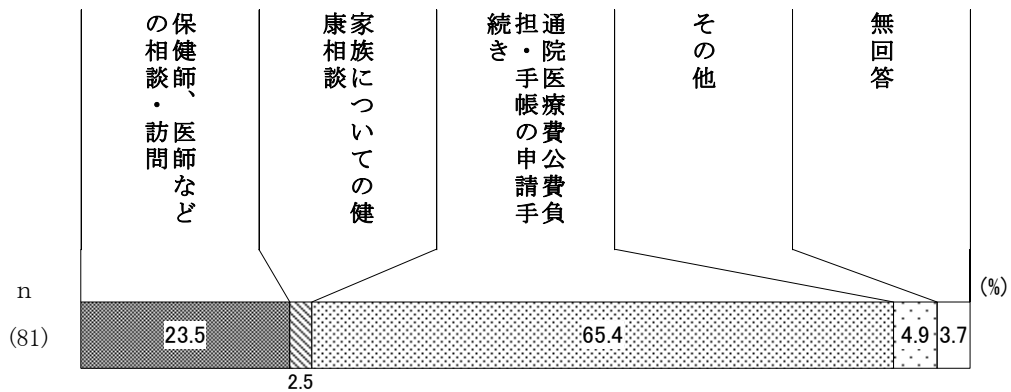


保健所の利用の有無は、「ある」3割前半、「ない」が5割前半となっています。

(15) 市役所、保健所の利用の内容

【精神疾患等調査のみ】

問25で市役所または保健所のどちらかの利用で「1. ある」と答えた方におたずねします。  
問25-1 どのような利用をしましたか。[1つに○]

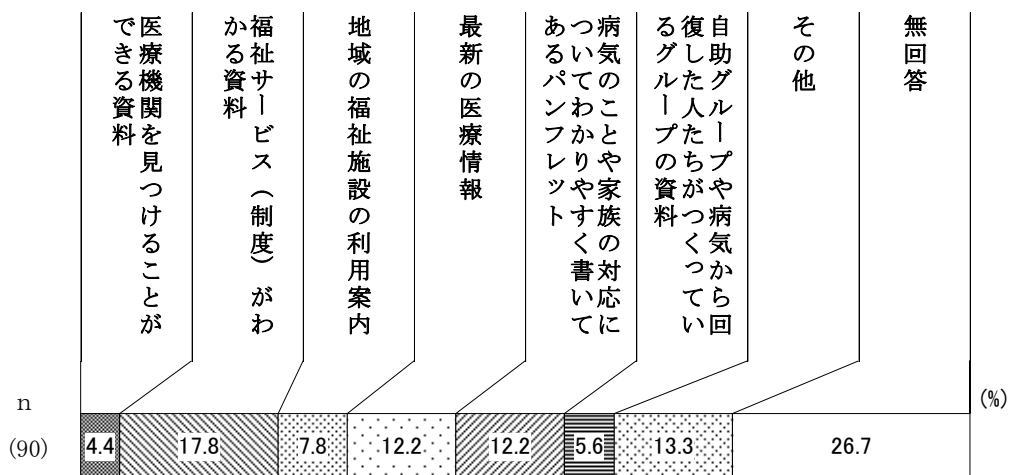


市役所または保健所の利用は、「通院医療費公費負担・手帳の申請手続き」が6割台半ばで最も多く、次いで「保健師、医師などの相談・訪問」が2割台前半となっています。

(16) 市役所や保健所などで必要な情報

【精神疾患等調査のみ】

問26 市役所や保健所などで、あなたがほしい情報は何ですか。[1つに○]



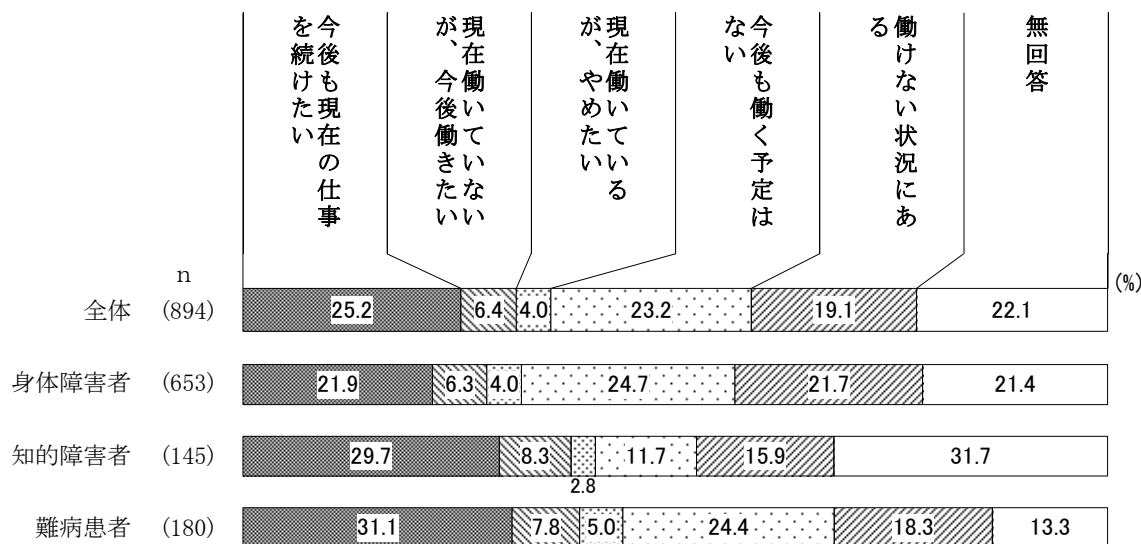
市役所や保健所などで、ほしい情報は、「福祉サービス（制度）がわかる資料」が1割台後半、次いで「最新の医療情報」「病気のことや家族の対応についてわかりやすく書いてあるパンフレット」がそれぞれ1割台前半で続いています。

## 5. 就労について

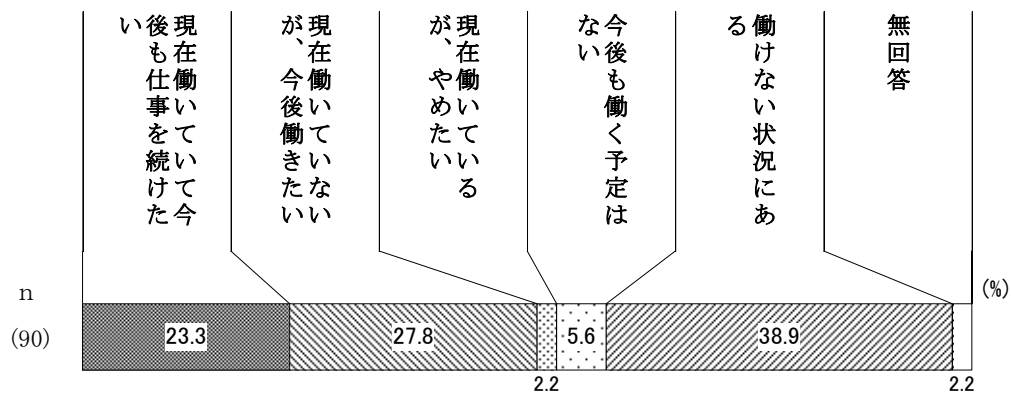
### (1) 現在の就労状況

問18 あなたの現在の就労状況について教えてください。[1つに〇] 【精神/問30】

#### 身体・知的・難病



#### 精神



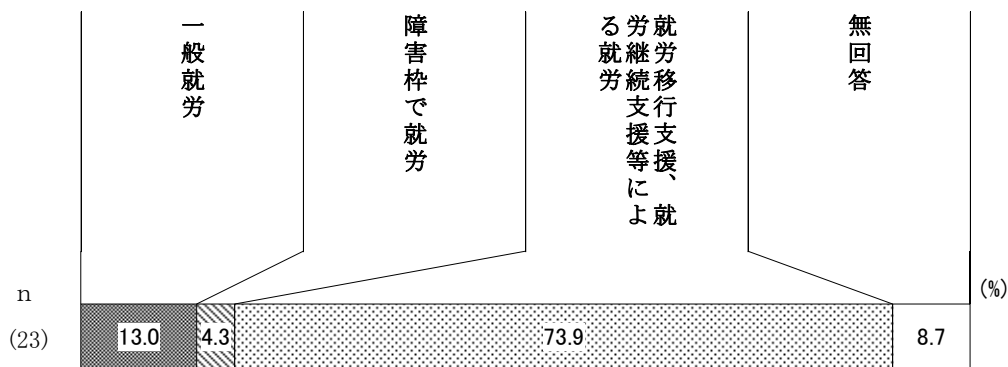
現在の就労状況は、知的・難病では、「今後も現在の仕事を続けたい」が3割前後となっています。身体・難病では、「今後も働く予定はない」が2割台前半、「働けない状況にある」が2割前後となっています。精神障害者では、「働けない状況にある」が3割台後半と最も多く、「現在働いていないが、今後働きたい」が2割台後半、「現在働いていて今後も仕事を続けたい」が2割台前半で続いています。

(2) 現在の就労形態

【精神疾患等調査のみ】

問30で「1. 現在働いていて今後も仕事を続けたい」または「3. 現在働いているが、やめたい」と答えた方におたずねします。

問30-1 現在の就労形態は次のどれですか。[1つに○]



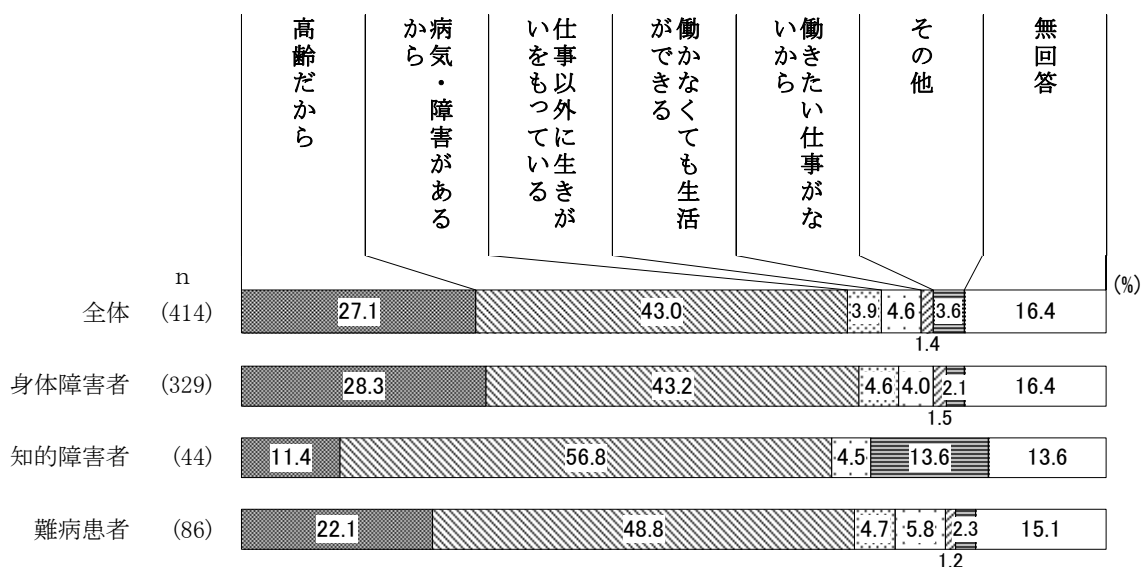
「現在働いていて今後も仕事を続けたい」または「現在働いているが、やめたい」と回答した方の就労形態は、7割台前半が「就労移行支援、就労継続支援等による就労」と回答し、「一般就労」は1割台前半、「障害枠で就労」が1割未満となっています。

(3) 働くのをやめたい、働く予定がない、働けない主な理由

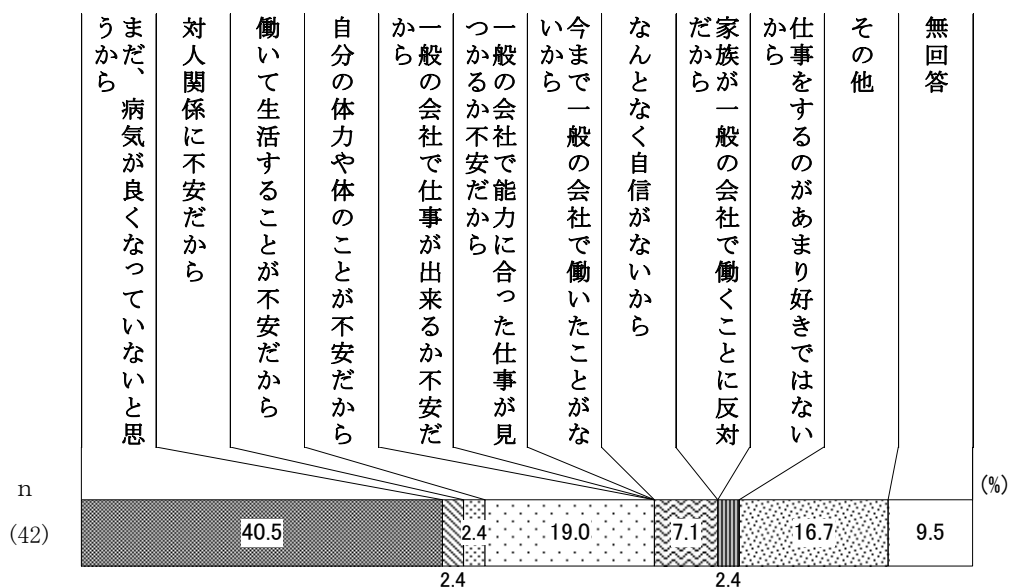
問18で「3. 現在働いているが、やめたい」、「4. 今後も働く予定はない」または「5. 働けない状況にある」と答えた方におたずねします。

問18-1 その主な理由は何ですか。[1つに○] 【精神/問30-2】

身体・知的・難病



精神



「現在働いているが、やめたい」「今後も働く予定はない」または「働けない状況にある」と答えた方の理由は、身体障害者では「高齢だから」が2割台後半と比較的高くなっています。「病気・障害があるから」は知的障害者で5割台後半となっています。精神障害者では、約4割が「まだ、病気が良くなっていないと思うから」と回答し、「自分の体力や体のことが不安だから」が約2割となっています。



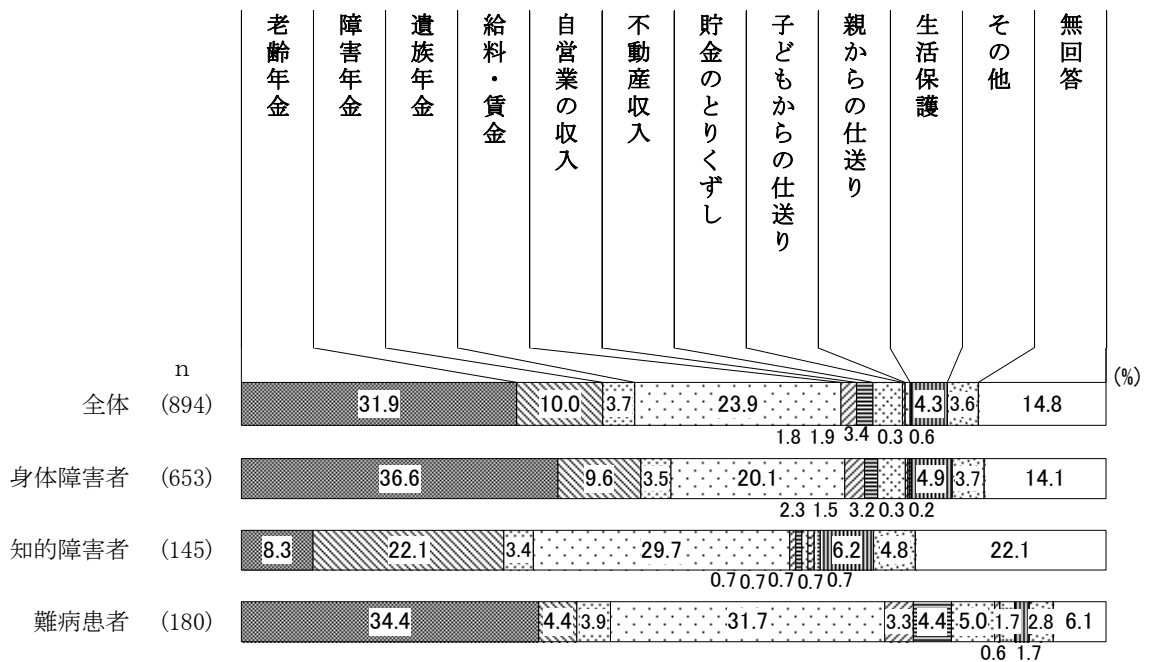
## 6. 収入について

### (1) 家庭の収入

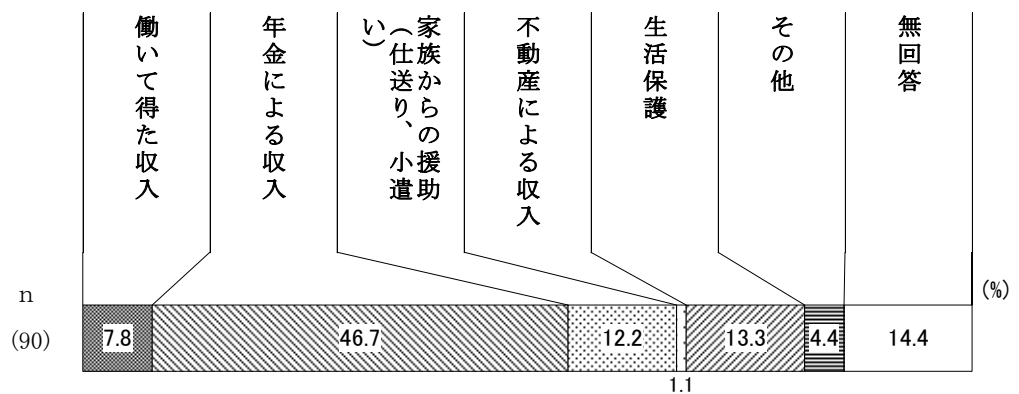
問19 あなたの家庭の収入は次のうちどれですか。[金額の多い順に3つ以内]【精神／問31】

#### ■ 1番目

身体・知的・難病



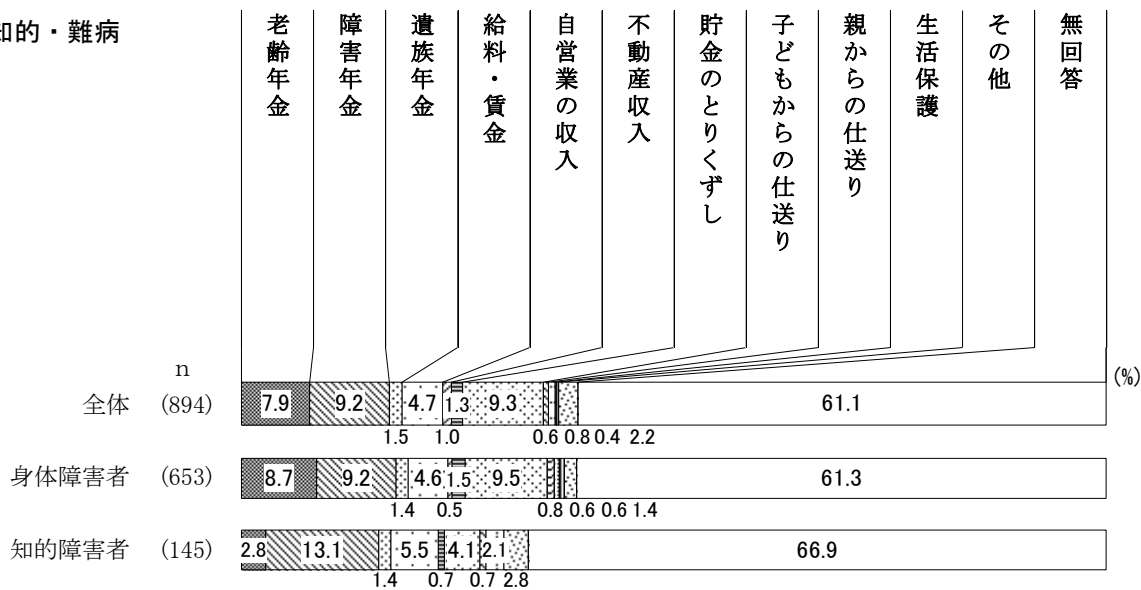
精神



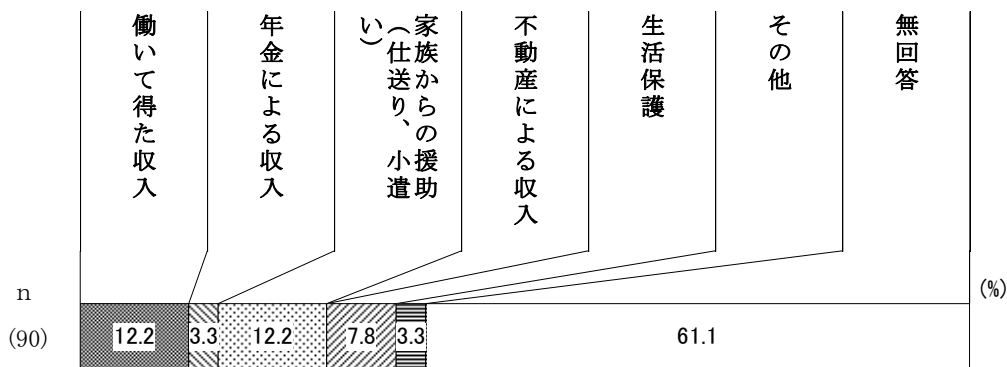
家庭の収入の1番目は、身体・難病では、「老齢年金」が3割台で最も多くなっています。知的・難病では「給料・賃金」が3割前後です。知的障害者では「障害年金」が2割台となっています。精神障害者では、「年金による収入」が4割台後半で最も多く、次いで「生活保護」「家族からの援助(仕送り、小遣い)」が1割台前半で続いています。

■ 2番目

身体・知的・難病



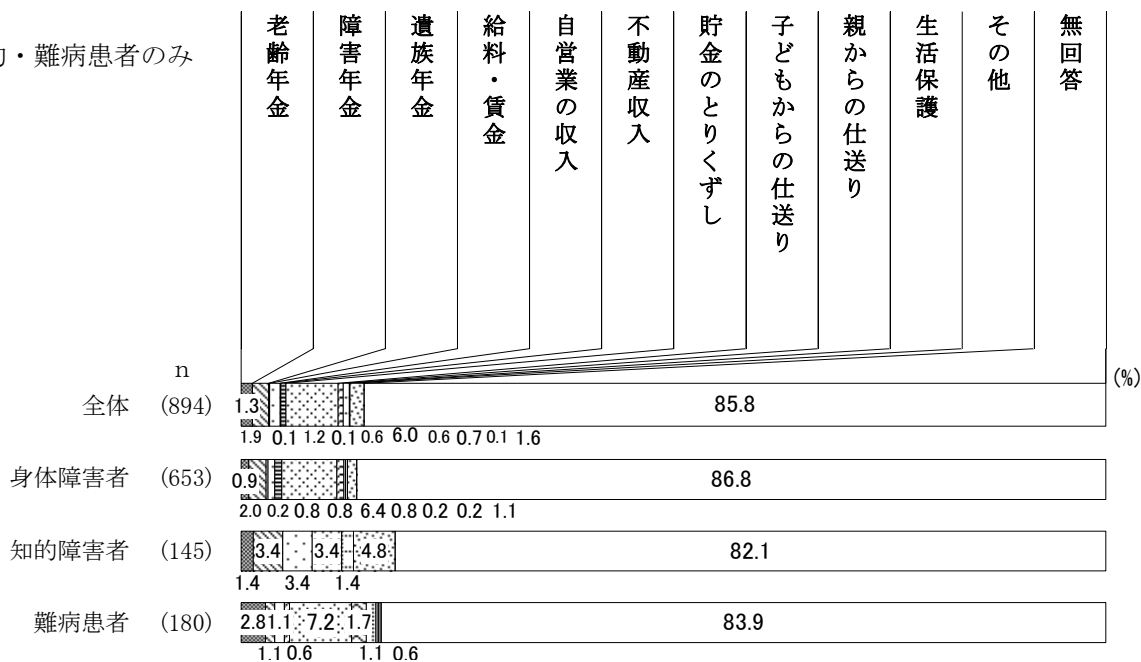
精神



収入の2番目は、身体障害者で「貯金のとりくずし」が約1割となっています。精神障害者では、「働いて得た収入」「家族からの援助（仕送り、小遣い）」が1割台前半です。

■ 3番目

身体・知的・難病患者のみ

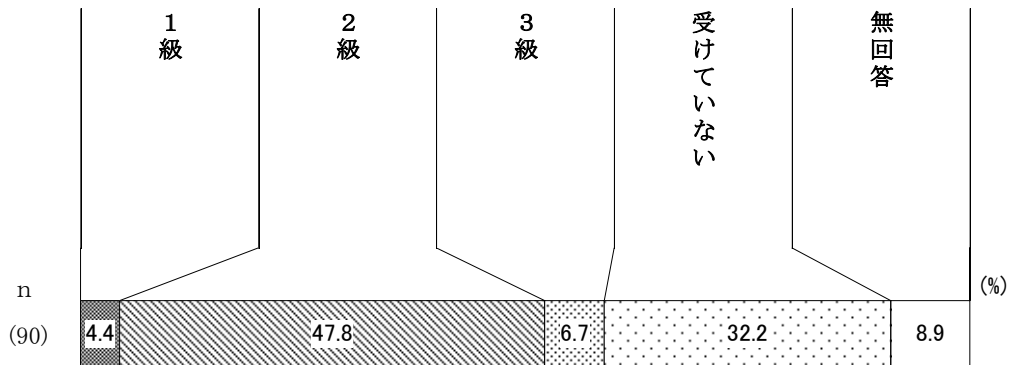


※身体・知的・難病患者の収入の3番目は参考にとどめる。

(2) 障害年金受給の有無と等級

【精神疾患等調査のみ】

問8 障害年金を受けていますか。受けている場合、級を記入してください。[1つに○]

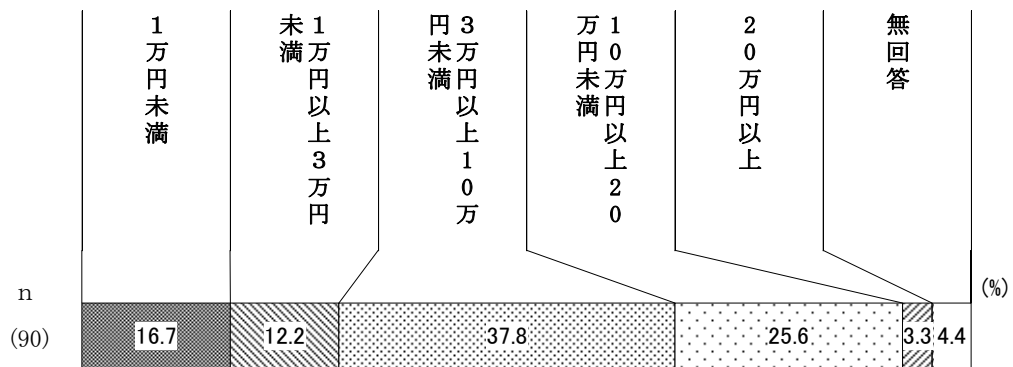


障害年金受給の有無と等級は、「2級」が最も多く4割台後半、「3級」「1級」がそれぞれ1割未満となっています。一方、3割台前半が「受けていない」と回答しています。

(3) 1か月の収入

【精神疾患等調査のみ】

問32 あなたの1か月の収入は、およそどのくらいですか。[1つに○]

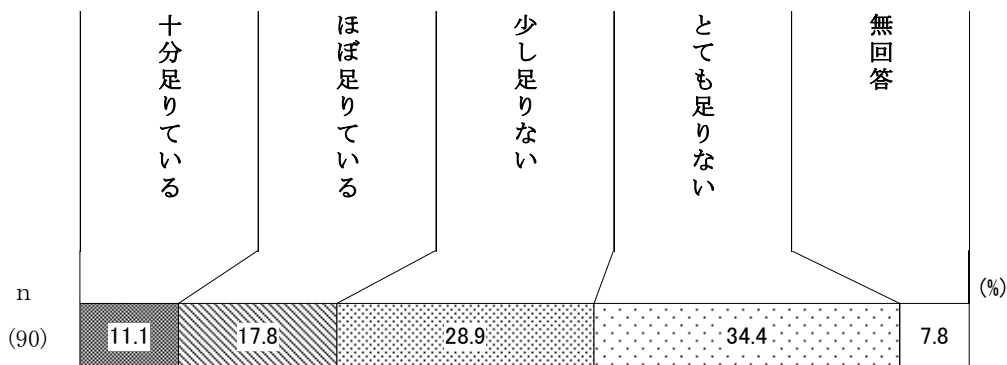


1か月の収入は、「3万円以上10万円未満」が3割台後半で最も多く、次いで「10万円以上20万円未満」が2割台半ば、「1万円未満」「1万円以上3万円未満」と続いています。

(4) 収入による生活費の過不足

【精神疾患等調査のみ】

問33 あなたの収入で、生活費は足りていますか。[1つに○]

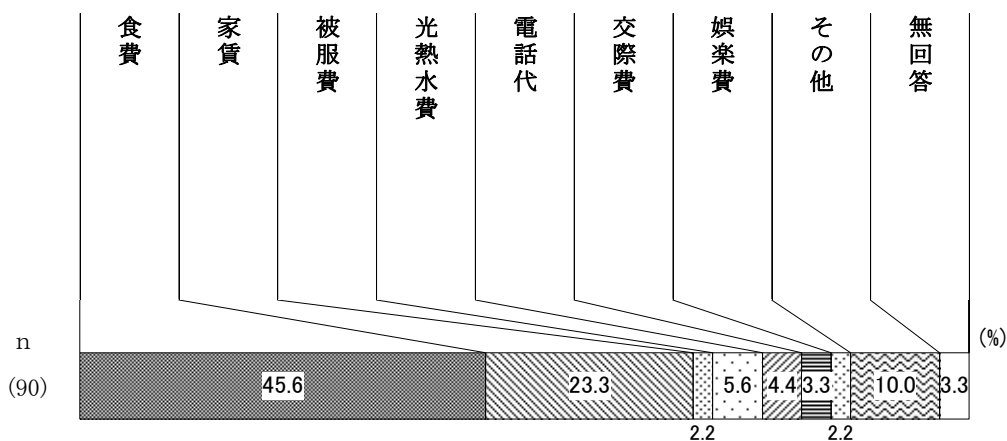


生活費の過不足については、「十分足りている」「ほぼ足りている」を合わせた<足りている>は、2割台後半、「少し足りない」「とても足りない」を合わせた<足りない>は、6割台前半で<足りない>が多くなっています。

(5) 支出の中で最も割合の多いもの

【精神疾患等調査のみ】

問34 あなたの支出の中で、最も割合の多いものは何ですか。[1つに○]

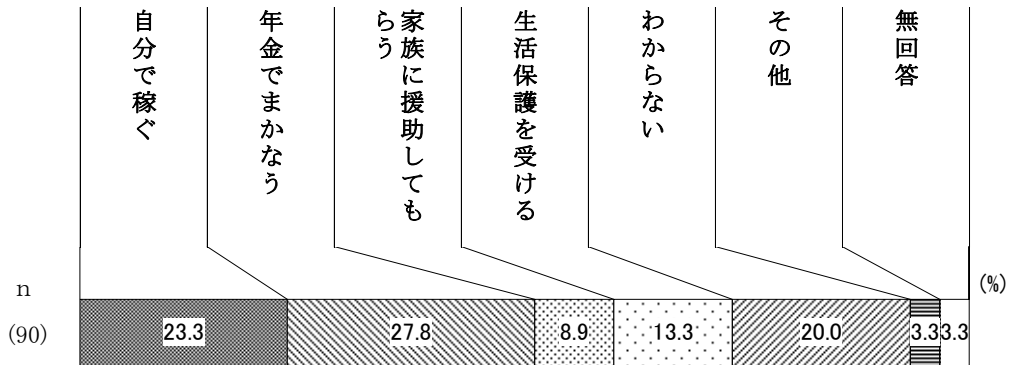


支出の中で最も割合の多いものは、「食費」が4割台半ば、次いで「家賃」が2割台前半となっています。

(6) 今後の生活費の考え方

【精神疾患等調査のみ】

問35 あなたは今後の生活費をどのように考えていますか。[1つに○]

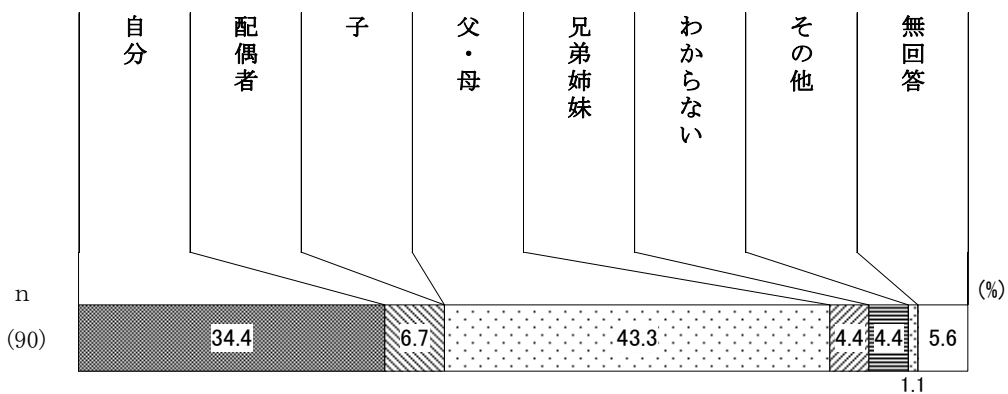


今後の生活費については、「年金でまかなう」が2割台後半、「自分で稼ぐ」が2割台前半、「生活保護を受ける」が1割台前半となっていますが、2割が「わからない」と回答しています。

(7) 家族の暮らしを支えている人

【精神疾患等調査のみ】

問36 家族の暮らしを支えている人は主に誰ですか。[1つに○]

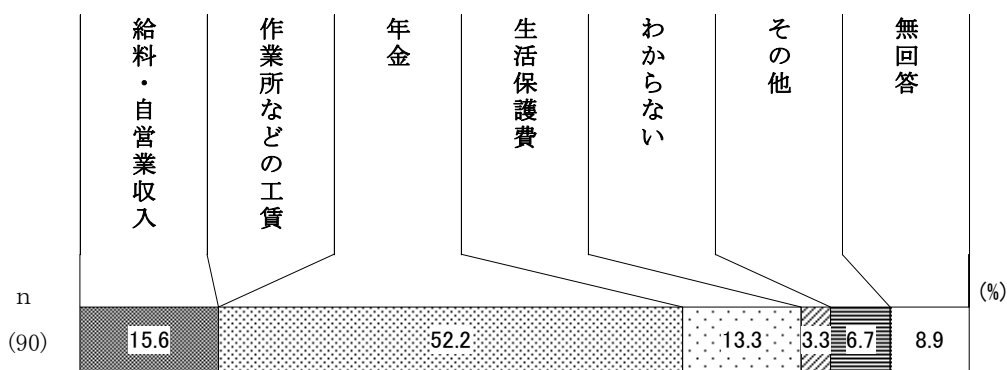


家族の暮らしを主に支えているのは、「父・母」が4割台前半、次いで「自分」が3割台前半となっています。

(8) 家族の生活費をまかなっている主な収入

【精神疾患等調査のみ】

問37 家族の生活費をまかなっている主な収入は次のどれですか。[1つに○]



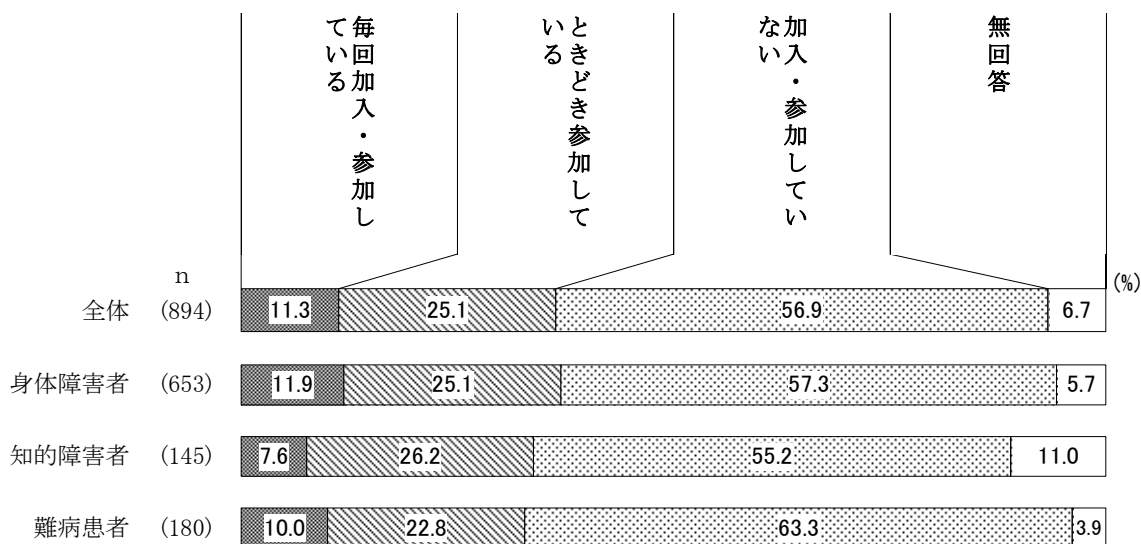
家族の生活費をまかなっている主な収入は、「年金」が5割台前半で最も多く、次いで「給料・自営業収入」が1割台半ば、「生活保護費」が1割台前半と続いています。

7. 社会参加と日ごろの活動について

(1) 地域や各種団体への加入状況、団体が行う行事や事業への参加状況

【身体・知的・難病調査のみ】

問20 あなたは、地域や各種の団体に加入したり、団体が行う行事や事業に参加したりしていますか。[1つに○]



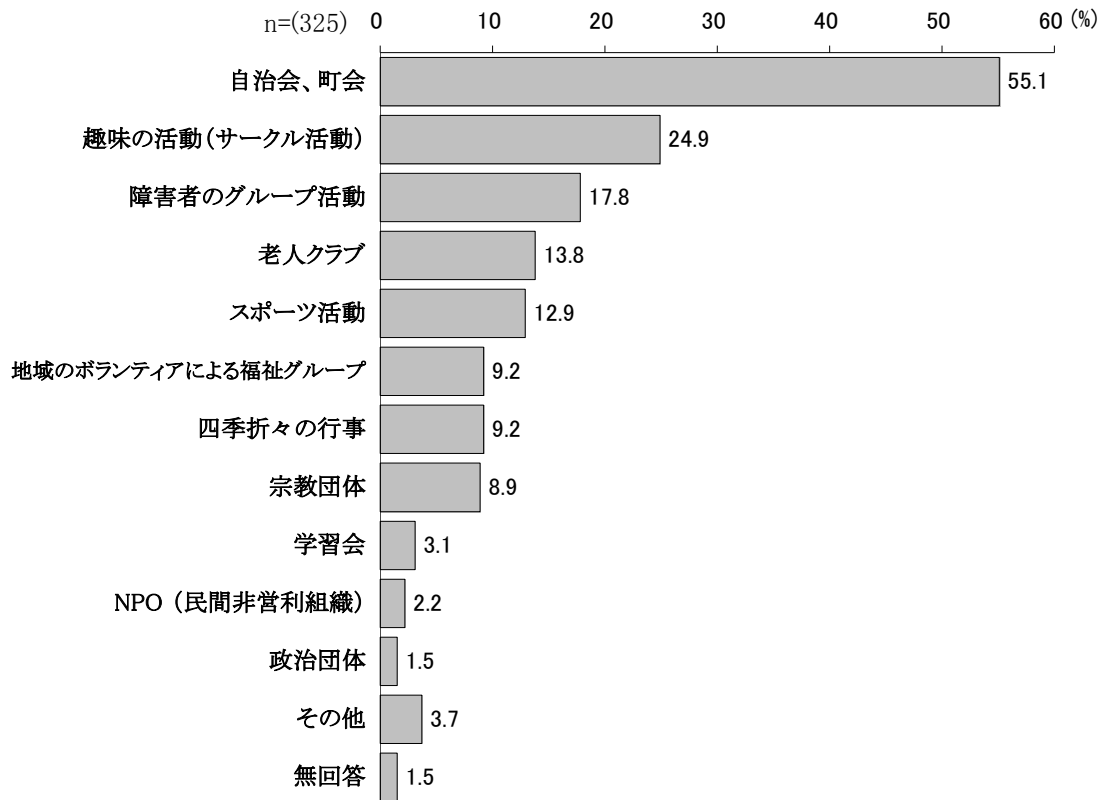
地域や各種団体への加入、団体が行う行事や事業への参加状況は、「毎回加入・参加している」と「ときどき参加している」を合わせた＜参加している＞は、3割台、一方「加入・参加していない」は5割を超えています。

(2) 加入、参加している団体

【身体・知的・難病調査のみ】

問20で「1. 毎回加入・参加している」または「2. ときどき参加している」と答えた方におたずねします。

問20-1 それは次のどれですか。[いくつでも○]



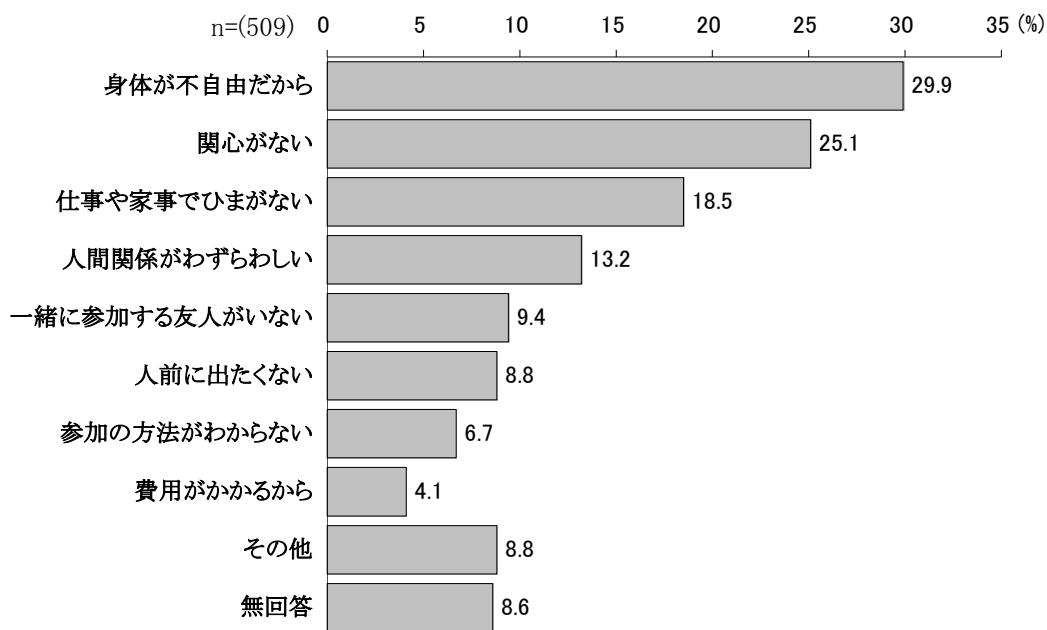
「毎回加入・参加している」または「ときどき参加している」と回答した方が加入、参加している団体は、「自治会、町会」が5割台半ばで最も多く、「趣味の活動(サークル活動)」が2割台前半、「障害者のグループ活動」「老人クラブ」「スポーツ活動」と続いています。

(3) 加入、参加していない主な理由

【身体・知的・難病調査のみ】

問20で「3. 加入・参加していない」と答えた方におたずねします。

問20-2 主な理由は何ですか。[いくつでも○]



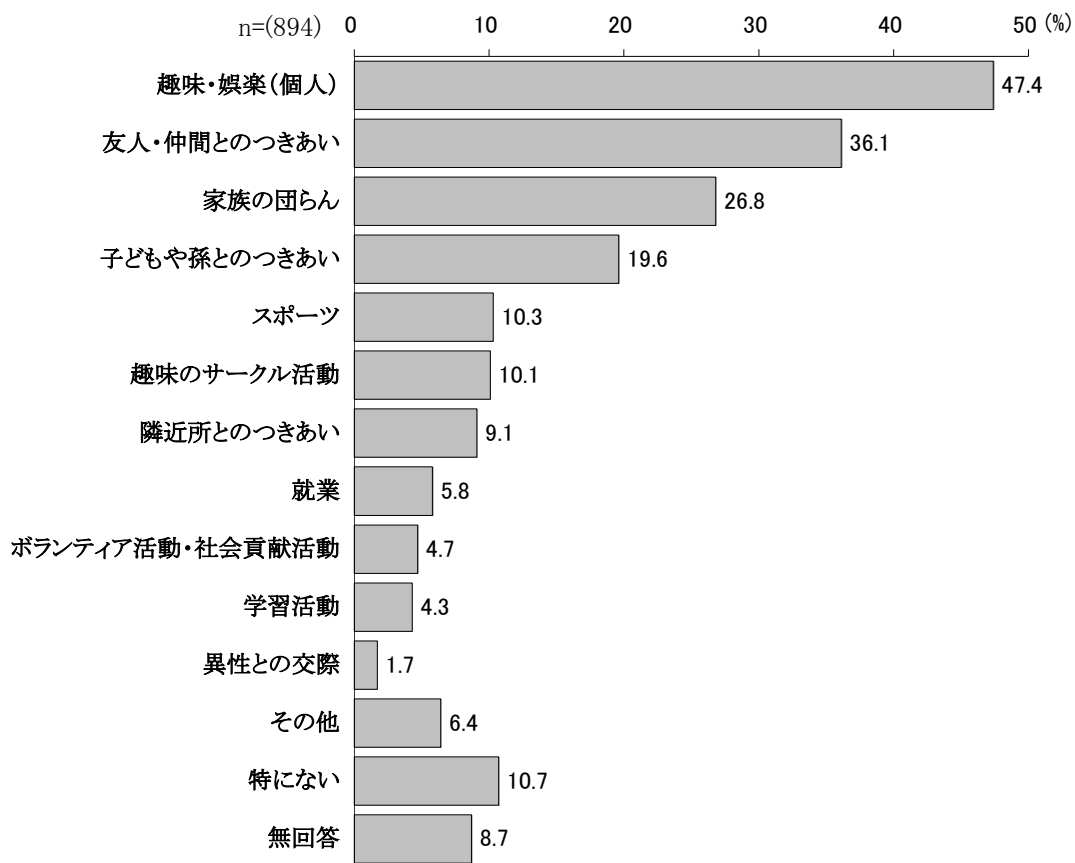
「加入・参加していない」と回答した方の理由は、「身体が不自由だから」が約3割で最も多く、次いで「関心がない」が2割台半ば、「仕事や家事でひまがない」「人間関係がわずらわしい」と続いています。



(4) 楽しみや生きがい

【身体・知的・難病調査のみ】

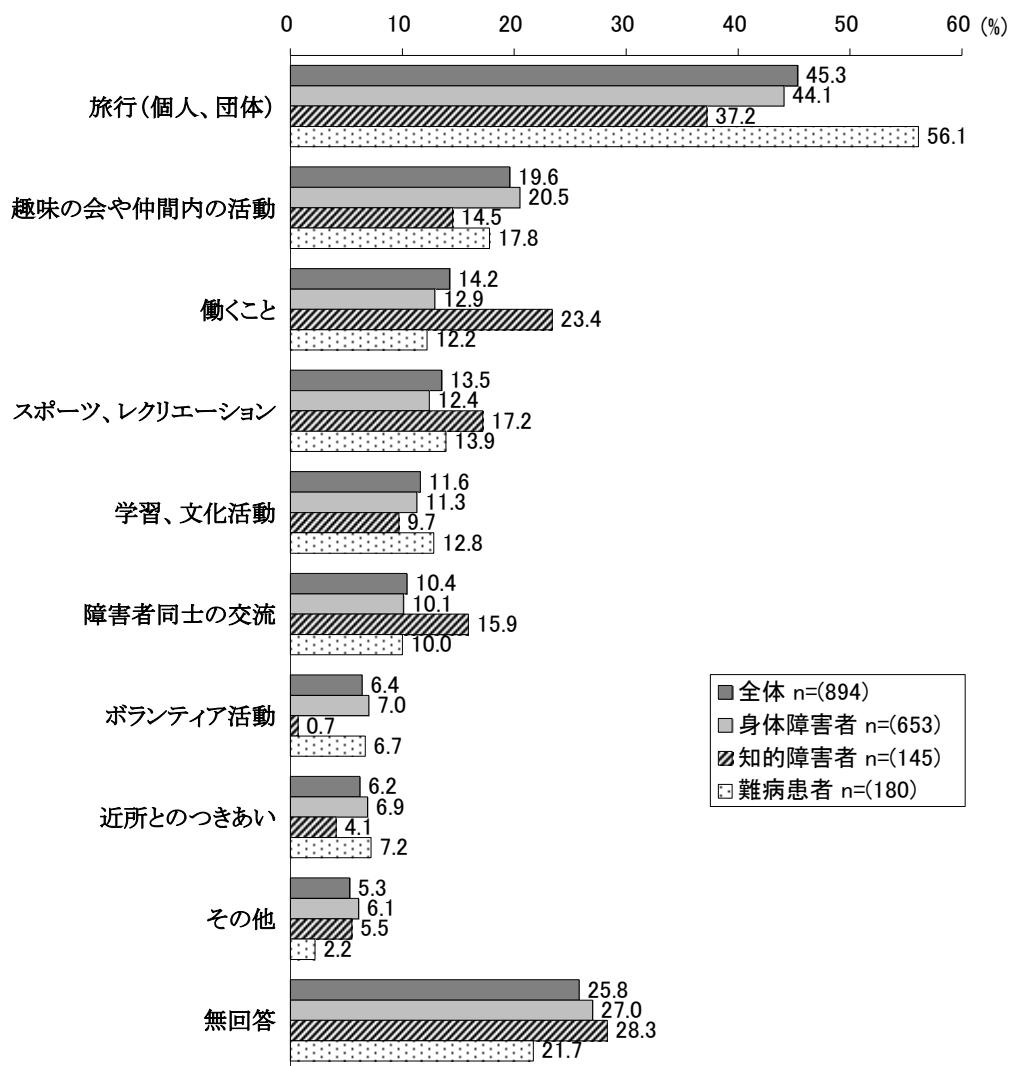
問21 あなたの楽しみや生きがいは何ですか。[いくつでも○]



楽しみや生きがいは、「趣味・娯楽（個人）」が4割台後半で最も多く、次いで「友人・仲間とのつきあい」が3割台後半、「家族の団らん」「子どもや孫とのつきあい」と続いています。

(5) 今後やってみたいこと

問22 あなたが今後やってみたいことはどんなことですか。[いくつでも○]



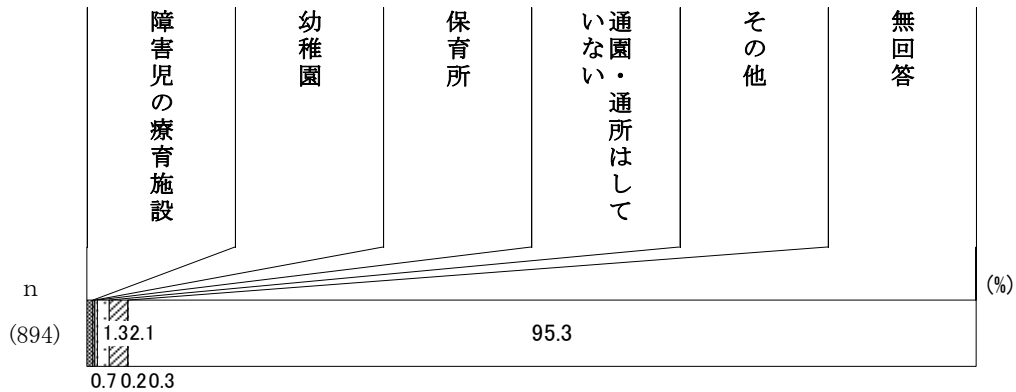
今後やってみたいことは、「旅行（個人、団体）」が難病患者で5割台後半と特に多くなっています。知的障害者では「働くこと」が2割台前半、「スポーツ、レクリエーション」「障害者同士の交流」が1割台半ばで比較的多くなっています。

(6) 昼間、通っている場所

【身体・知的・難病調査のみ】

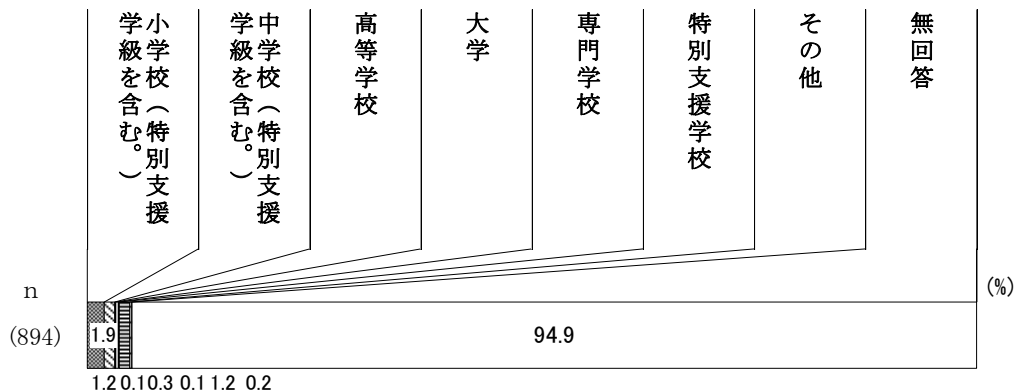
問23 あなたは昼間、主にどこへ通っていますか。

(1) 未就学の方（学校へ入学前の方）



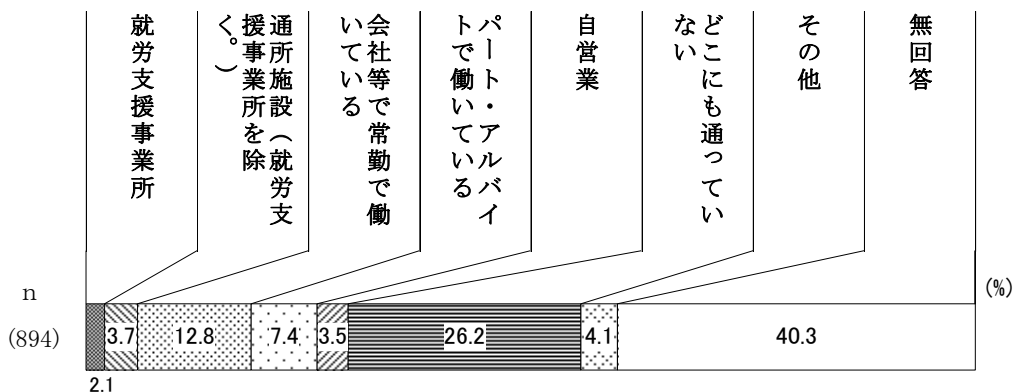
※無回答が多いため、参考にとどめる。

(2) 学校で学んでいる方



※無回答が多いため、参考にとどめる。

(3) 社会人の方



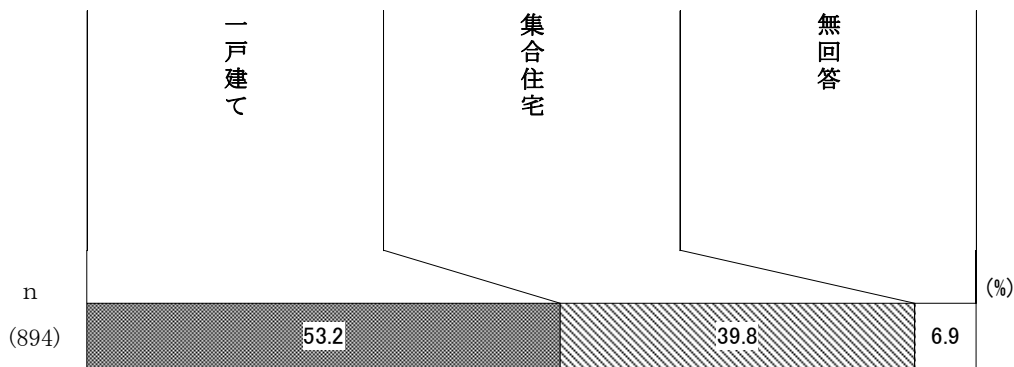
社会人は、「会社等で常勤で働いている」が1割前半、「パート・アルバイトで働いている」が1割未満となっています。一方、2割後半が「どこにも通っていない」と回答しています。

## 8. 住まいについて

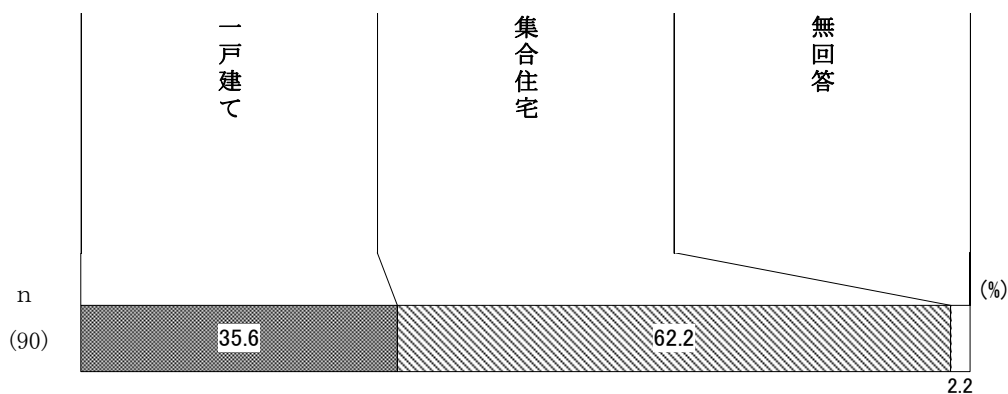
### (1) 住居形態

問24 あなたのお住まいは、一戸建てですか、集合住宅ですか。[1つに〇]【精神／問38】

身体・知的・難病



精神

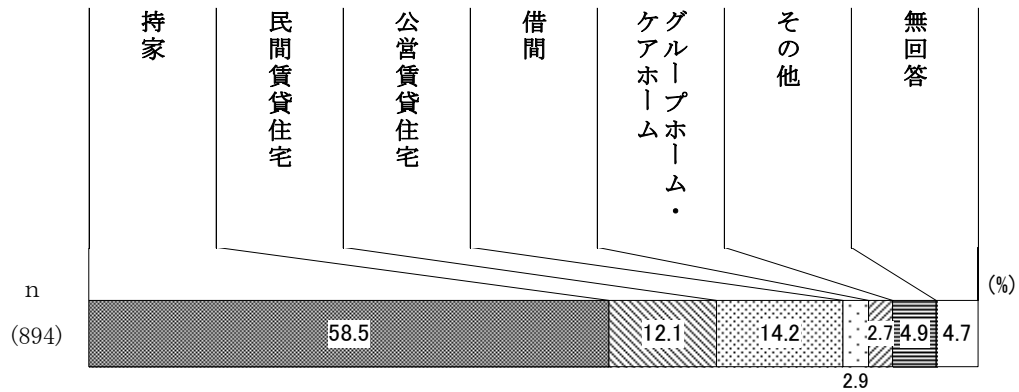


住居形態は、身体・知的・難病患者では「一戸建て」が5割台前半、「集合住宅」が約4割となっています。精神障害者では、「集合住宅」の割合が多く6割台前半、「一戸建て」は3割台半ばとなっています。

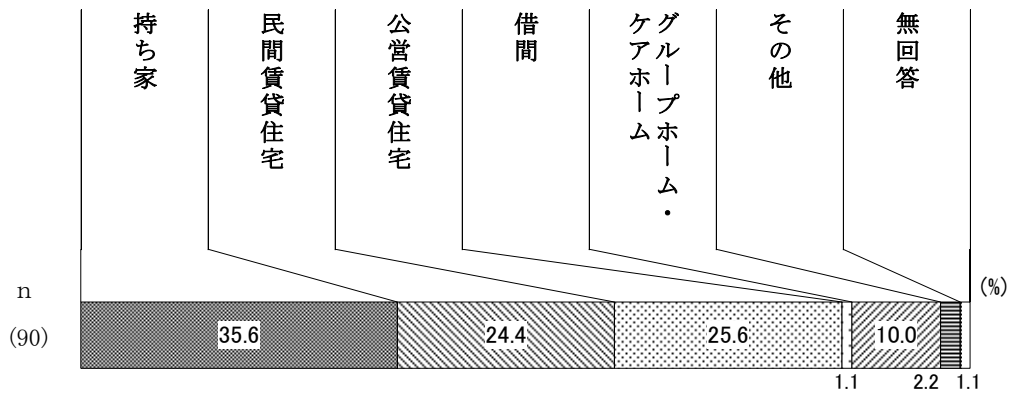
(2) 持ち家・賃貸等

問25 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。[1つに○] 【精神／問39】

身体・知的・難病



精神

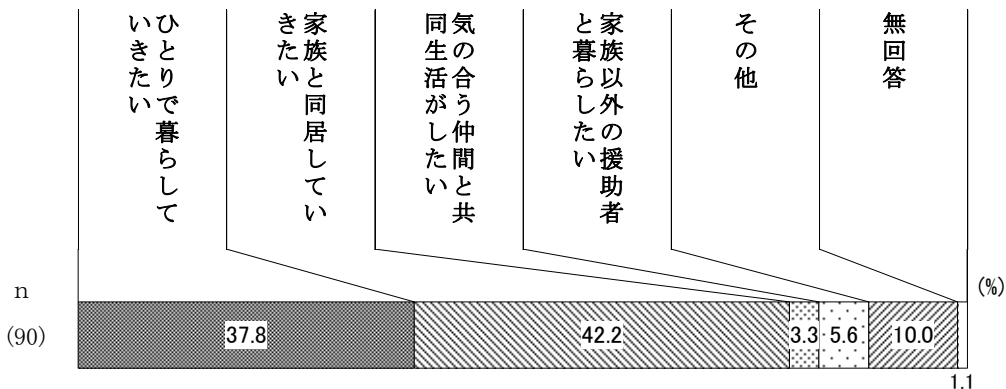


持ち家、賃貸の別では、身体・知的・難病患者では、「持ち家」が5割後半と半数を超え、次いで「公営賃貸住宅」「民間賃貸住宅」が1割前半となっています。精神障害者では、「持ち家」が3割台半ば、「公営賃貸住宅」「民間賃貸住宅」が2割半ば前後となっています。

(3) 今後、望んでいる暮らし方

【精神疾患等調査のみ】

問40 あなたは、今後どのような暮らしをしていきたいですか。[1つに○]

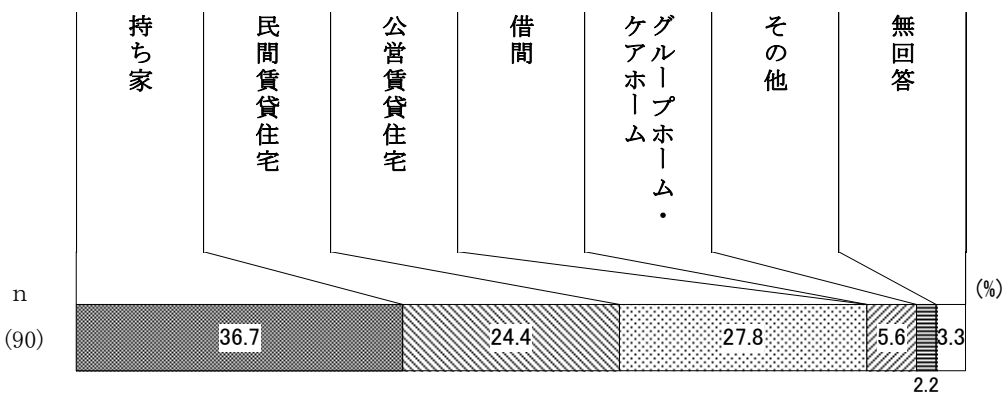


今後どのような暮らしをしていきたいかは、4割台前半が「家族と同居していきたい」と回答し、次いで「ひとり暮らししていきたい」が3割台後半となっています。

(4) 今後暮らしたい場所

【精神疾患等調査のみ】

問41 今後暮らしていきたいのは、どんな場所ですか。[1つに○]

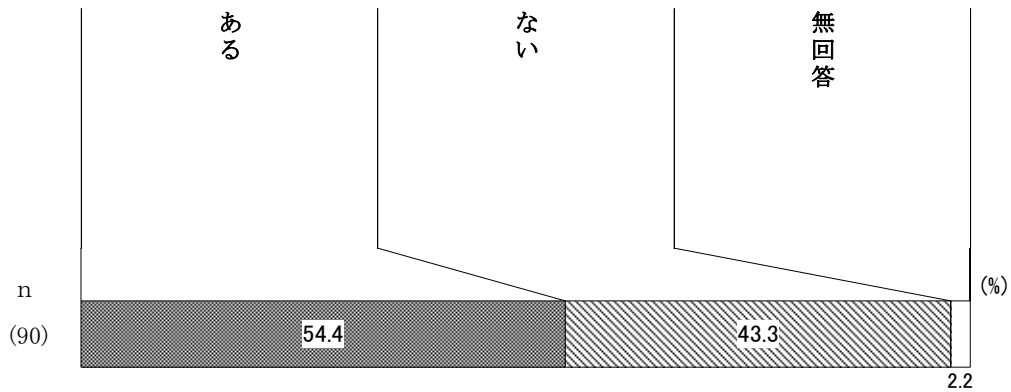


今後暮らしていきたい場所は、「持ち家」が3割台後半と最も多く、次いで「公営賃貸住宅」「民間賃貸住宅」と続いています。

(5) 住まいを探した経験

【精神疾患等調査のみ】

問42 あなたは、今まで、お住まいを探した経験がありますか。[1つに○]



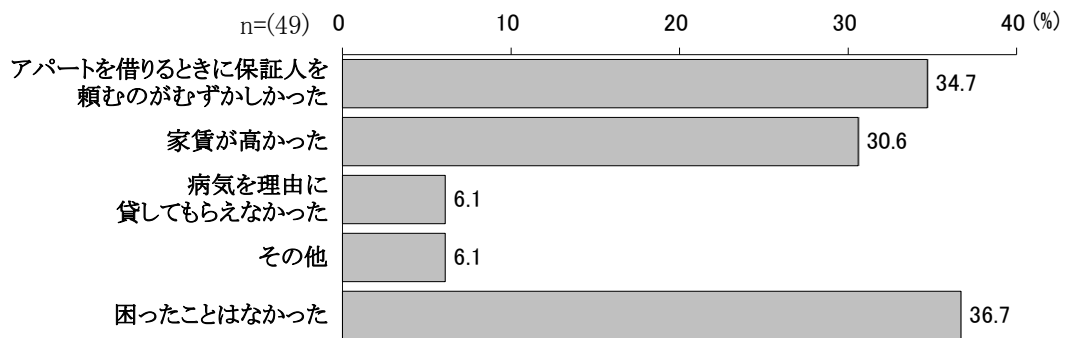
今まで、住まいを探した経験の有無は、「ある」が5割台前半、「ない」が4割台前半で「ある」が多くなっています。

(6) 住まいを探した時に困ったこと

【精神疾患等調査のみ】

問42で「1. ある」と答えた方におたずねします。

問42-1 そのときに困ったことがありましたか。[いくつでも○]

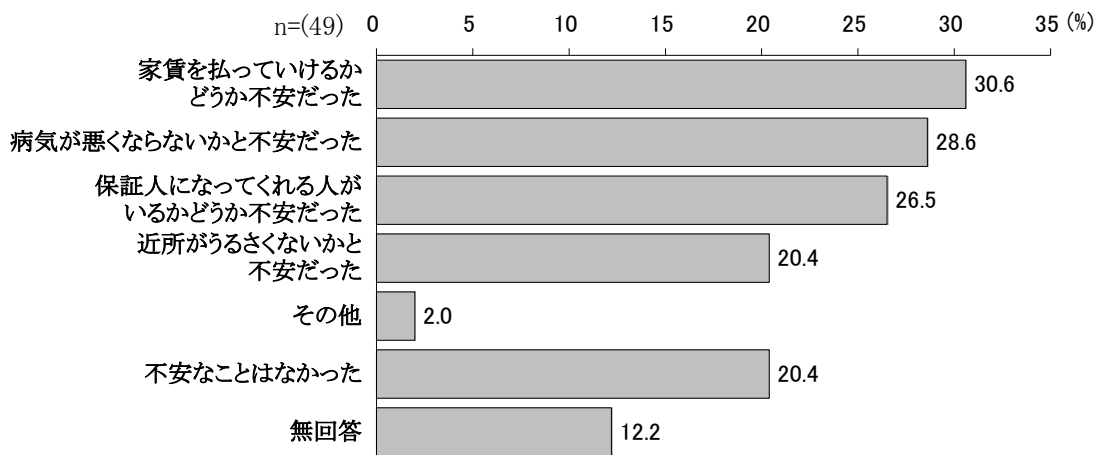


住まいを探した時に困ったことは、「アパートを借りるときに保証人を頼むのがむずかしかった」が3割台前半、「家賃が高かった」が約3割となっています。一方、3割台後半が「困ったことはなかった」と回答しています。

(7) 住まいを探した時に不安に思ったこと

【精神疾患等調査のみ】

問42-2 そのとき不安に思ったことはありますか。[いくつでも○]



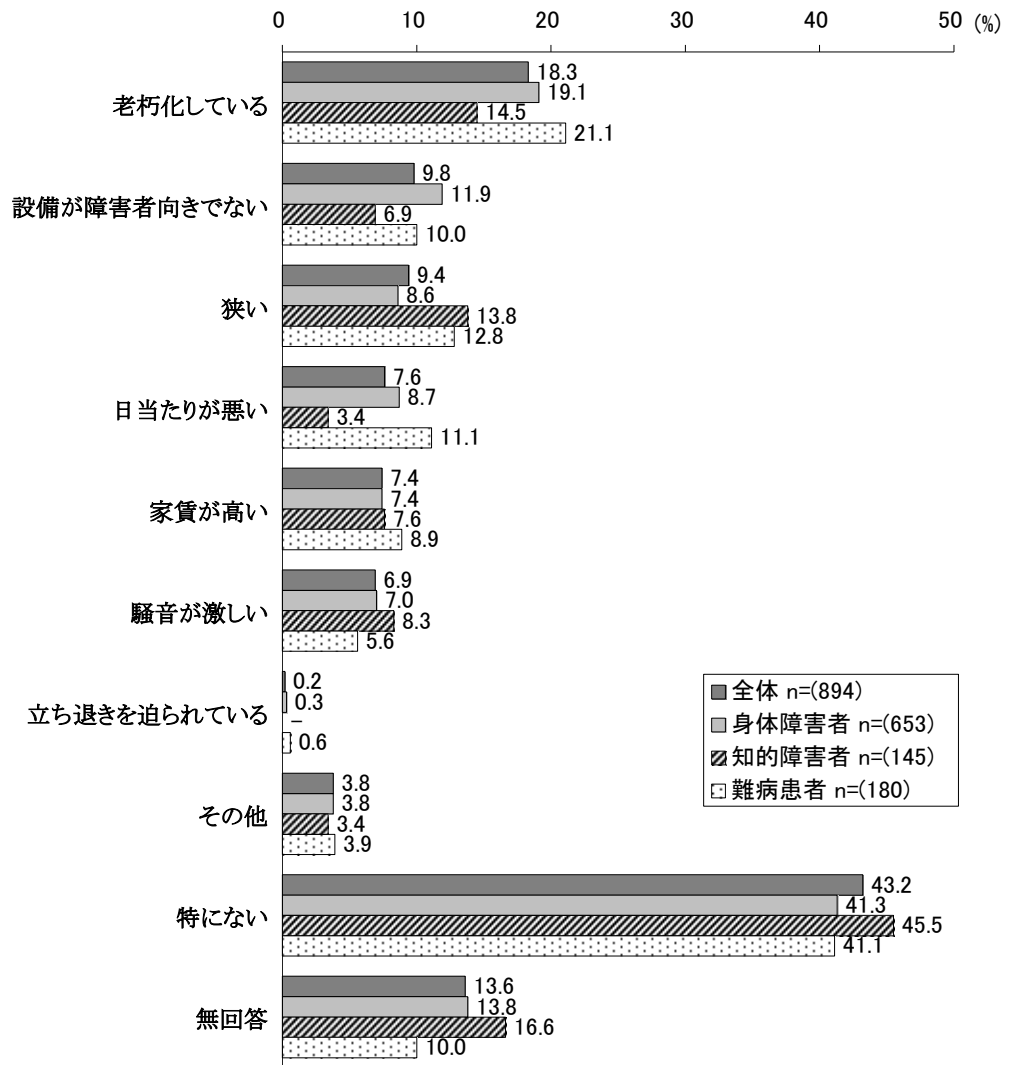
住まいを探した時に不安に思ったことは、「家賃を払っていけるかどうか不安だった」が約3割、「病気が悪くならないかと不安だった」「保証人になってくれる人がいるかどうか不安だった」が2割台後半、「近所がうるさくないかと不安だった」と続いています。一方、約2割が「不安なことはなかった」と回答しています。



(8) 現在、住まいで困っていること

【身体・知的・難病調査のみ】

問26 現在、お住まいで困っていることは何ですか。[いくつでも○]

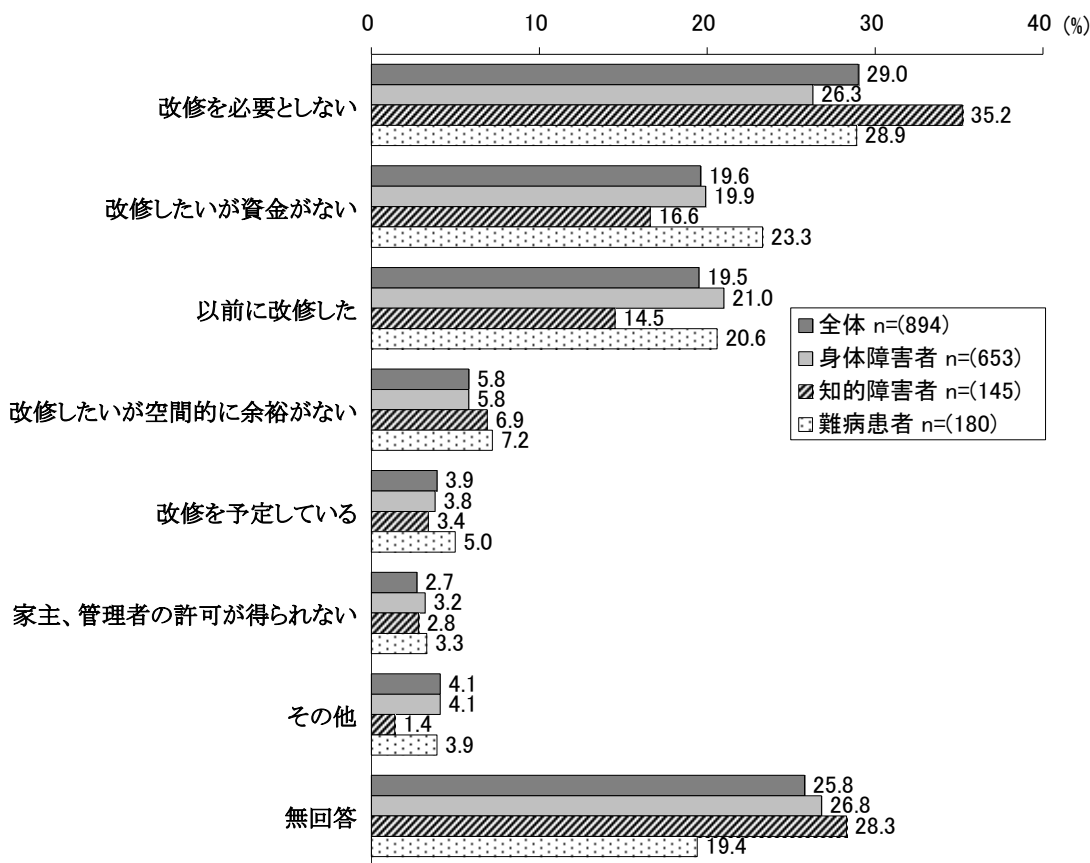


現在、住まいで困っていることは、「老朽化している」が難病患者で2割を超えて多く、「設備が障害者向きでない」は身体・難病で1割となっています。また、「狭い」は知的・難病で1割台前半となっています。

(9)「玄関、居室、風呂場、トイレ、台所」などの住宅の改修

【身体・知的・難病調査のみ】

問27 「玄関、居室、風呂場、トイレ、台所」などの住宅の改修についておたずねします。  
[いくつでも○]



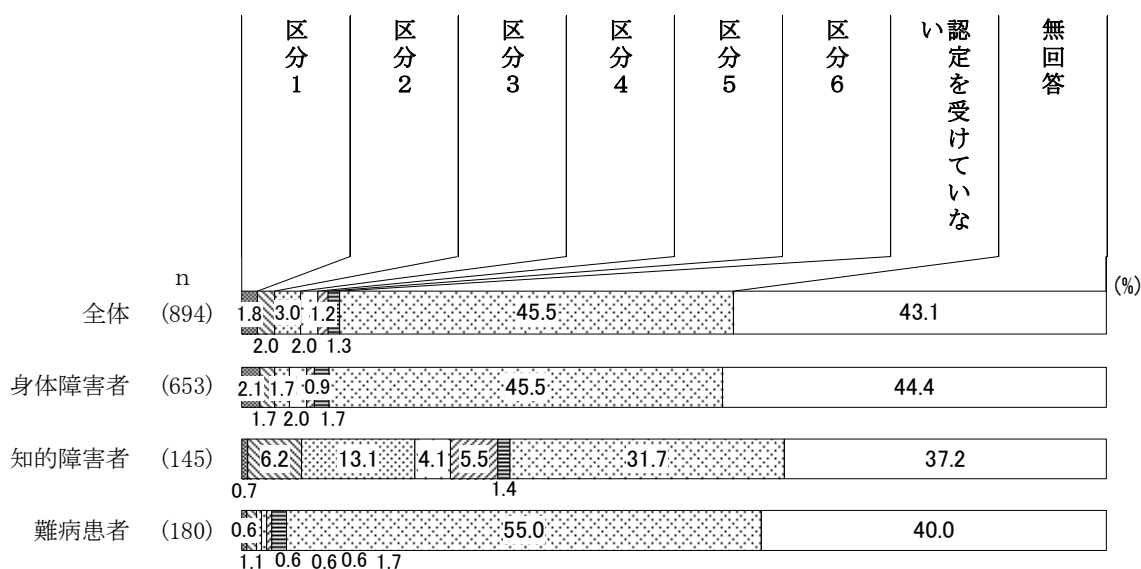
「玄関、居室、風呂場、トイレ、台所」などの住宅の改修については、知的障害者で「改修を必要としない」が3割台半ばで最も多く、「改修したいが資金がない」「以前に改修した」は難病患者で2割を超えています。

## 9. 障害者福祉サービスについて

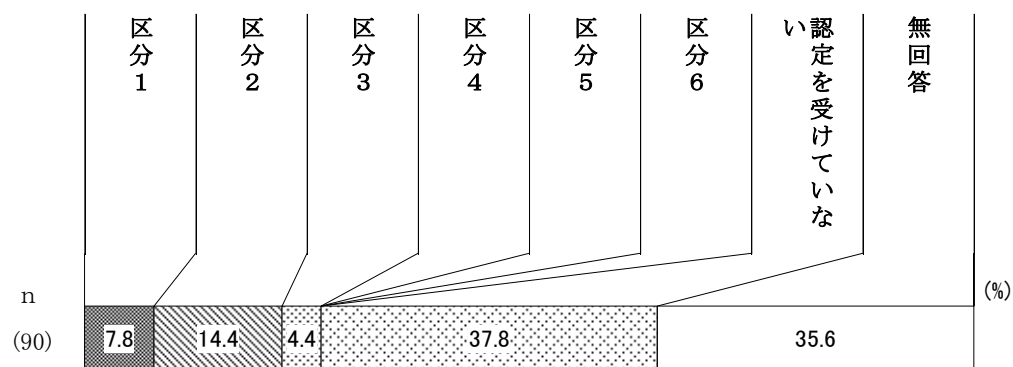
### (1) 障害程度区分の認定状況

問28 障害福祉サービスの必要量を決める障害程度区分は次のうちどれですか。[1つに○]  
【精神／問43】

#### 身体・知的・難病



#### 精神

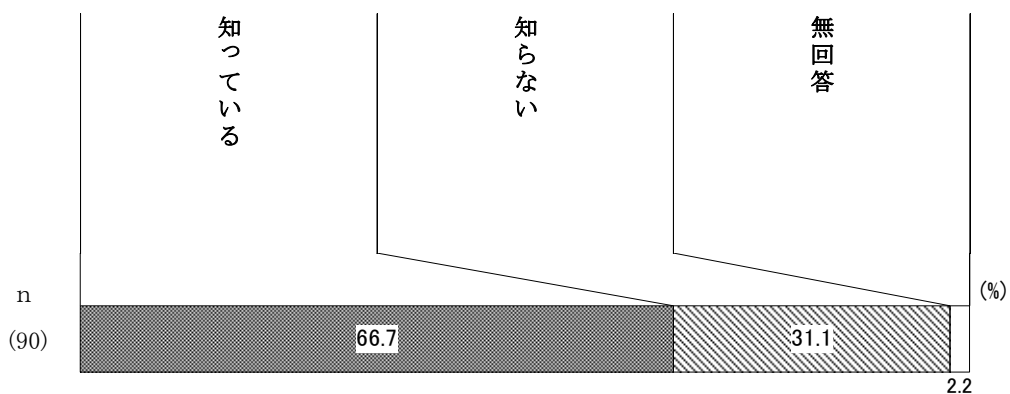


障害程度区分の認定状況は、「認定を受けていない」が身体障害者で4割台半ば、難病患者で5割台半ばとなっています。知的障害者では、「区分3」が1割台前半です。精神障害者では、「認定を受けていない」が3割台後半、「区分2」が1割台前半となっています。

(2) 居宅介護（ホームヘルプ）の認知状況

【精神疾患等調査のみ】

問44 食事、掃除、身の回りの世話などのお手伝いをする居宅介護（ホームヘルプ）を実施していますが、ご存知ですか。[1つに〇]

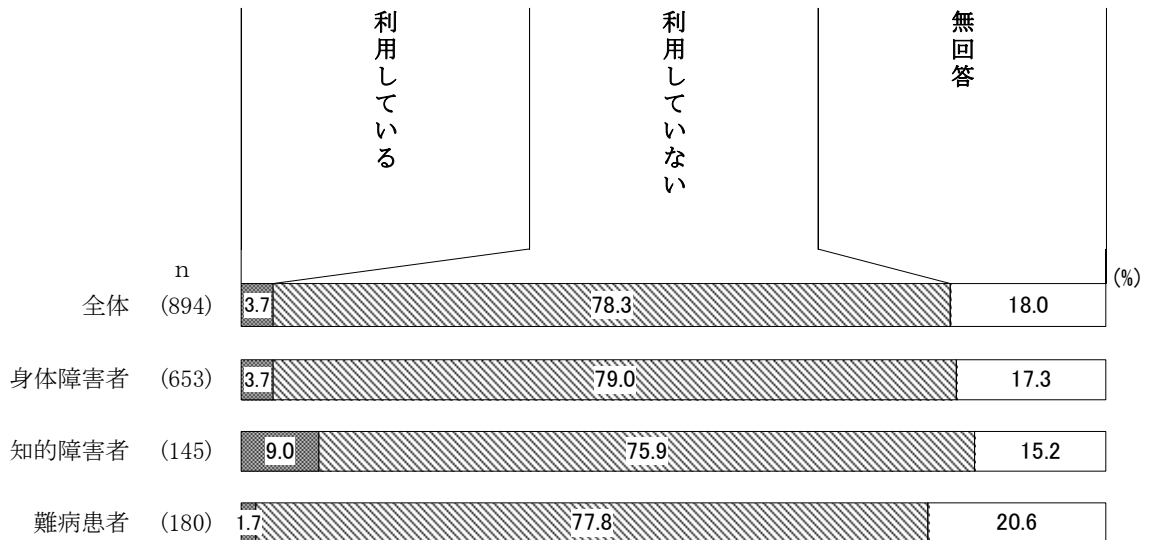


食事、掃除、身の回りの世話などのお手伝いをする居宅介護（ホームヘルプ）の認知状況は、6割台後半が「知っている」と回答し、「知らない」は3割台前半となっています。

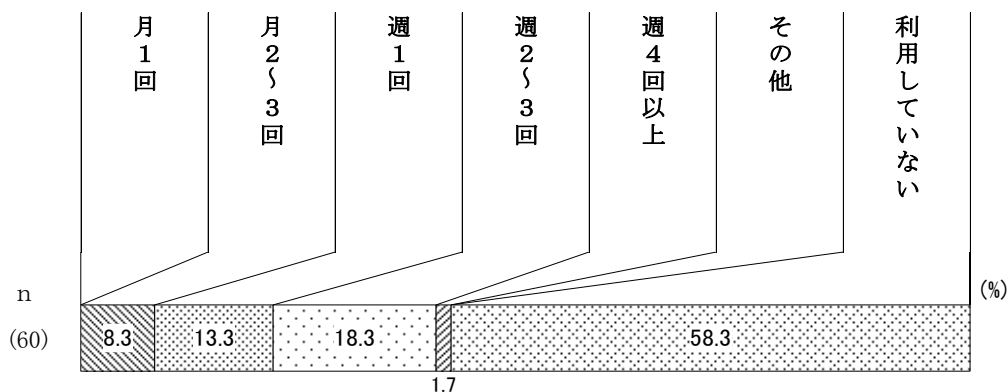
(3) 居宅介護（ホームヘルプ）の利用の有無

問29 自宅で、食事、掃除、身の回りの世話などのお手伝いをする居宅介護（ホームヘルプ）の利用状況についておたずねします。[1つに○]【精神／問44-1】

身体・知的・難病



精神



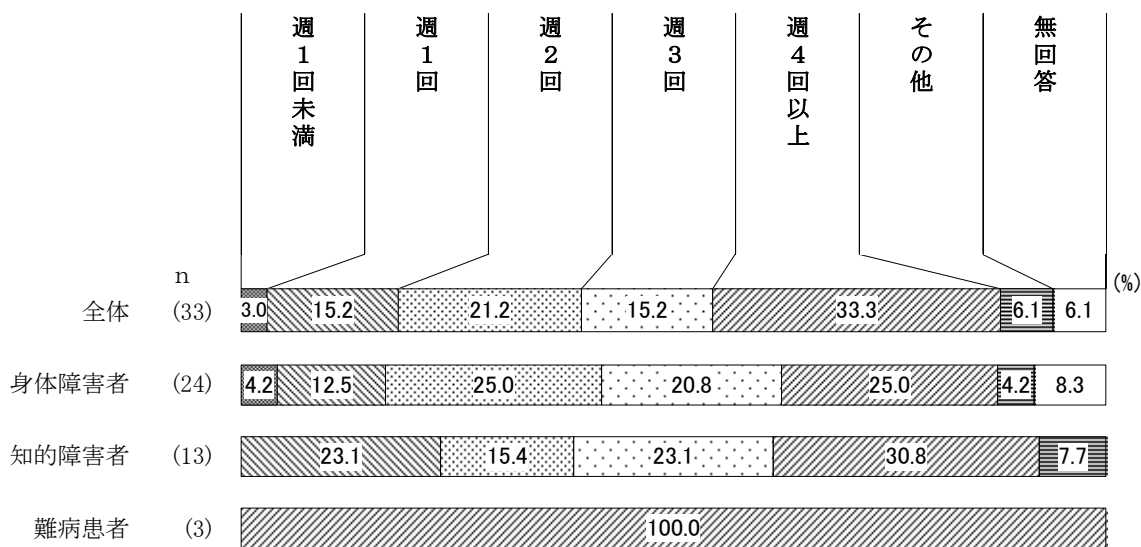
居宅介護（ホームヘルプ）の利用状況は、身体・知的・難病患者では、7割台後半が「利用していない」と回答し、「利用している」は1割未満となっています。精神障害者では、「週2～3回」が1割台後半、次いで「週1回」「月2～3回」が1割未満となっています。一方、5割台後半が「利用していない」と回答しています。

(4) 利用頻度

【身体・知的・難病調査のみ】

問29で「1. 利用している」と答えた方におたずねします。

問29-1 どの程度利用していますか。[1つに○]

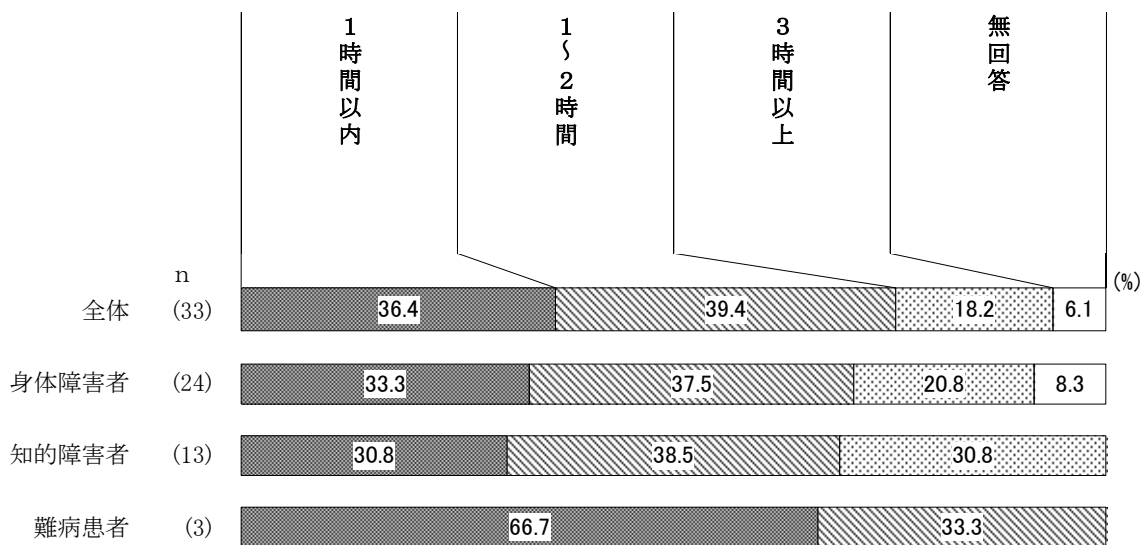


利用頻度は、身体障害者で「週2回」「週4回以上」が2割台半ば、「週3回」が2割となっています。

(5) 1回当たりの平均利用時間

【身体・知的・難病調査のみ】

問29-2 1回あたり平均して何時間程度利用していますか。[1つに○]

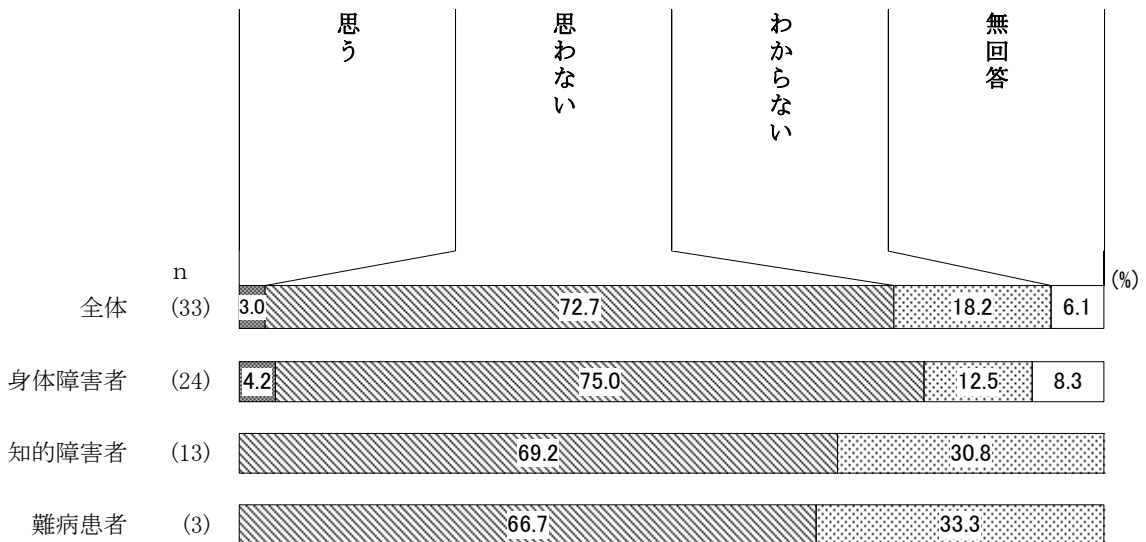


1回当たりの平均利用時間は、身体障害者で「3時間以上」が2割、「1~2時間」が3割台後半、「1時間以内」が3割台前半となっています。

(6) 居宅介護提供事務所の今後の変更意向

【身体・知的・難病調査のみ】

問29-3 今後サービス提供事業所を変更したいと思いますか。[1つに○]



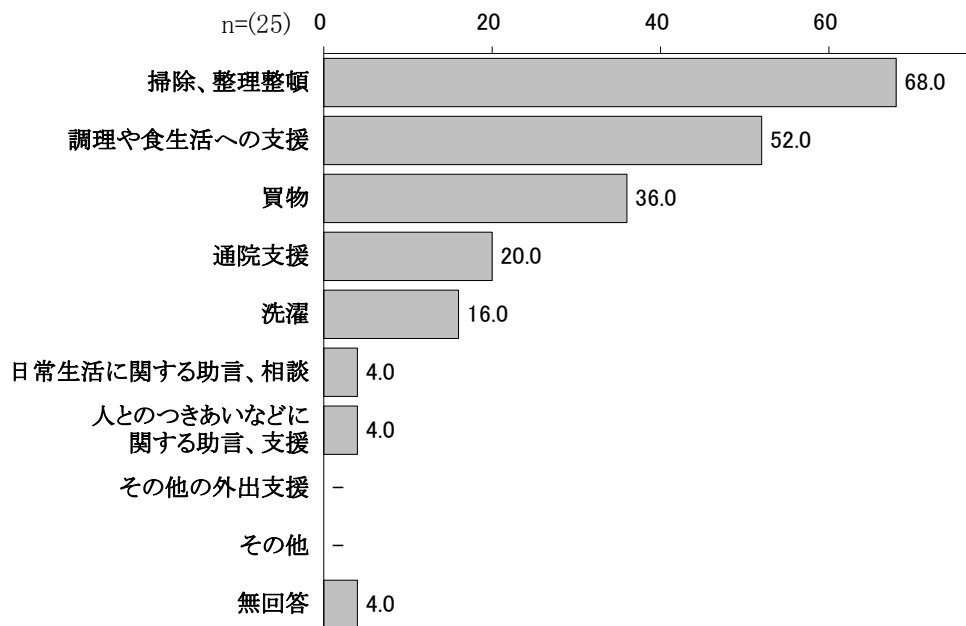
居宅介護（ホームヘルプ）を提供しているサービス提供事務所の今後の変更については、身体障害者で7割台半ばが「思わない」と回答しています。

(7) 利用している居宅サービスの内容

【精神疾患等調査のみ】

問44-1で、居宅サービスを利用していると答えた方におたずねします。

問44-1-1 利用しているサービスの内容は何ですか。[いくつでも○]



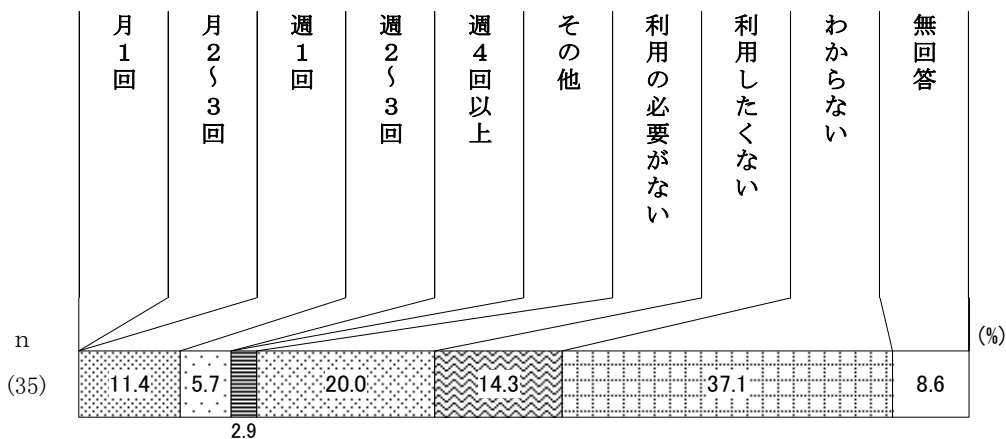
利用している居宅サービスの内容は、「掃除、整理整頓」が6割台後半で最も多く、次いで「調理や食生活への支援」が5割台前半、「買物」が3割台更新と続いています。

(8) 今後の居宅サービス利用意向

【精神疾患等調査のみ】

問44-1で、居宅サービスを利用していないと答えた方におたずねします。

問44-1-2 今後、居宅介護（ホームヘルプ）をどの程度、利用したいと思いますか。[1つに○]

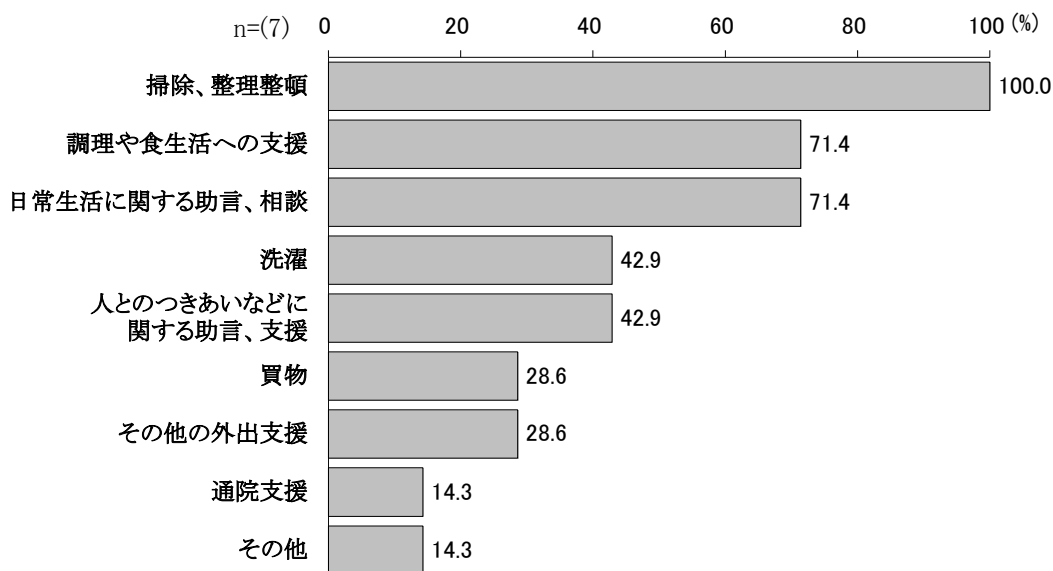


現在、居宅サービスを利用していないと回答した方の今後の利用意向は、「週1回」が1割台前半、「週2～3回」と続いています。一方、「利用の必要がない」が2割、「利用したくない」が1割台前半となっています。

(9) 利用したいサービスの内容

【精神疾患等調査のみ】

問44-1-3 利用したいと思う場合のサービスの内容は何ですか。[いくつでも○]



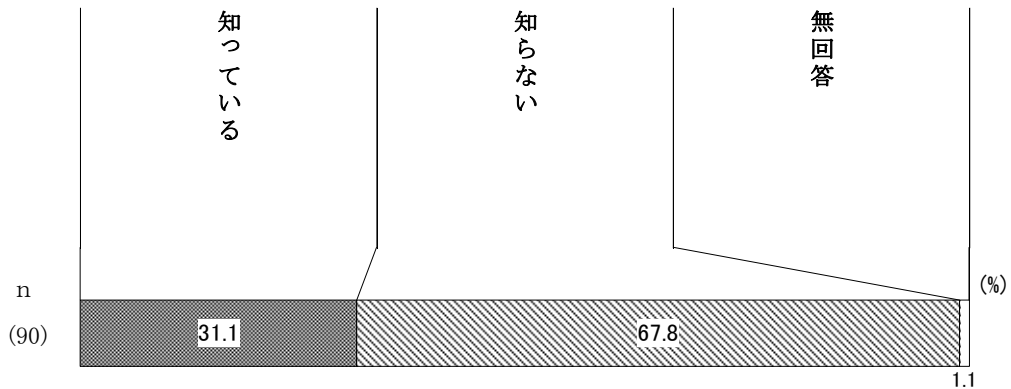
※回答数が少ないため、参考にとどめる。



(10) ショートステイの認知状況

【精神疾患等調査のみ】

問45 家族の疾病などにより、在宅で生活することが困難になった際に施設への短期入所を行う「ショートステイ」を実施しています。あなたはご存知ですか。[1つに○]

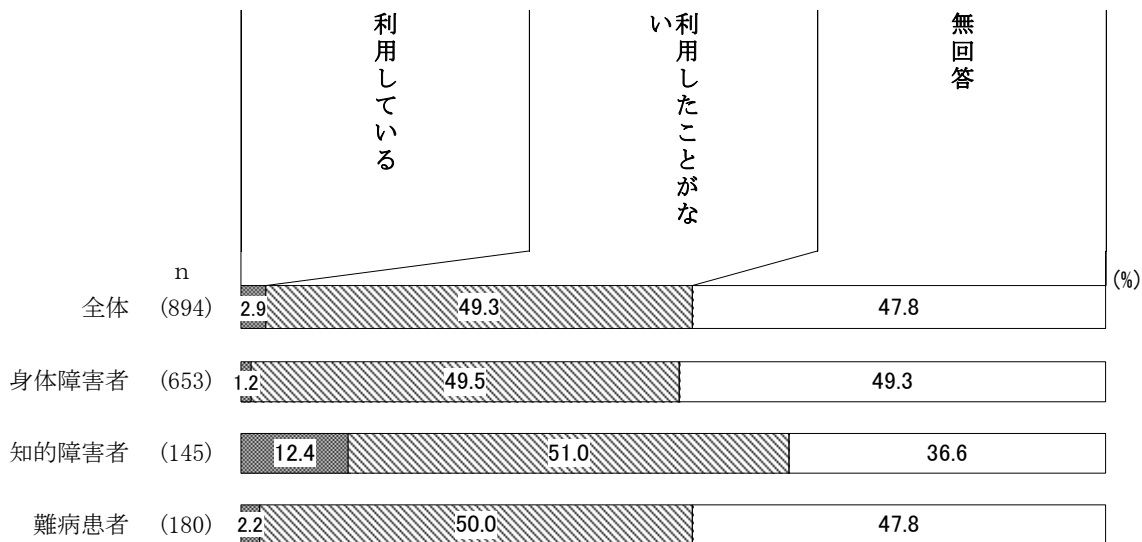


家族の疾病などにより、在宅で生活することが困難になった際に施設への短期入所を行う「ショートステイ」の認知状況は、「知っている」が3割台前半、「知らない」が6割台後半で「知らない」の割合が多くなっています。

(11) 短期入所（ショートステイ）の利用の有無

問30 家族の疾病などにより、在宅で生活することが困難になった際のサービスである短期入所（ショートステイ）の利用状況についておたずねします。[1つに○]

身体・知的・難病



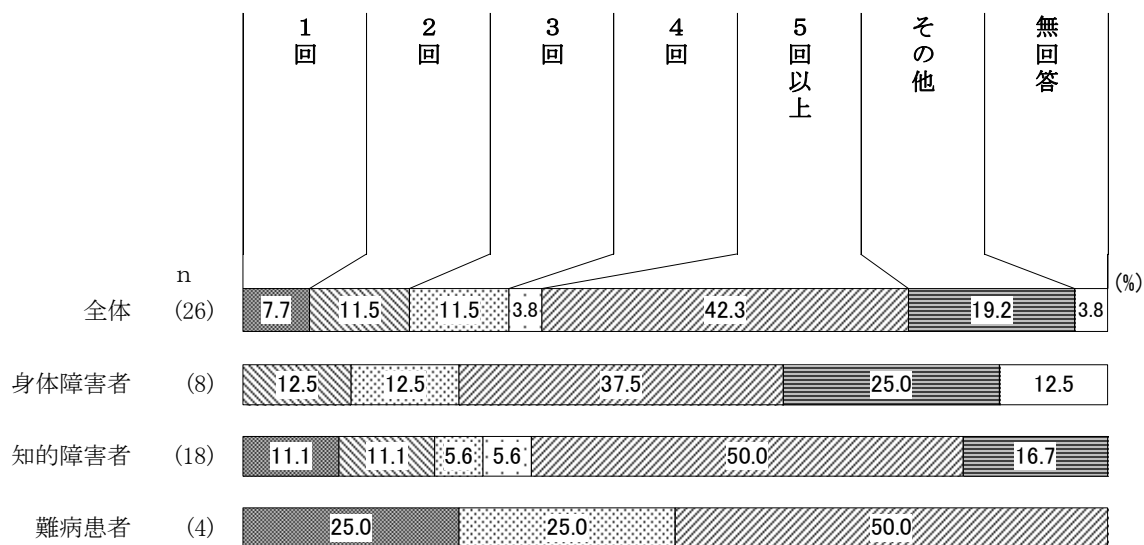
短期入所（ショートステイ）の利用状況は、「利用している」は知的障害者で1割台前半となっています。

(12) 1年間のショートステイの利用回数

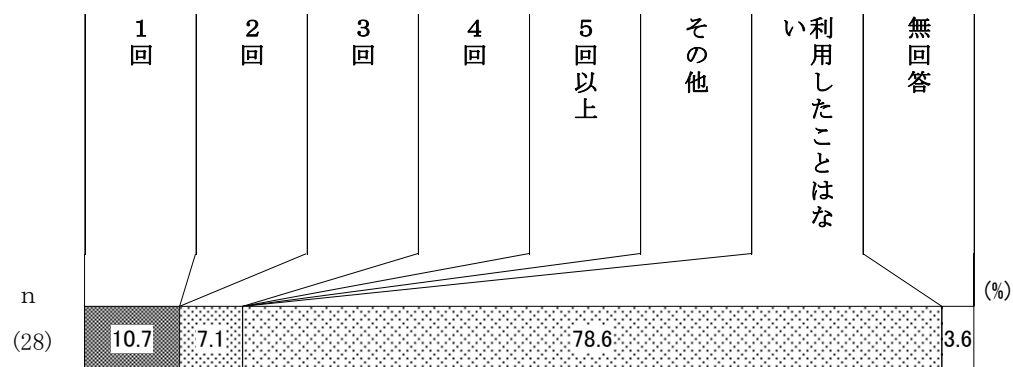
問30で「1. 利用している」と答えた方におたずねします。

問30-1 1年間に何回利用したことがありますか。[1つに○] 【精神/問45-1】

身体・知的・難病



精神

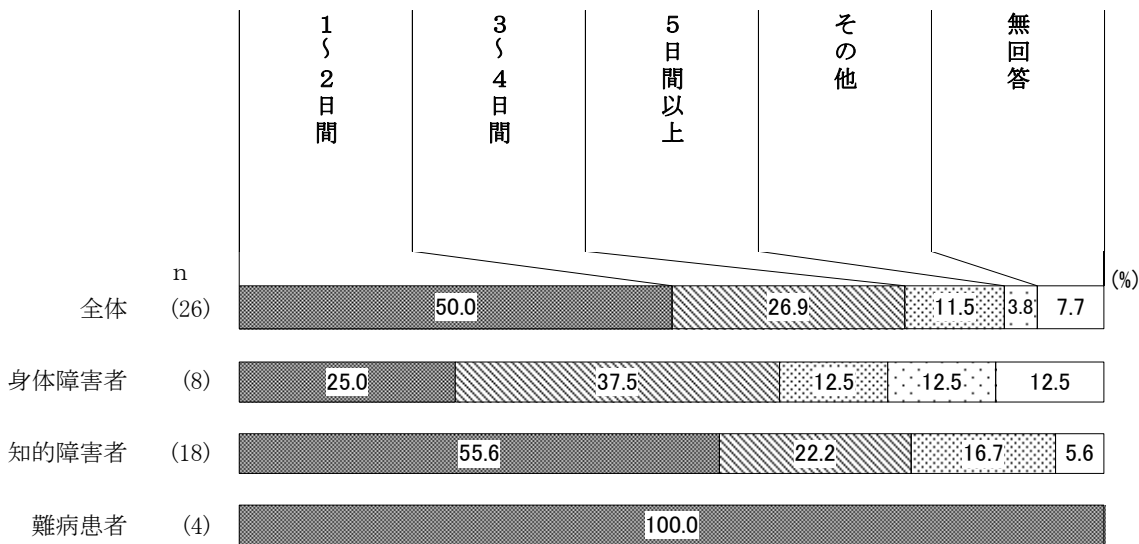


1年間のショートステイの利用回数は、身体・知的・難病患者では「5回以上」が4割台前半、「3回」「2回」と続いています。精神障害者では、「利用したことがない」が7割台後半、「1回」「3回」を合わせた利用者は1割台後半となっています。

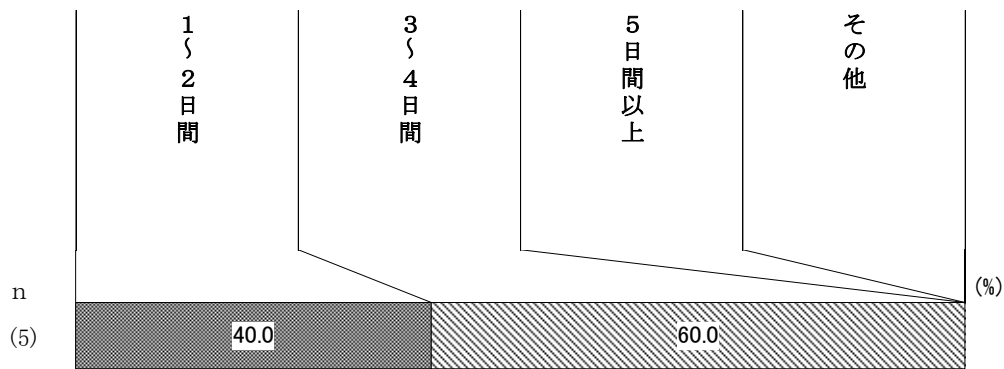
(13) ショートステイの平均利用日数（1回あたり）

問30-2 1回あたり平均して何日程度利用しましたか。[1つに○] 【精神/問45-2】

身体・知的・難病



精神



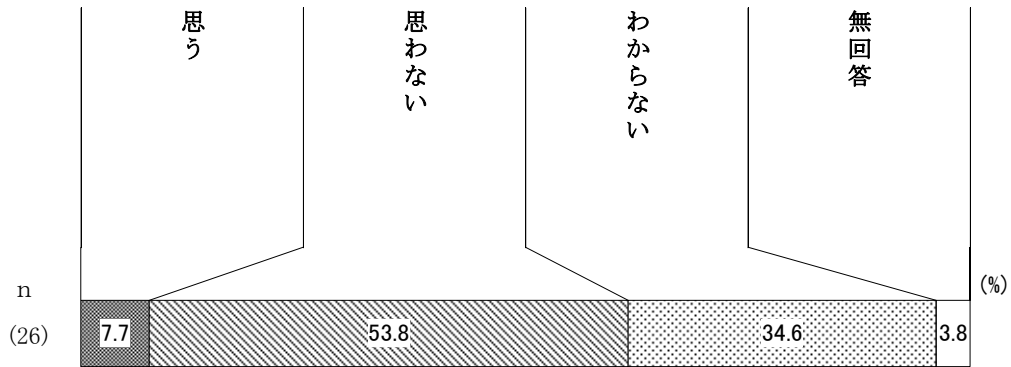
1回あたりの平均利用日数は、身体・知的・難病患者では、「1～2日間」が5割、「3～4日間」「5日間以上」と続いています。

(14) ショートステイの提供事務所の今後の変更意向

【身体・知的・難病調査のみ】

問30-3 今後サービス提供事業所を変更したいと思いますか。[1つに〇]

身体・知的・難病

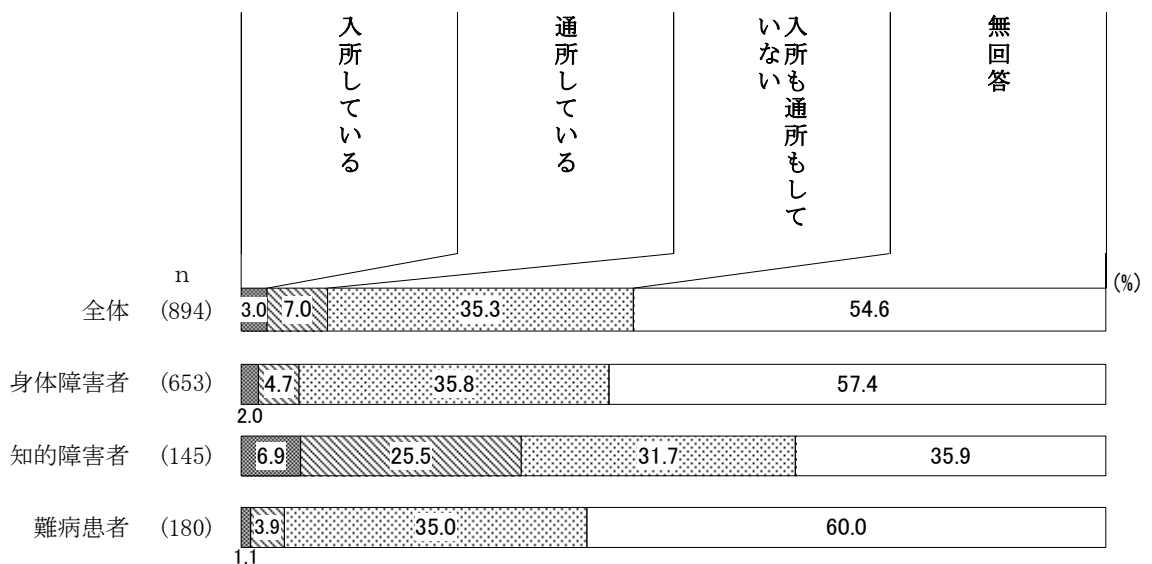


ショートステイの提供事務所の今後の変更意向は、「思わない」が5割前半、「思う」が1割未満、「わからない」が3割前半となっています。

(15) 施設の利用状況

【身体・知的・難病調査のみ】

問31 施設の利用状況についておたずねします。[1つに〇]



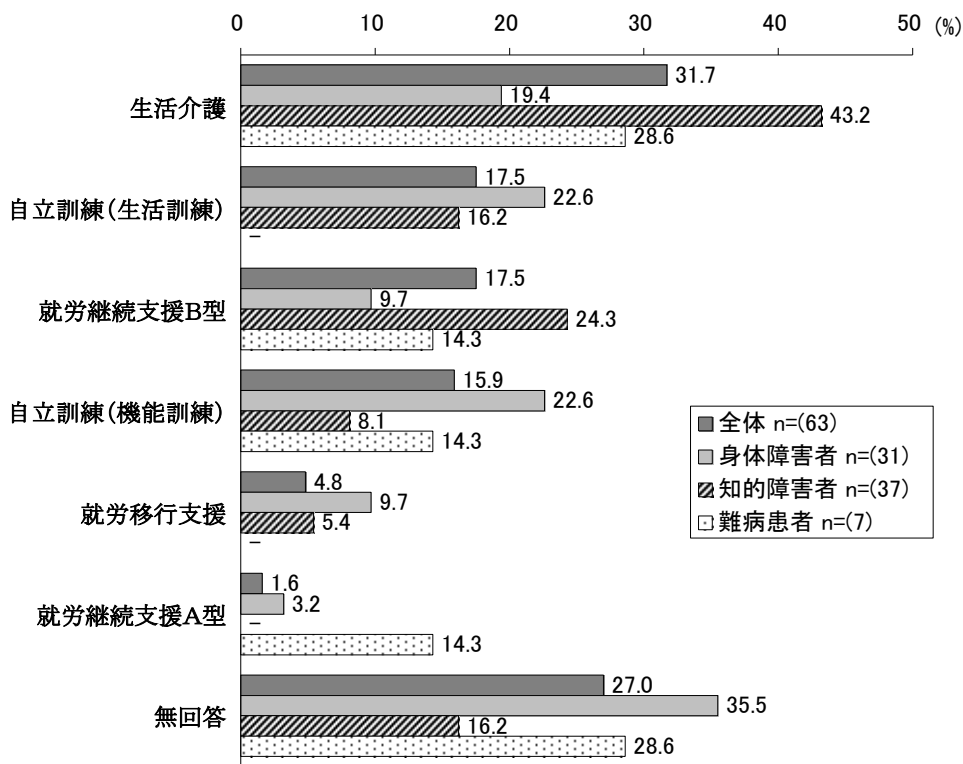
施設の利用状況は、「入所も通所もしていない」が3割台で最も多くなっています。知的障害者では、「通所している」が2割台半ばとなっています。

(16) 現在利用しているサービス

【身体・知的・難病調査のみ】

問31で「2. 通所している」と答えた方におたずねします。

問31-1 現在利用しているサービスは何ですか。[いくつでも○]

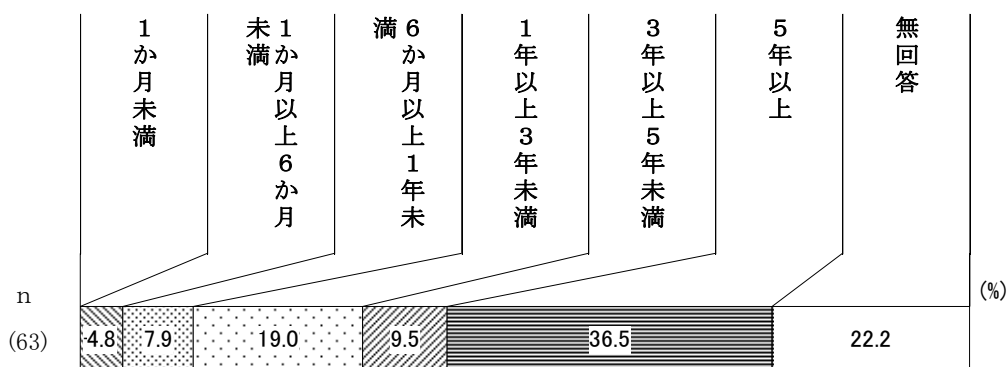


通所している方が利用しているサービスは、知的障害者で「生活介護」が4割台前半で特に多く、身体障害者で「自立訓練（生活訓練）」「自立訓練（機能訓練）」が2割台前半で多くなっています。

(17) 利用を始めてからの期間

【身体・知的・難病調査のみ】

問31-2 利用を始めてからどの程度の期間利用していますか。[1つに○]

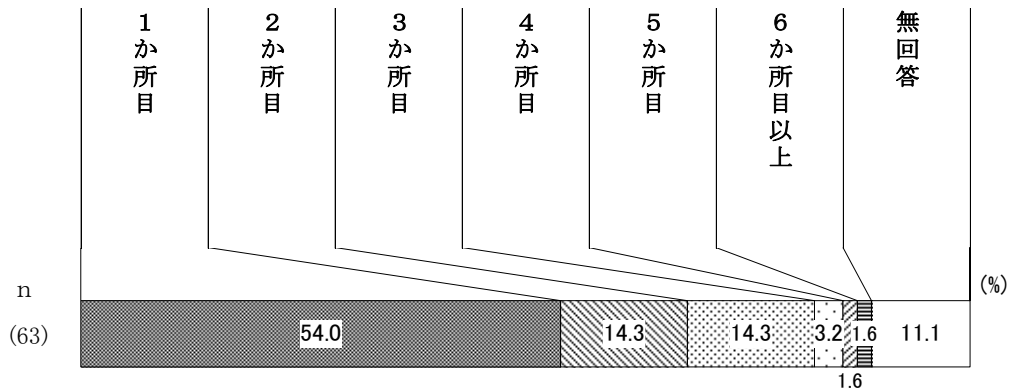


利用を始めてからの期間は、「5年以上」が3割台後半と最も多く、次いで「6か月以上1年未満」が約2割、「3年以上5年未満」が約1割となっています。

(18) 現在の通所先は何か所目にあたるか

【身体・知的・難病調査のみ】

問31-3 現在の通所先は何か所目ですか。[1つに○]

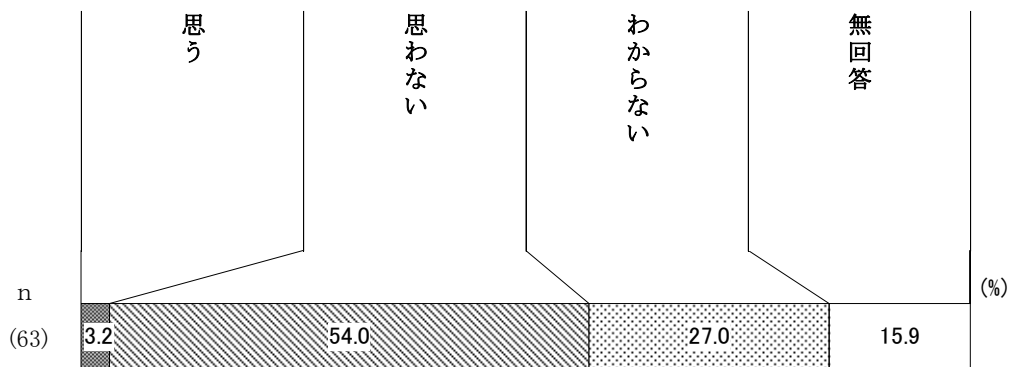


現在の通所先は、「1か所目」が5割台前半、「2か所目」「3か所目」が1割台前半と続いています。

(19) サービス提供事務所の今後の変更意向

【身体・知的・難病調査のみ】

問31-4 今後サービス提供事業所を変更したいと思いますか。[1つに○]

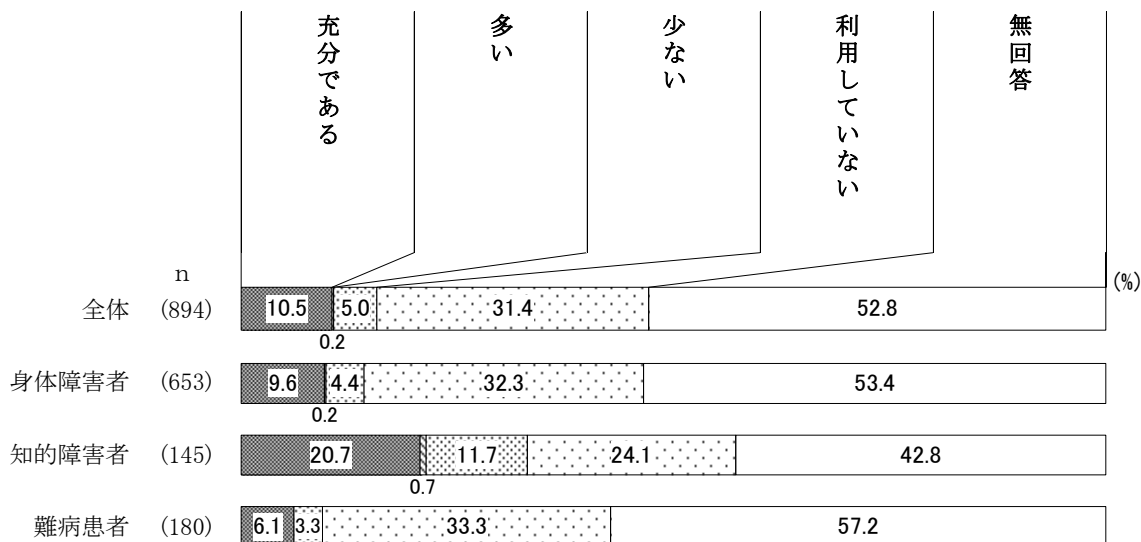


サービス提供事務所の今後の変更意向は、「思わない」が5割台前半と最も多く、「思う」は3.2%、「分からない」が2割台後半となっています。

(20) 障害者総合支援制度全般について、現在利用しているサービス量の過不足

【身体・知的・難病調査のみ】

問32 障害者総合支援制度全般について、現在、利用しているサービス量は充分だと思いますか。[1つに○]

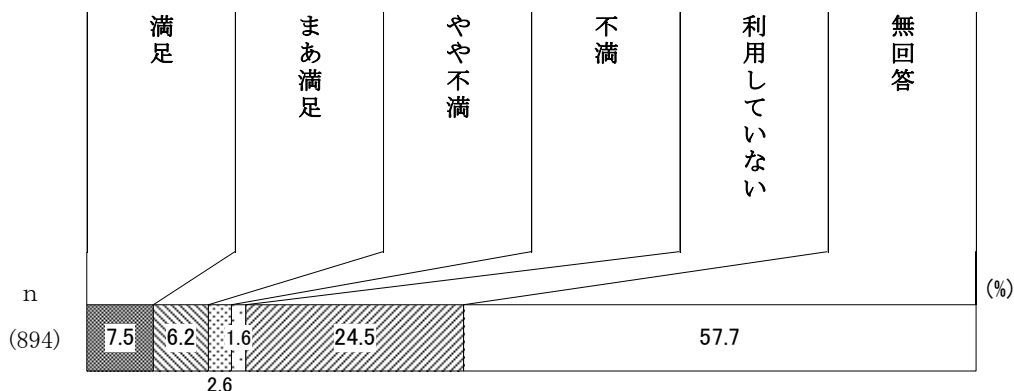


障害者総合支援制度全般について、現在利用しているサービス量の過不足については、「充分である」が知的障害者で2割と多くなっています。

(21) 現在、利用しているサービス提供事業者の満足度

【身体・知的・難病調査のみ】

問33 現在、利用している全てのサービスの内容や量を含めてサービス提供事業者には満足していますか。[1つに○]



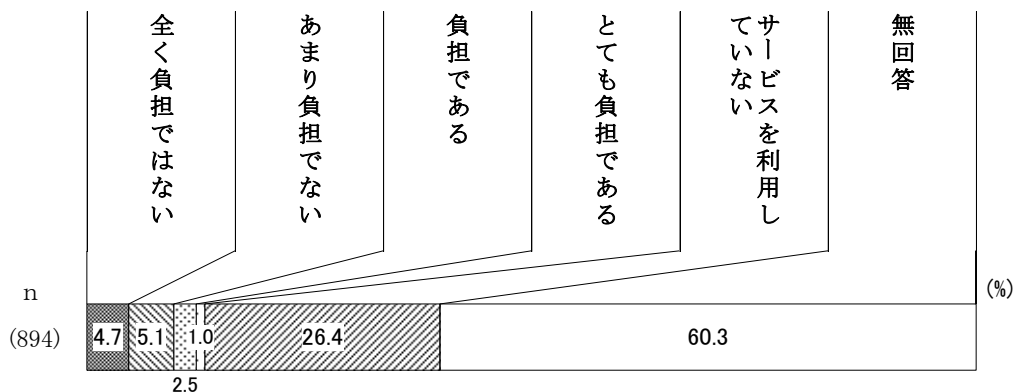
現在、利用している全てのサービスの内容や量を含めてサービス提供事業者への満足度は、「満足」と「まあ満足」を合わせた<満足>は1割前半、「不満」と「やや不満」を合わせた<不満>は1割未満と低い割合で、「利用していない」が2割前半となっています。



(22) 現在支払っているサービス利用料の負担感

【身体・知的・難病調査のみ】

問34 現在支払っているサービス利用料の負担感についておたずねします。[1つに○]



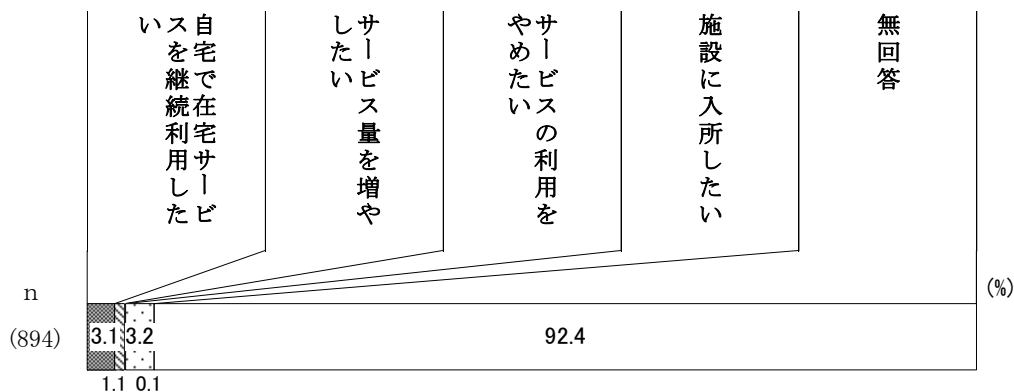
現在支払っているサービス利用料の負担感は、「全く負担ではない」と「あまり負担ではない」を合わせた<負担ではない>が約1割で、「負担である」と「とても負担である」を合わせた<負担である>はわずか3.5%と低く、「サービスを利用していない」が2割台後半となっています。

## 10. 在宅でサービスを利用している方の今後の利用意向

### (1) 今後のサービスの利用意向

【身体・知的・難病調査のみ】

問35 今後、サービスをどのように利用したいですか。[1つに○]



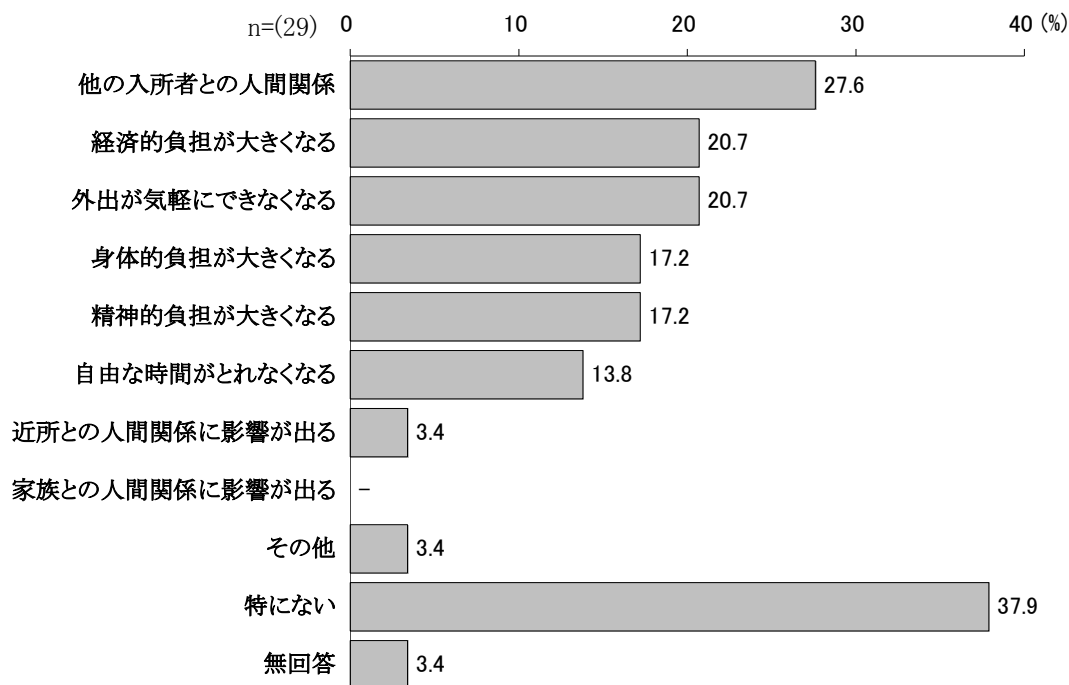
※無回答が多いため参考にとどめる。

### (2) 施設でのサービスに変更する際の不安

【身体・知的・難病調査のみ】

問35で「4. 施設に入所したい」と答えた方におたずねします。

問35-1 施設でのサービスに変更するにあたって不安などがありますか。[いくつでも○]



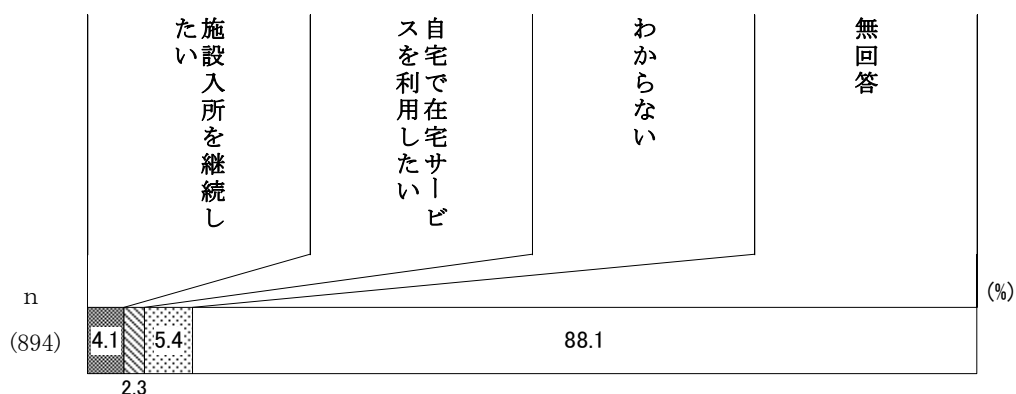
施設に入所希望の方が施設でのサービスに変更する際の不安は、「他の入所者との人間関係」が2割台後半と最も多く、次いで「経済的負担が大きくなる」「外出が気軽にできなくなる」が約2割、「身体的負担が大きくなる」「精神的負担が大きくなる」と続いています。一方、3割台後半が「特にない」と回答しています。

## 11. 施設でサービスを利用している方の今後の利用意向

### (1) 今後のサービスの利用意向

【身体・知的・難病調査のみ】

問36 今後、サービスをどのように利用したいですか。[1つに○]



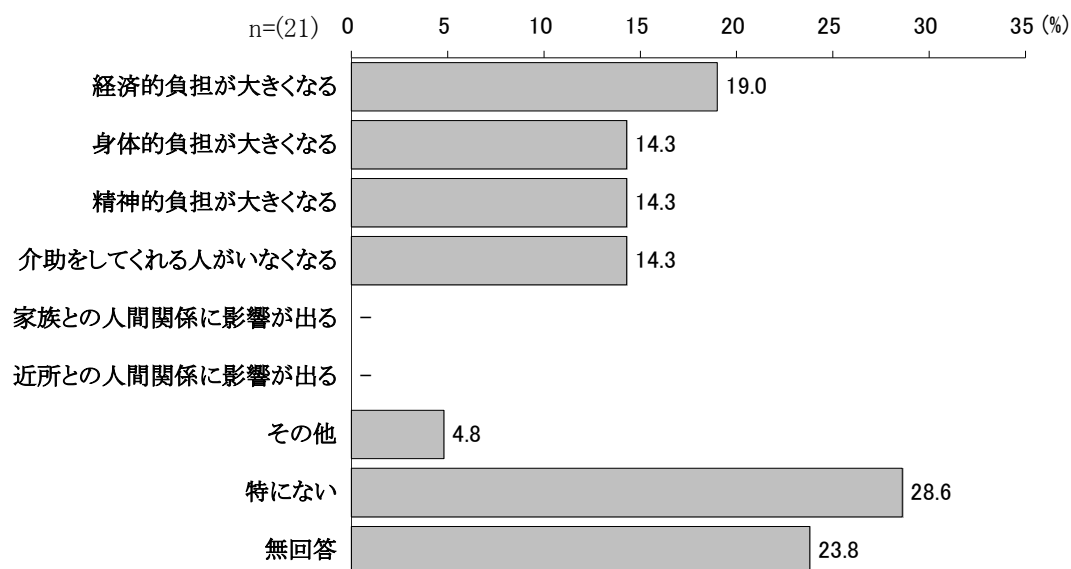
※無回答が多いため参考にとどめる。

### (2) 在宅でのサービスに変更する際の不安

【身体・知的・難病調査のみ】

問36で「2. 自宅で在宅サービスを利用したい」と答えた方におたずねします。

問36-1 在宅でのサービスに変更するにあたって、不安などはありますか。[いくつでも○]



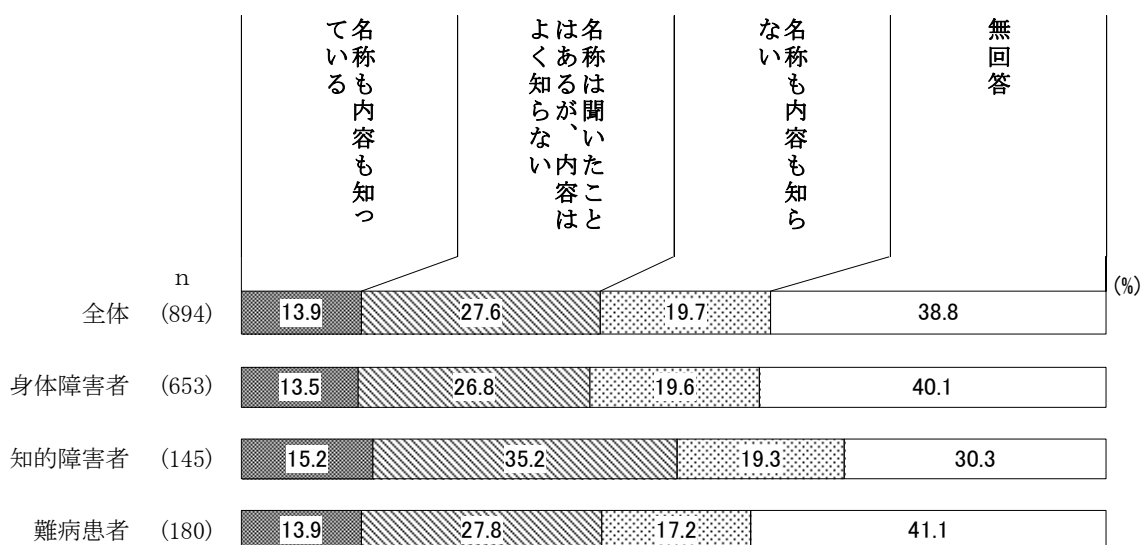
施設でサービスを利用している方が在宅でのサービスに変更する際の不安は、「経済的負担が大きくなる」が約2割、「身体的負担が大きくなる」「精神的負担が大きくなる」「介助をしてくれる人がいなくなる」と続いています。一方、「特にない」が2割台後半となっています。

## 12. その他の福祉サービスについて

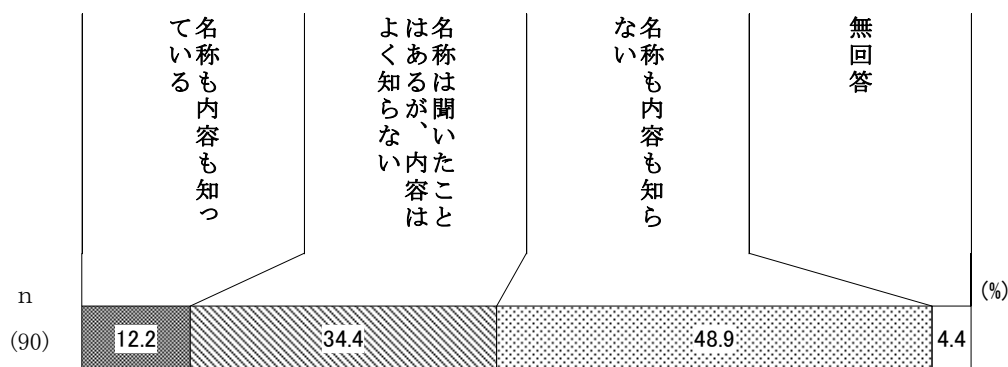
### (1) 「地域福祉権利擁護事業」と「成年後見制度」の認知状況

問37 判断能力が十分でない方の権利を擁護する事業として、「地域福祉権利擁護事業」や「成年後見制度」がありますが、ご存知ですか。[1つに○] 【精神／問47】

#### 身体・知的・難病



#### 精神

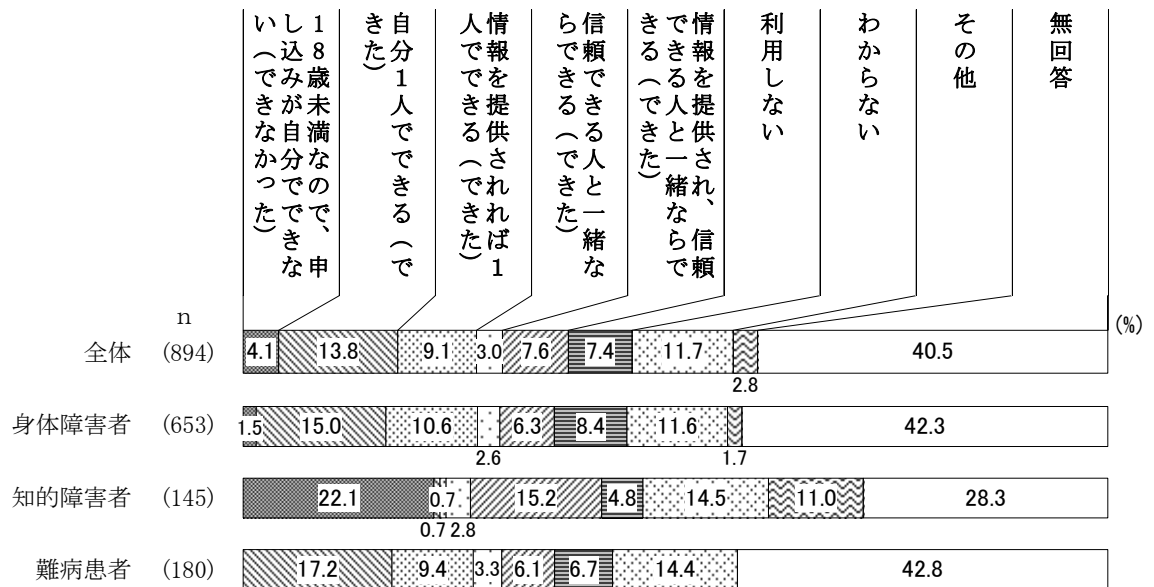


「地域福祉権利擁護事業」や「成年後見制度」の認知状況は、身体・知的・難病患者では、「名前も内容も知っている」が1割台となっています。「名前は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」は知的障害者で3割台半ば、身体・難病で2割台後半となっています。一方、「名前も内容も知らない」は1割台後半となっています。精神障害者では、「名前も内容も知っている」が1割台前半、「名前は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が3割台前半となっており、「名前も内容も知らない」は4割台後半となっています。

(2) サービス申し込みの手続きを自力で可能かどうか

【身体・知的・難病調査のみ】

問38 福祉施設の利用やホームヘルプ、グループホーム・ケアホーム、ショートステイなどを利用する際にサービスの申し込みが必要になりますが、あなたが直接申し込みをされる(された)場合、ご自身で手続きができますか(できましたか)。[1つに〇]

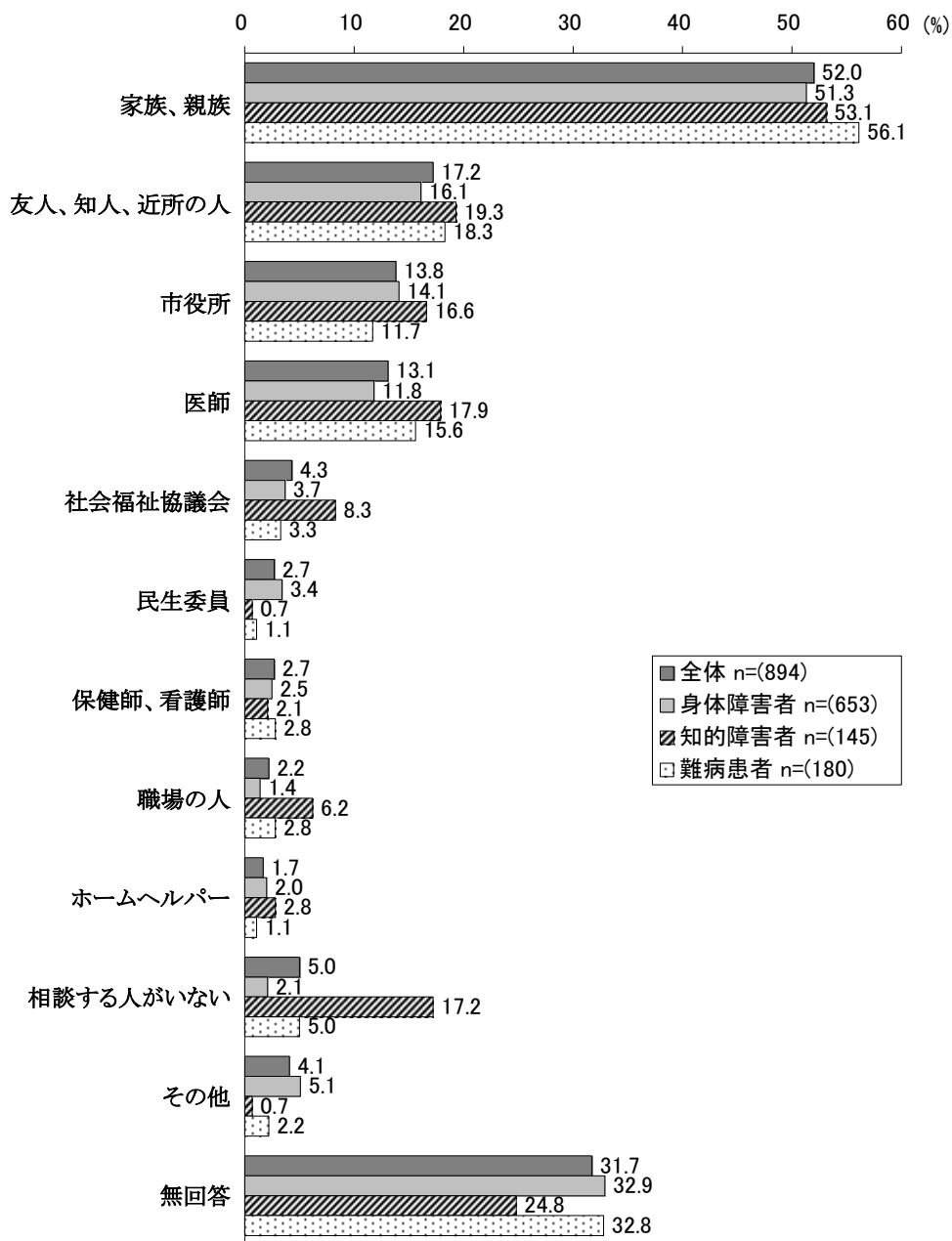


福祉施設の利用やホームヘルプ、グループホーム・ケアホーム、ショートステイなどを利用する際のサービスの申し込みについては、「自分1人でできる(できた)」が身体・難病で1割台となっています。知的障害者では、「18歳未満なので、申し込みが自分でできない(できなかった)」が2割台前半、「情報を提供され、信頼できる人と一緒に利用できる(できた)」が1割台半ばとなっています。

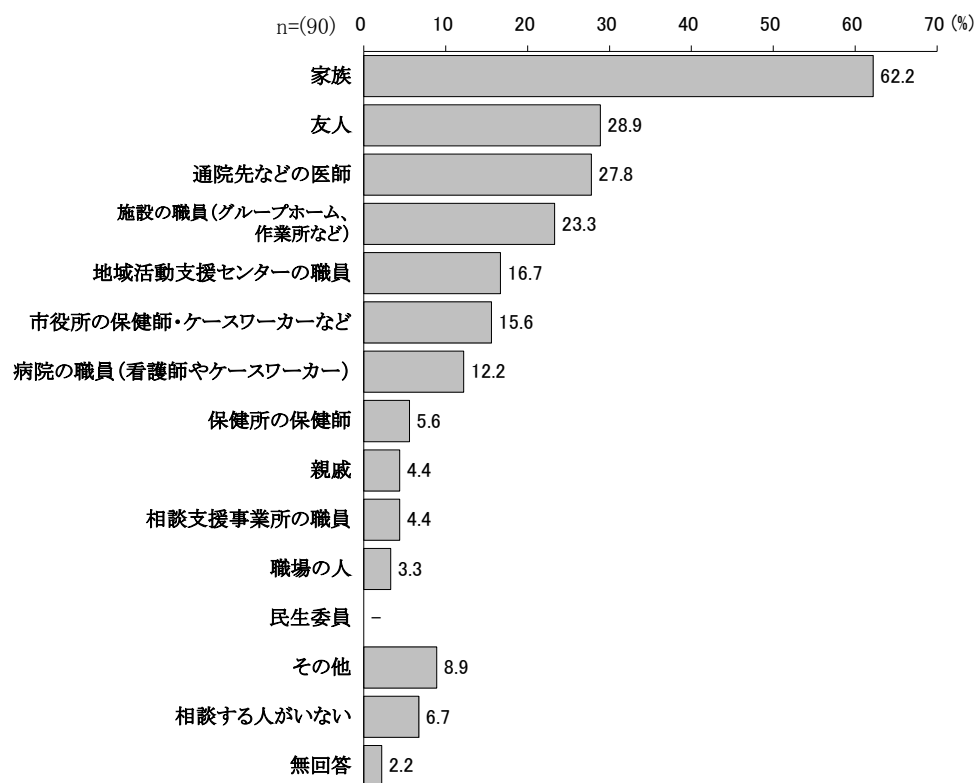
(3) 本人や介助者が生活上の悩みや困ったことを相談する先

問39 あなたや介助者が、生活上の悩みや困ったことを相談するのは誰ですか。[いくつでも  
○]【精神／問48】

身体・知的・難病



精神

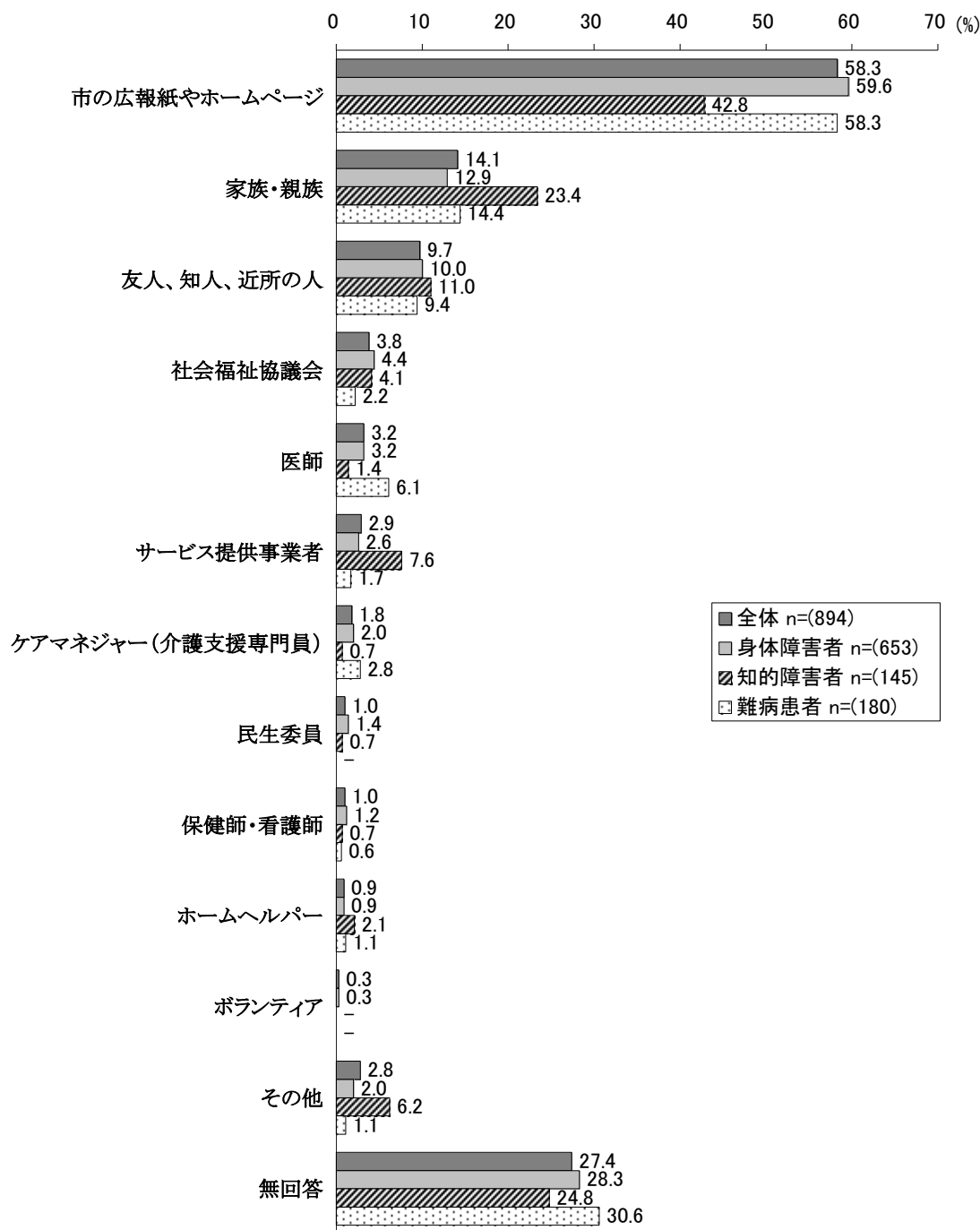


調査対象者や介助者の生活上の悩みや困ったことの相談先は、身体・知的・難病患者では「家族、親族」が5割台で最も多く、次いで「友人、知人、近所の人」「市役所」「医師」と続いています。また、知的障害者では「相談する人がいない」が1割台後半となっています。精神障害者では、「家族」が6割台前半で最も多く、次いで「友人」「通院先などの医師」「施設の職員（グループホーム、作業所など）」と続いています。

(4) 市が行う催しや行事、障害者福祉や保健に関することを知る手段

【身体・知的・難病調査のみ】

問40 市が行う催しや行事、障害者福祉や保健に関することは、主に何でお知りになりますか。[いくつでも○]



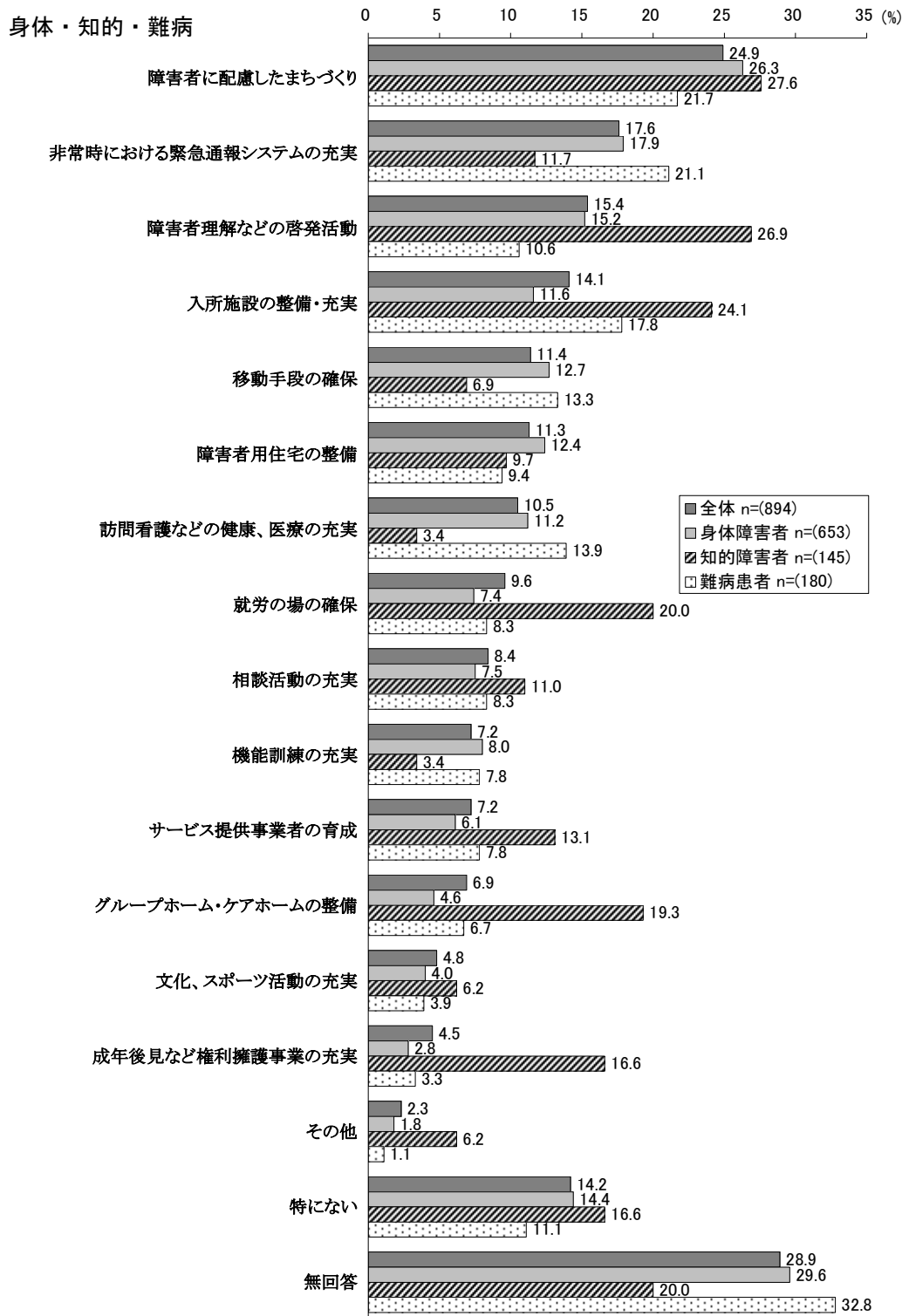
市が行う催しや行事、障害者福祉や保健に関することを知る手段は、「市の広報紙やホームページ」が身体・難病で5割台後半と特に多くなっています。知的障害者では「家族・親族」が2割台前半です。



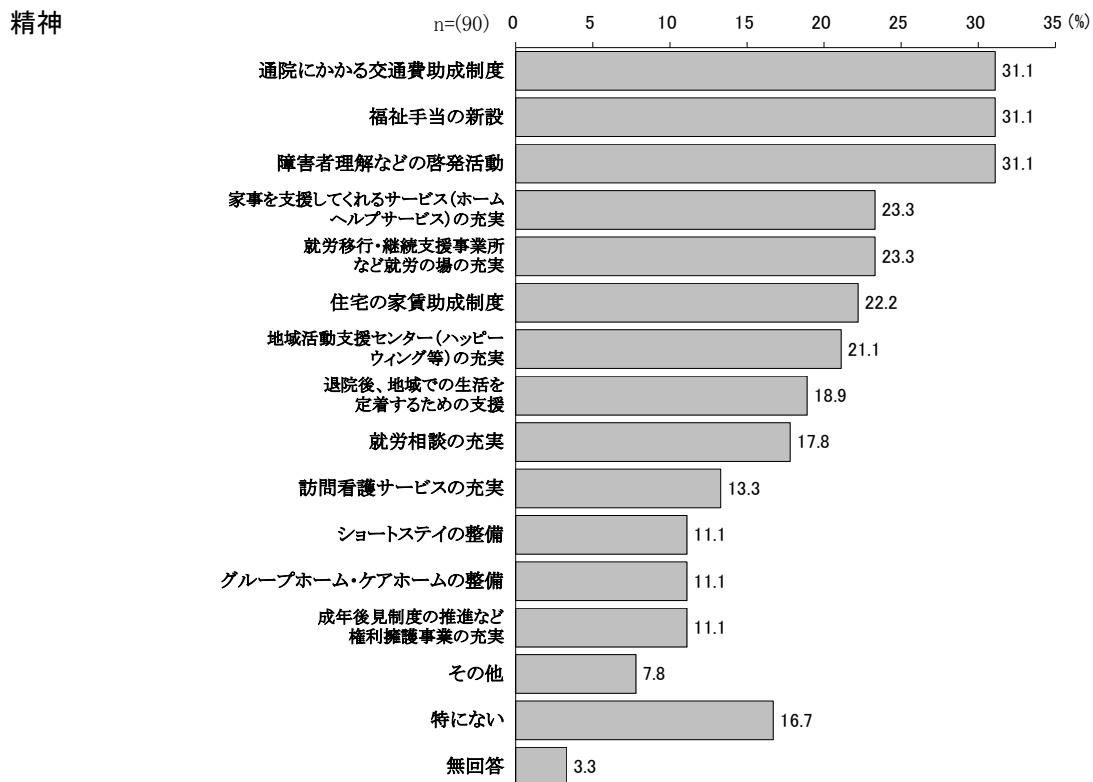
(5) 今後、市に期待すること

【身体・知的・難病調査のみ】

問41 今後、市に何を期待しますか。[5つ以内に○]【精神／問49】



### 第3章 障害者生活実態調査結果の詳細

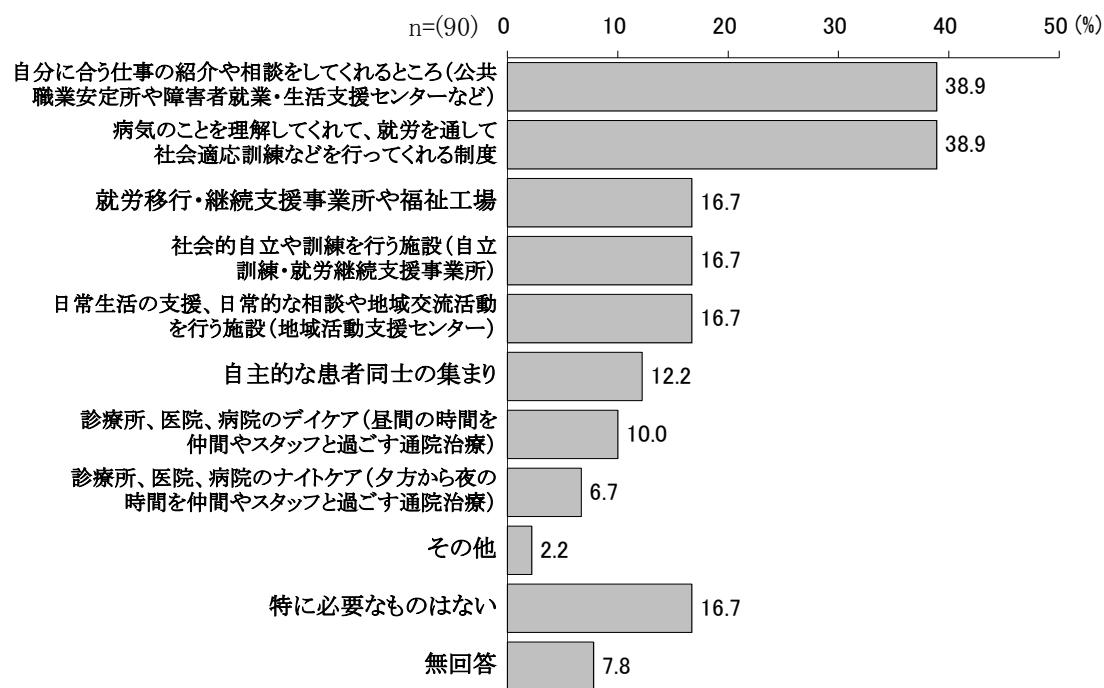


今後、市に期待することは、身体・知的・難病患者では「障害者に配慮したまちづくり」が2割台で最も多く、知的障害者では、「障害者理解などの啓発活動」「入所施設の整備・充実」「就労の場の確保」「グループホーム・ケアホームの整備」「成年後見など権利擁護事業の充実」が特に多くなっています。精神障害者では、「通院にかかる交通費助成制度」「福祉手当の新設」「障害者理解などの啓発活動」が多くなっています。

## (6) 「働く場」や「活動の場」を充実させるために必要なこと

## 【精神疾患等調査のみ】

問46 「働く場」や「活動の場」を充実させるため、あなたが必要と思うものは何ですか。  
[3つ以内に○]



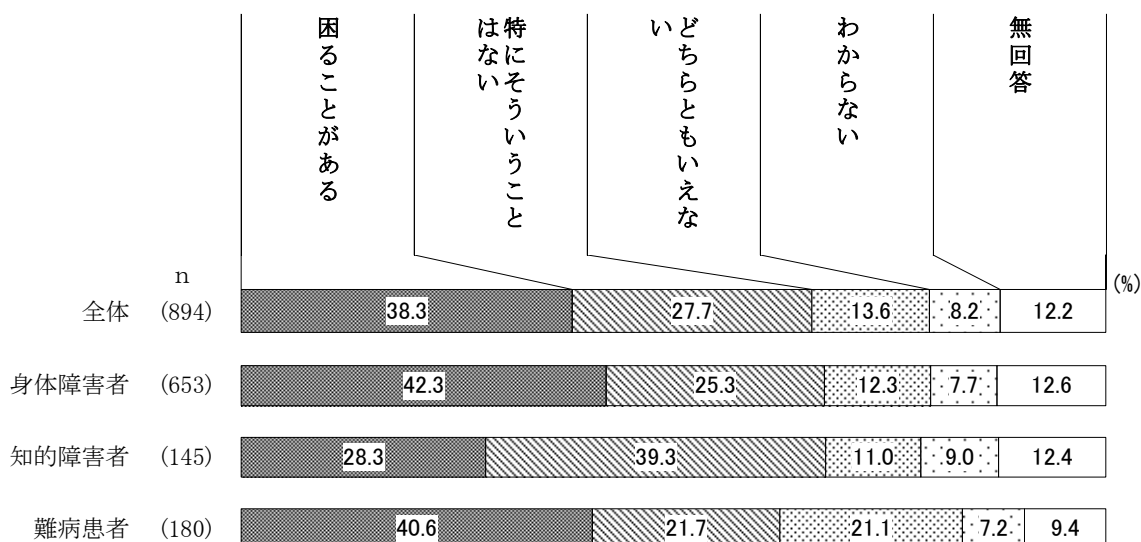
「働く場」や「活動の場」を充実させるために必要と思うものは、「自分に向合う仕事の紹介や相談をしてくれるところ(公共職業安定所や障害者就業・生活支援センターなど)」「病気のことを理解してくれて、就労を通して社会適応訓練などを行ってくれる制度」がともに3割台後半、「就労移行・継続支援事業所や福祉工場」「社会的自立や訓練を行う施設(自立訓練・就労継続支援事業所)」「日常生活の支援、日常的な相談や地域交流活動を行う施設(地域活動支援センター)」と続いています。一方、「特に必要なものはない」が1割台後半となっています。

### 13. 災害時の対応について

#### (1) 災害時、受診や診療を受けられない場合に健康上困ることの有無

【身体・知的・難病調査のみ】

問42 災害などが発生した時、数日間医療機関で受診や治療を受けられなかった場合、健康上困ることがあります。[1つに○]



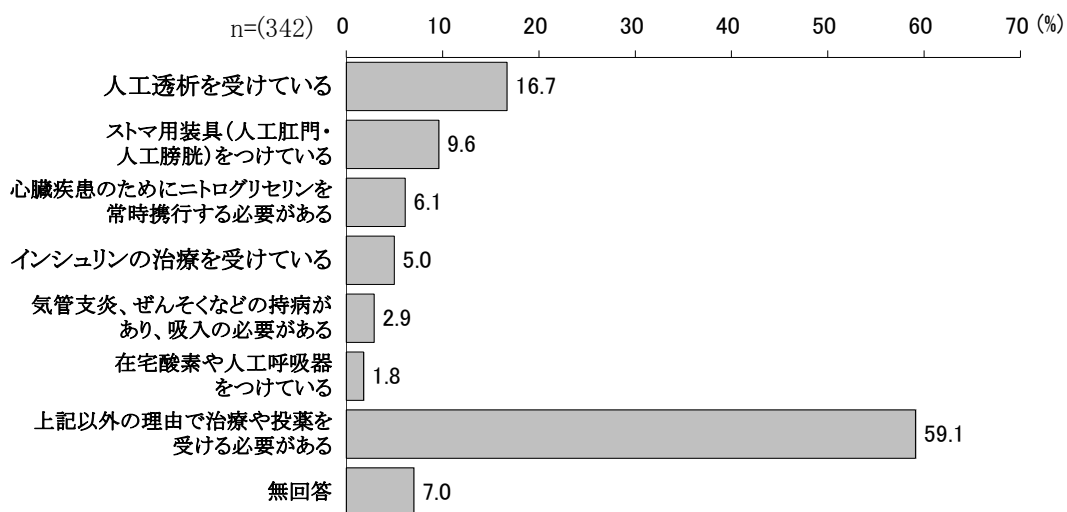
災害などが発生した時、数日間医療機関で受診や治療を受けられなかった場合、健康上困ることの有無は、身体・難病で「困ることがある」が4割を超えています。

#### (2) 受診や治療を受けられない場合に困る理由

【身体・知的・難病調査のみ】

問42で「1. 困ることがある」と答えた方におたずねします。

問42-1 それはどのような理由によるものですか。[いくつでも○]

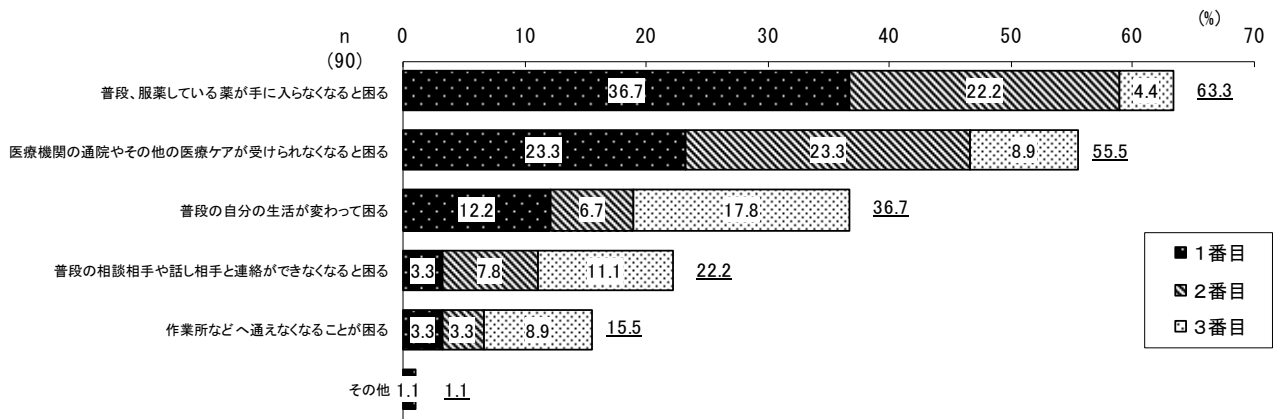


困る理由は、「人工透析を受けている」が1割台後半、「ストマ用装具（人工肛門・人工膀胱）をつけている」が約1割となっています。また、「上記以外の理由で治療や投薬を受ける必要がある」が約6割で最も多くなっています。

(3) 災害発生時に心身の健康面や生活面で困ること

【精神疾患等調査のみ】

問52 震災や水害などの災害発生時に、あなたは心身の健康面や生活面でどんなことに困ると思いますか。[最も困ると思われることから順に3つ以内]

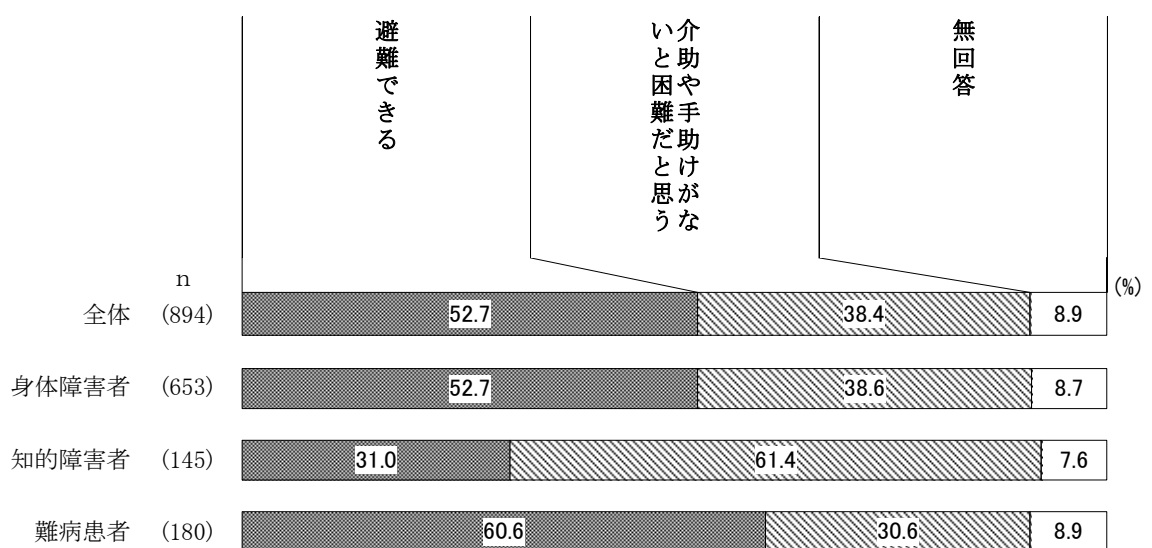


震災や水害などの災害発生時に、心身の健康面や生活面で困ることは、「普段、服薬している薬が手に入らなくなると困る」が3割台後半、「医療機関の通院やその他の医療ケアが受けられなくなると困る」が2割台前半、「普段の自分の生活が変わって困る」が1割台前半と続いています。

(4) 災害発生時の自力で避難の可否

【身体・知的・難病調査のみ】

問44 震災や水害などの災害発生時に、あなたは自力で避難することができますか。[1つに〇]



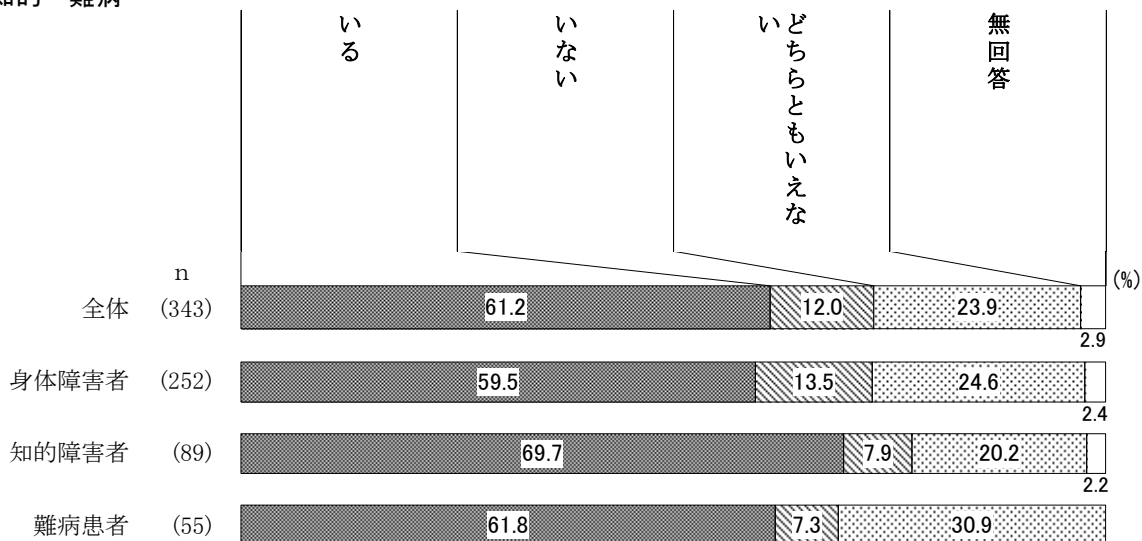
震災や水害などの災害発生時の自力での避難については、「避難できる」が難病患者で6割、身体障害者で5割台前半となっています。「介助や手助けがないと困難だと思う」は知的障害者で6割台前半となっています。

(5) 災害発生に伴う避難時に、身近に手助けをしてくれる人の有無

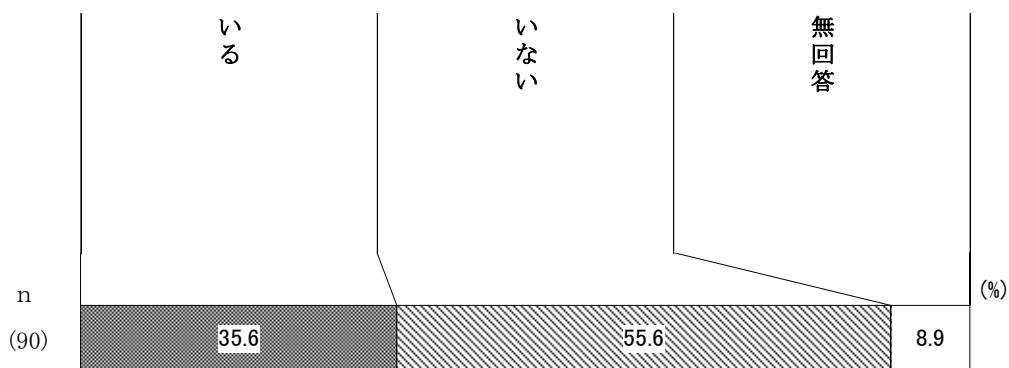
問44で「2. 介助や手助けがないと困難だと思う」と答えた方におたずねします。

問44-1 災害発生に伴う避難時に、身近に手助けしてくれる人はいますか。[1つに○]【精神/問50】

身体・知的・難病



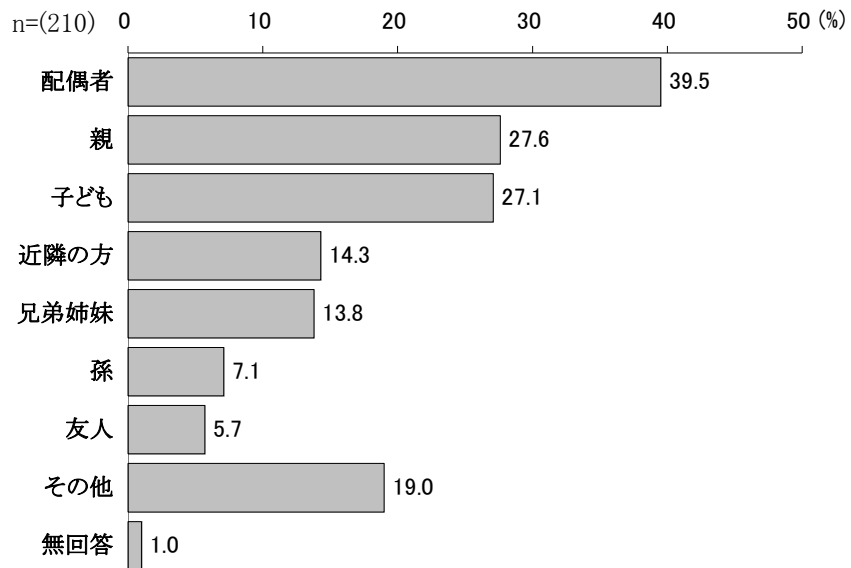
精神



災害発生に伴う避難時に、身近に手助けしてくれる人については、「いる」が知的障害者で6割台後半、身体・難病で6割前後となっています。「いない」は身体障害者で1割台前半です。精神障害者では、「いない」が5割台半ば、「いる」が3割台前半で「いない」の割合が多くなっています。

(6) 避難時に身近に助けをしてくれる人

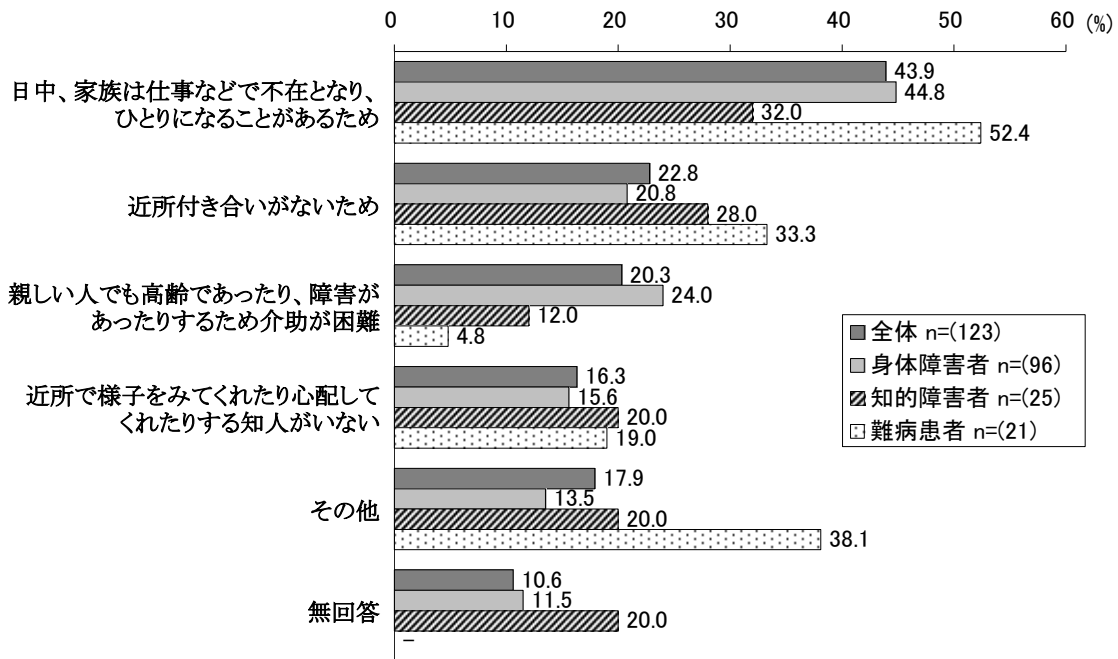
【身体・知的・難病調査のみ】  
 問44-1-1 (問44-1で「1. いる」と答えた方におたずねします。) それは誰ですか。[いくつでも○]



避難時に身近に手助けをしてくれる人は、「配偶者」が約4割、「親」「子ども」がそれぞれ2割台後半となっています。

(7) 手助けがない、どちらともいえない理由

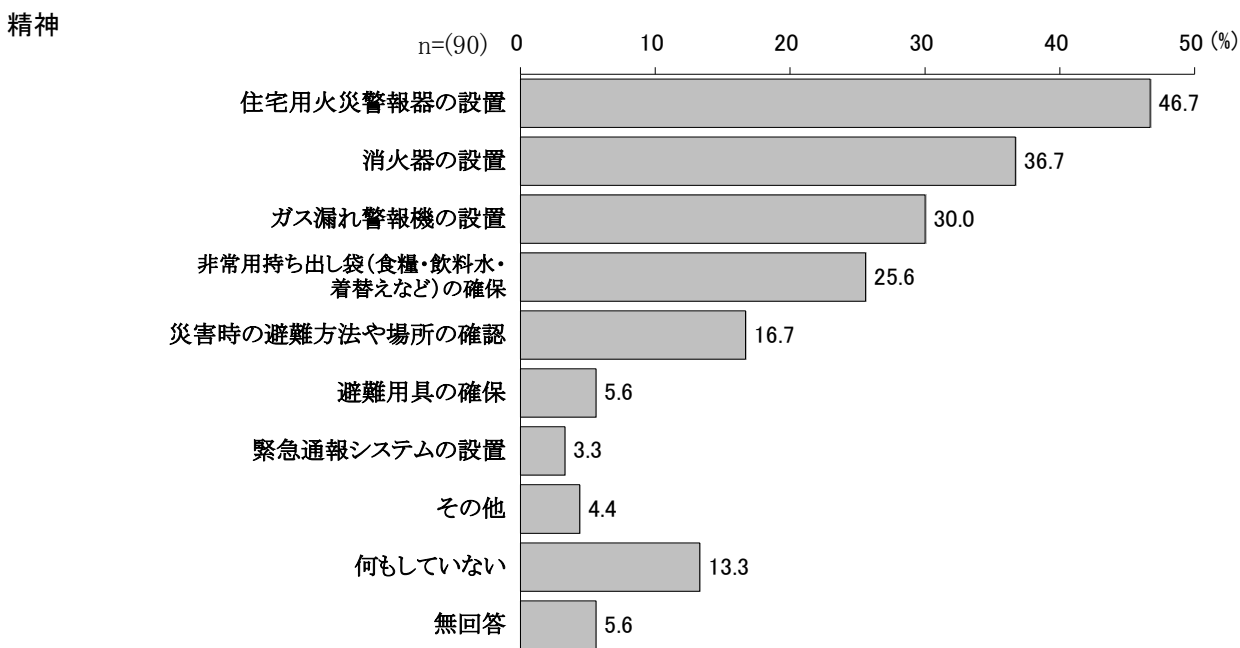
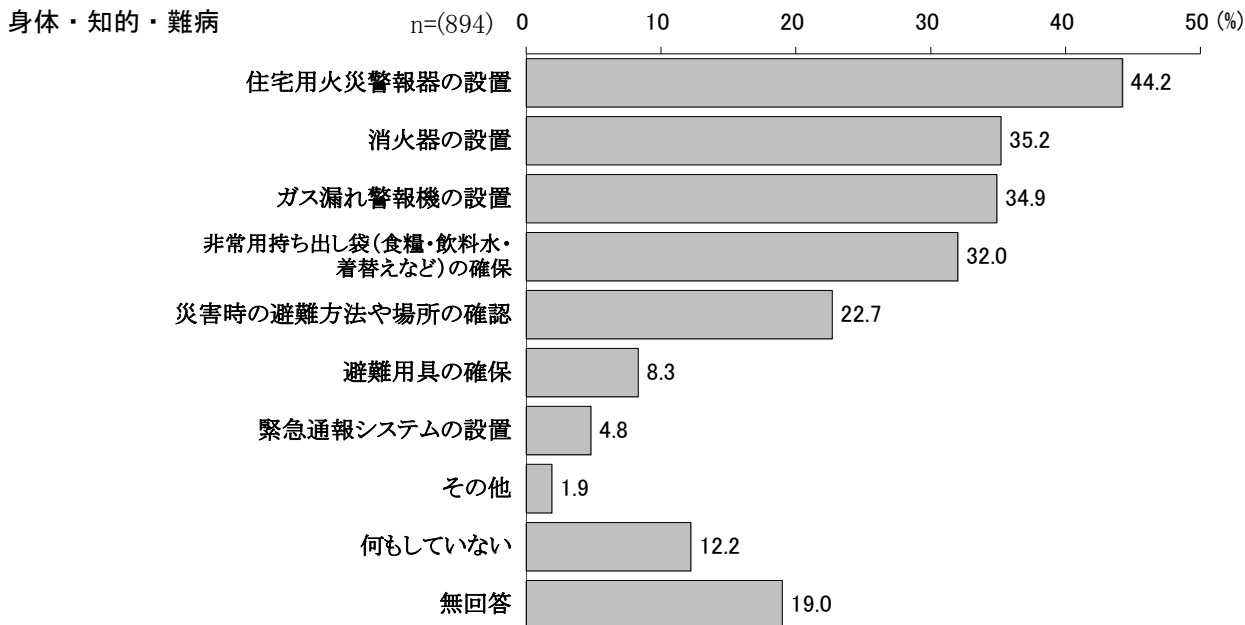
【身体・知的・難病調査のみ】  
 問44-1-2 (問44-1で「2. いない」または「3. どちらともいえない」と答えた方におたずねします。) どのような理由によるものですか。[いくつでも○]



避難時に身近に手助けをしてくれる人がいない、またはどちらともいえない理由は、「日中、家族は仕事などで不在となり、ひとりになることがあるため」が難病患者で5割台前半と特に多く、「近所付き合いがないため」が続いています。「親しい人でも高齢であったり、障害があつたりするため介助が困難」は身体障害者で2割台前半と多くなっています。

(8) 家庭で緊急時の対応策として準備していること

問45 ご家庭で緊急時の対応策として、どのような準備をしていますか。[いくつでも○]  
【精神／問51】



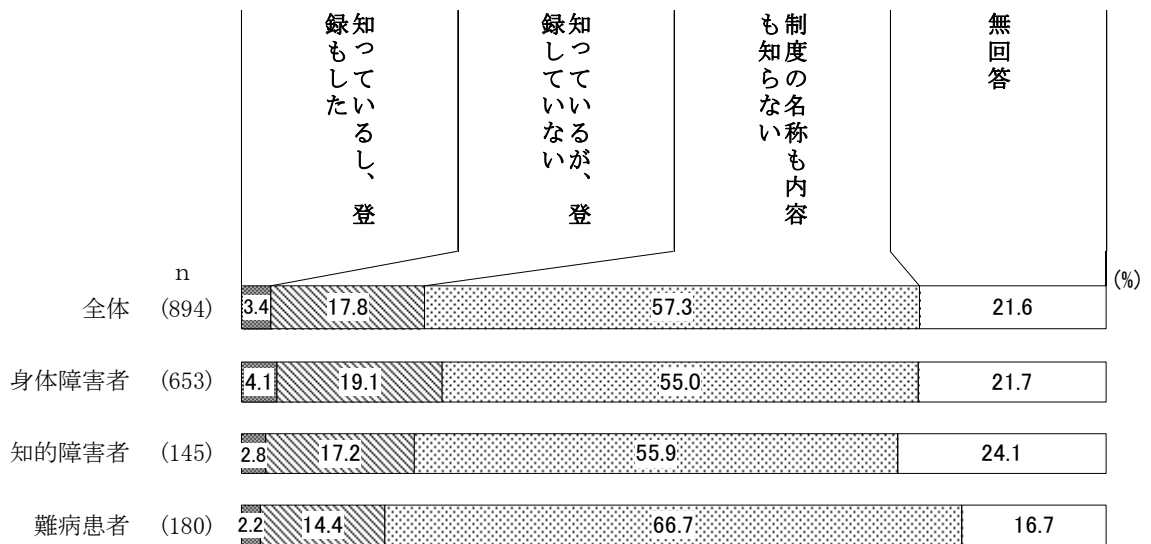
家庭で緊急時の対応策として準備していることは、身体・知的・難病患者、精神障害者とも、「住宅用火災報知器の設置」が4割半ば前後で最も多く、次いで「消火器の設置」「ガス漏れ警報機の設置」「非常用持ち出し袋（食糧・飲料水・着替えなど）の確保」と続いています。



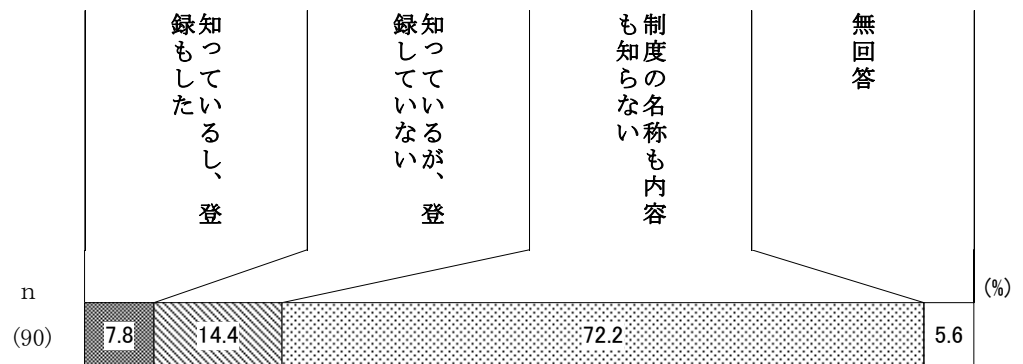
(9) 「災害時要援護者登録制度」の認知及び登録状況

問46 「災害時要援護者登録制度」をご存知ですか。[1つに○] 【精神／問53】

身体・知的・難病



精神

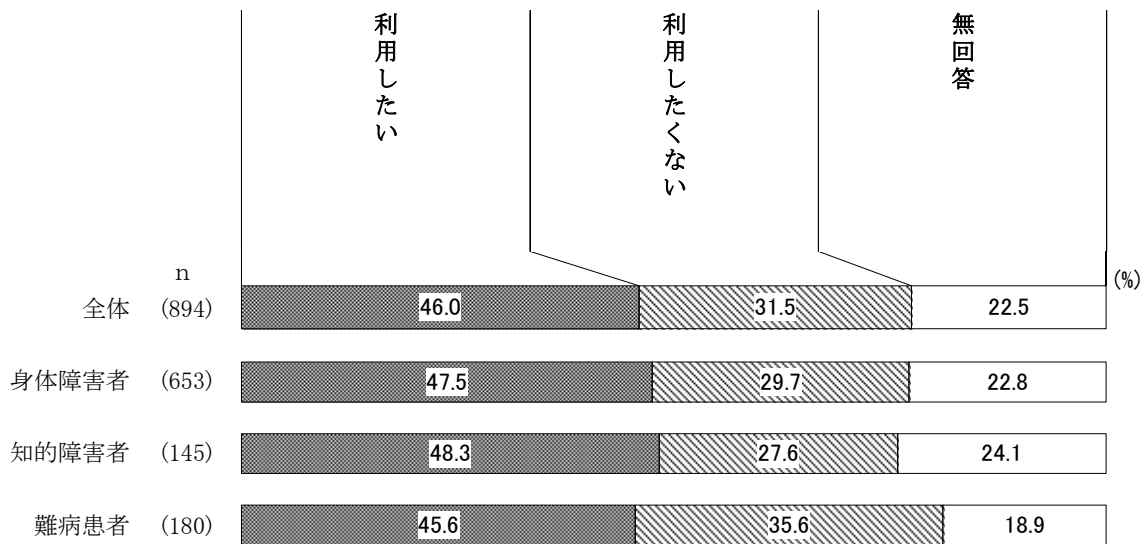


「災害時要援護者登録制度」の認知と登録状況は、「知っているし、登録もした」は身体で4.1%となっています。「知っているが、登録していない」は身体・知的で1割後半となっています。精神障害者では、「制度の名称も内容も知らない」が7割前半で多くなっています。

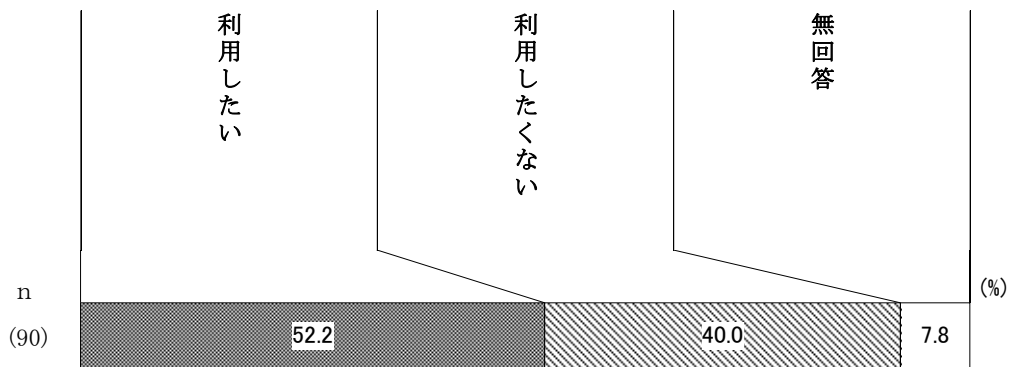
(10) ヘルプカードの利用意向

問47 ヘルプカードを利用したいですか。[1つに〇] 【精神/問54】

身体・知的・難病



精神

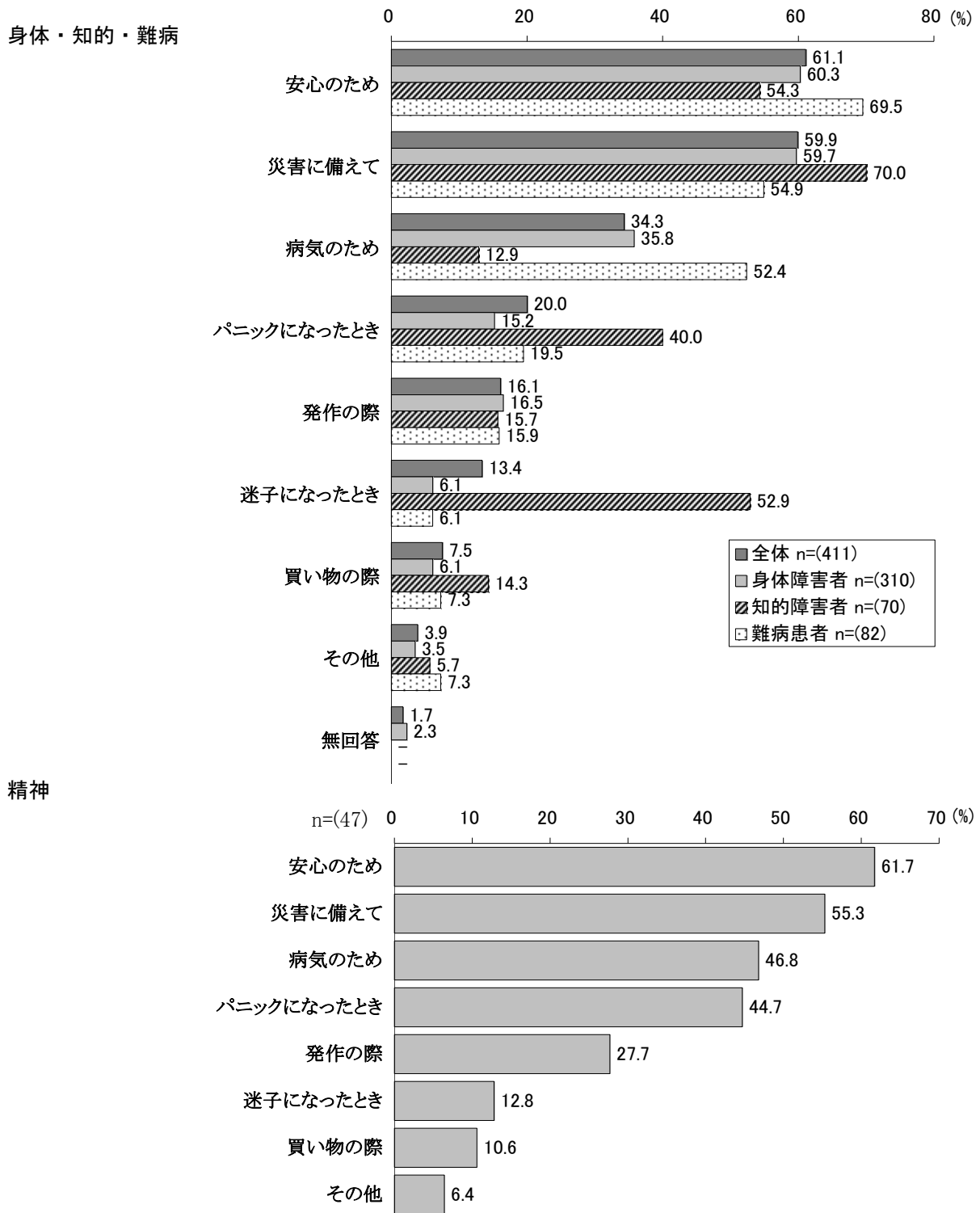


ヘルプカードの利用については、身体・知的・難病患者では、「利用したい」が4割台後半となっています。精神障害者では、「利用したい」が5割台前半、「利用したくない」が4割となっています。

(11) 利用したい理由

問47で「1. 利用したい」と答えた方におたずねします。

問47-1 利用したい理由は次のどれですか。[いくつでも○] 【精神/問54-1】

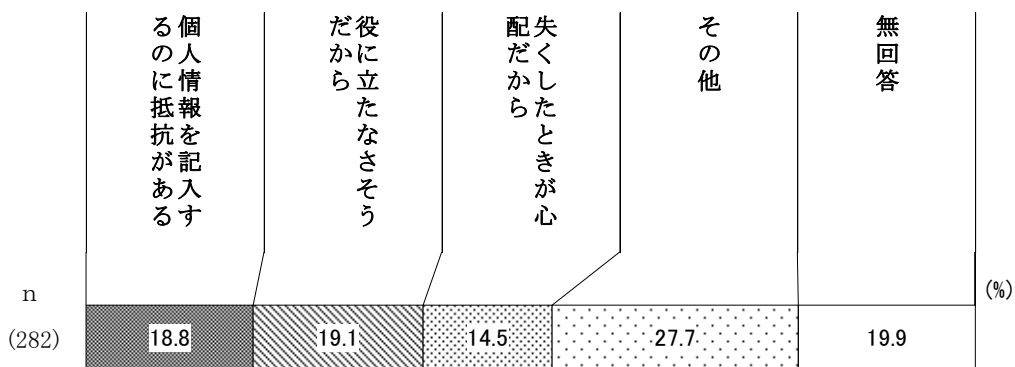


ヘルプカードを利用したい理由は、難病患者で「安心のため」が6割台後半、「病気のため」が5割台前半、知的障害者では「災害に備えて」が7割、「迷子になったとき」が5割台前半、「パニックになったとき」が4割となっています。精神障害者では、「安心のため」が6割台前半、「災害に備えて」「病気のため」「パニックになったとき」と続いています

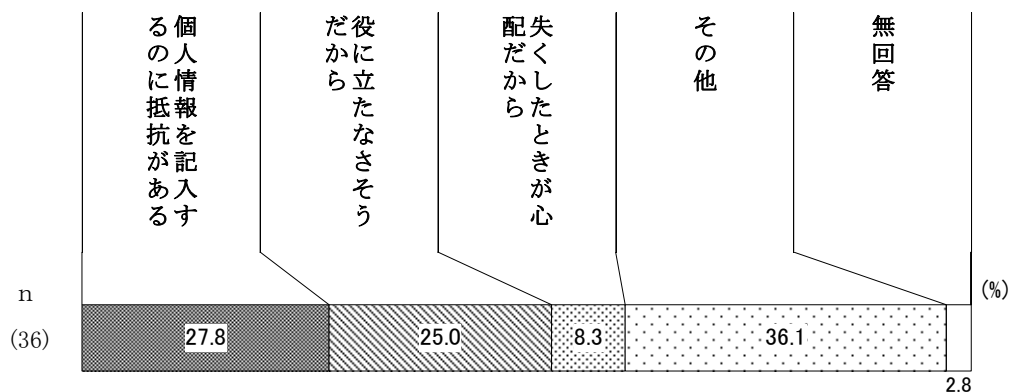
(12) 利用したくない理由

問47で「2. 利用したくない」と答えた方におたずねします。  
 問47-2 利用したくない理由は次のどれですか。[1つに○] 【精神／問54-2】

身体・知的・難病



精神



ヘルプカードを利用したくない理由は、身体・知的・難病患者では「役に立たなさそうだから」が約2割、「個人情報に抵抗がある」が1割台後半、「失くしたときが心配だから」が1割台前半となっています。精神障害者では、「個人情報に抵抗がある」が2割台後半、「役に立たなさそうだから」が2割台半ばとなっています。



福生市 高齢者・障害者生活実態調査  
報告書

平成26年3月

発行 福生市福祉保健部社会福祉課  
〒197-8501  
東京都福生市本町5番地  
TEL : 042-551-1511 (代)